

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事
入田橋(上り線)

設 計 図

令和8年9月

東日本高速道路株式会社
関東支社長野工事事務所

【 図 面 目 録 】

図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
1	入田橋（上り線）数量総括表	39	入田橋（上り線）交通保安要員 交通誘導警備員Ｂ１－１・Ｂ１－２ 配置図（その１）
2	入田橋（上り線）橋梁一般図	40	入田橋（上り線）交通保安要員 交通誘導警備員Ｂ１－１・Ｂ１－２ 配置図（その２）
3	入田橋（上り線）耐震補強一般図（その１）	41	入田橋（上り線）交通保安要員 交通誘導警備員Ｂ１－２ 配置図（その３）
4	入田橋（上り線）耐震補強一般図（その２）	42	入田橋（上り線）交通規制工 車線規制 Ａ１
5	入田橋（上り線）Ｐ３橋脚 構造物掘削図 普通部Ｂ１	43	入田橋（上り線）Ｐ６橋脚 橋脚内部充填工Ａ
6	入田橋（上り線）Ｐ４橋脚 構造物掘削図 普通部Ａ	44 ～ 46	入田橋（上り線）重機配置図（その１）（参考図）～（その３）（参考図）
7	入田橋（上り線）Ｐ５橋脚 構造物掘削図 普通部Ａ（その１）	47	入田橋（上り線）施工要領図（参考図）
8	入田橋（上り線）Ｐ５橋脚 構造物掘削図 普通部Ａ（その２）	48 ～ 50	入田橋（上り線）配線系統図（その１）（参考図）～（その３）（参考図）
9	入田橋（上り線）Ｐ６橋脚 構造物掘削図 普通部Ａ（その１）		
10	入田橋（上り線）Ｐ６橋脚 構造物掘削図 普通部Ａ（その２）		
11	入田橋（上り線）Ｐ７橋脚 構造物掘削図 普通部Ａ（その１）		
12	入田橋（上り線）Ｐ７橋脚 構造物掘削図 普通部Ａ（その２）		
13	入田橋（上り線）Ｐ３橋脚 ＲＣ巻立て一般図		
14	入田橋（上り線）Ｐ３橋脚 ＲＣ巻立て配筋図（その１）		
15	入田橋（上り線）Ｐ３橋脚 ＲＣ巻立て配筋図（その２）		
16	入田橋（上り線）Ｐ４橋脚 ＲＣ巻立て一般図		
17	入田橋（上り線）Ｐ４橋脚 ＲＣ巻立て配筋図（その１）		
18	入田橋（上り線）Ｐ４橋脚 ＲＣ巻立て配筋図（その２）		
19	入田橋（上り線）Ｐ５橋脚 ＲＣ巻立て一般図		
20	入田橋（上り線）Ｐ５橋脚 ＲＣ巻立て配筋図（その１）		
21	入田橋（上り線）Ｐ５橋脚 ＲＣ巻立て配筋図（その２）		
22	入田橋（上り線）Ｐ６橋脚 ＲＣ巻立て一般図		
23	入田橋（上り線）Ｐ６橋脚 ＲＣ巻立て配筋図（その１）		
24	入田橋（上り線）Ｐ６橋脚 ＲＣ巻立て配筋図（その２）		
25	入田橋（上り線）Ｐ７橋脚 ＲＣ巻立て一般図		
26	入田橋（上り線）Ｐ７橋脚 ＲＣ巻立て配筋図（その１）		
27	入田橋（上り線）Ｐ７橋脚 ＲＣ巻立て配筋図（その２）		
28 ～ 30	入田橋（上り線）上部工炭素繊維補強工・上部工炭素繊維定着体工（その１）～（その３）		
31	入田橋（上り線）Ｐ３橋脚（Ｐ２側） 縁端拡幅工Ｂ詳細図（その１）		
32	入田橋（上り線）Ｐ３橋脚（Ｐ２側） 縁端拡幅工Ｂ詳細図（その２）		
33	入田橋（上り線）Ａ１橋台 落橋防止構造Ｃ１－Ｂ１ 構造図（その１）		
34	入田橋（上り線）Ａ１橋台 落橋防止構造Ｃ１－Ｂ１ 構造図（その２）		
35	入田橋（上り線）Ｐ３橋脚（Ｐ２側） 落橋防止構造Ｃ１－Ｂ２ 構造図（その１）		
36	入田橋（上り線）Ｐ３橋脚（Ｐ２側） 落橋防止構造Ｃ１－Ｂ２ 構造図（その２）		
37	入田橋（上り線）断面修復工 一般図（その１）		
38	入田橋（上り線）断面修復工 一般図（その２）		

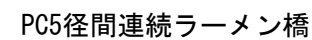
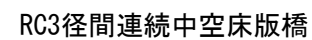
入田橋(上り線) 数量総括表

項目番号		2 - (6)	2 - (6)	8 - (1)	8 - (1)	8 - (2)	8 - (3)	8 - (3)	1 7 - (9)	1 7 - (9)	1 7 - (9)	1 7 - (9)	1 7 - (9)
項目名称		構造物掘削	構造物掘削	コンクリート	コンクリート	型わく	鉄筋	鉄筋	縁端拡幅工B	縁端拡幅工B	縁端拡幅工B	縁端拡幅工B	縁端拡幅工B
		普通部A	普通部B 1	A 1－5	無収縮モルタル	TH	T	T 1	コンクリート A 1－5	型わく	鉄筋	無収縮モルタル	アンカー工 φ 2 9・2 9 5
単位		m3	m3	m3	m3	m2	t	t	m3	m2	t	m3	本
入田橋	A 1												
	P 1												
	P 2												
	P 3 (起)		1897.7	64.6		271.1	12.367		12.4	28.7	0.935	1.6	110.0
	P 3 (終)												
	P 4	186.8		75.7		319.7	6.375						
	P 5	834.5		224.2	2.3	944.1	66.165						
	P 6	472.6		275.1	2.7	1153.7	58.611						
	P 7	313.4		182.0	2.4	768.3	84.392	8.012					
	A 2												
合計		1807.3	1897.7	821.6	7.4	3456.9	227.910	8.012	12.4	28.7	0.935	1.6	110.0

項目番号		1 7 - (1 1)	1 7 - (1 1)	1 7 - (1 1)	1 7 - (1 1)	1 7 - (1 1)	1 7 - (1 1)	1 7 - (1 8)	1 7 - (2 9)	1 7 -(3 2)	1 9 - (1)	1 9 - (2)	1 9 - (2)
項目名称		落橋防止構造	落橋防止構造	落橋防止構造	落橋防止構造	落橋防止構造	落橋防止構造	耐震補強用コンクリート表面処理工	断面修復工	表面保護工	交通規制工	交通保安要員	交通保安要員
		C 1－B 1	C 1－B 2	鋼製ブラケット	アンカー工 φ 3 9・4 4 5 (水平)	アンカー工 φ 4 2・4 9 0 (水平)	アンカー工 φ 4 2・4 9 0 (上向き)	A	A 1	コンクリート表面被覆工	車線規制 A 1	交通誘導警備員 B 1－1	交通誘導警備員 B 1－2
単位		本	本	t	本	本	本	m2	L	m2	回	人・日	人・日
入田橋	A 1	3.0		0.381		18.0	24.0		4460.4	43.0	7.0		
	P 1												
	P 2												
	P 3 (起)		3.0	0.327	18.0		24.0	248.1	34.2				101.0
	P 3 (終)												
	P 4							290.5				56.0	48.0
	P 5							874.5					
	P 6							1074.8					
	P 7							712.8					
	A 2												
合計		3.0	3.0	0.708	18.0	18.0	48.0	3200.7	4494.6	43.0	7.0	56.0	149.0

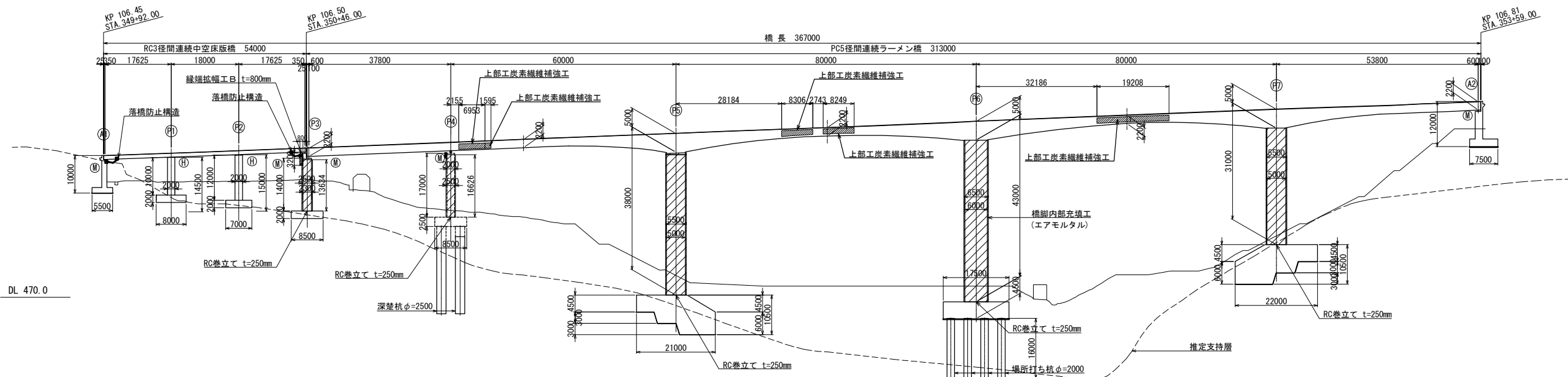
項目番号		特-（ 9 ）	特-（ 1 0 ）	特-（ 1 0 ）	特-（ 1 1 ）	特-（ 1 2 ）	特-（ 1 2 ）	特-（ 1 3 ）	特-（ 1 3 ）	特-（ 2 1 ）	
項目名称		上部工炭素繊維下地処理工	上部工炭素繊維補強工	上部工炭素繊維補強工	上部工炭素繊維補強表面仕上工	上部工炭素繊維定着体工	上部工炭素繊維定着体工	コンクリートはつり工	コンクリートはつり工	橋脚内部充填工	
			A 1	A 2	A	A	B	A	B	A	
単位		m2	m2	m2	m2	本	本	m 3	m 3	m3	
入田橋	A 1							3.830	0.630		
	P 1										
	P 2										
	P 3（起）	129.3	111.1	18.2	129.3	496.0	144.0	0.343	0.005		
	P 3（終）										
	P 4										
	P 5										
	P 6										830.7
	P 7										
	A 2										
合計	129.3							111.1	18.2	129.3	496.0

上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	入田橋（上り線）数量総括表		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

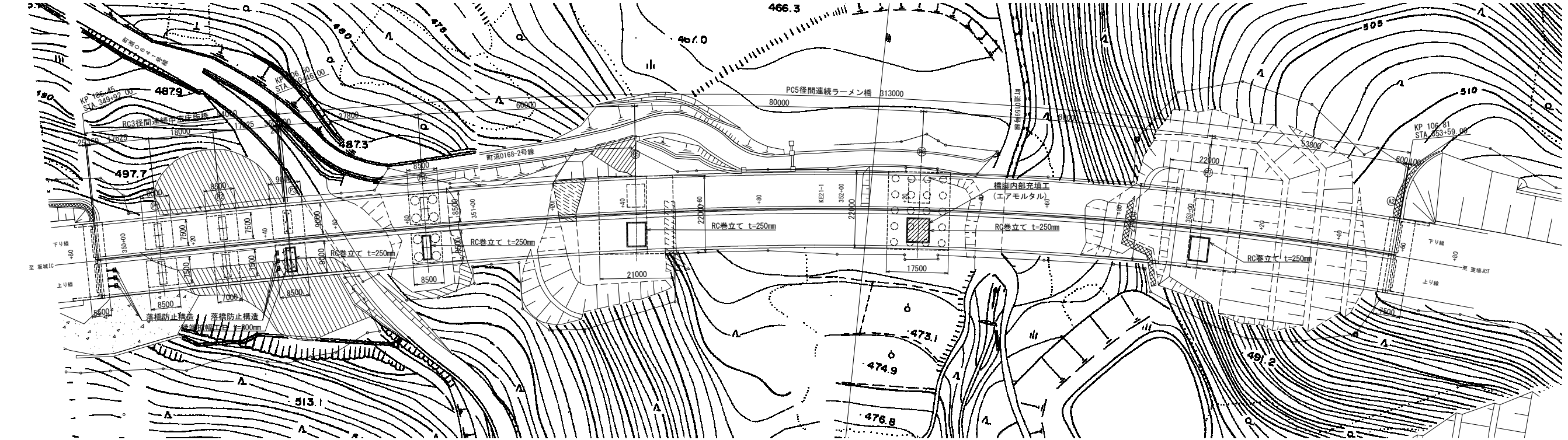


上 信 越 自 動 車 道			
豊 田 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	入田橋(上り線) 橋梁一般図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 長 野 工 事 所		関東支社 工 務 所

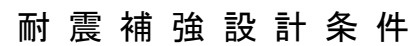
側面図



平面図

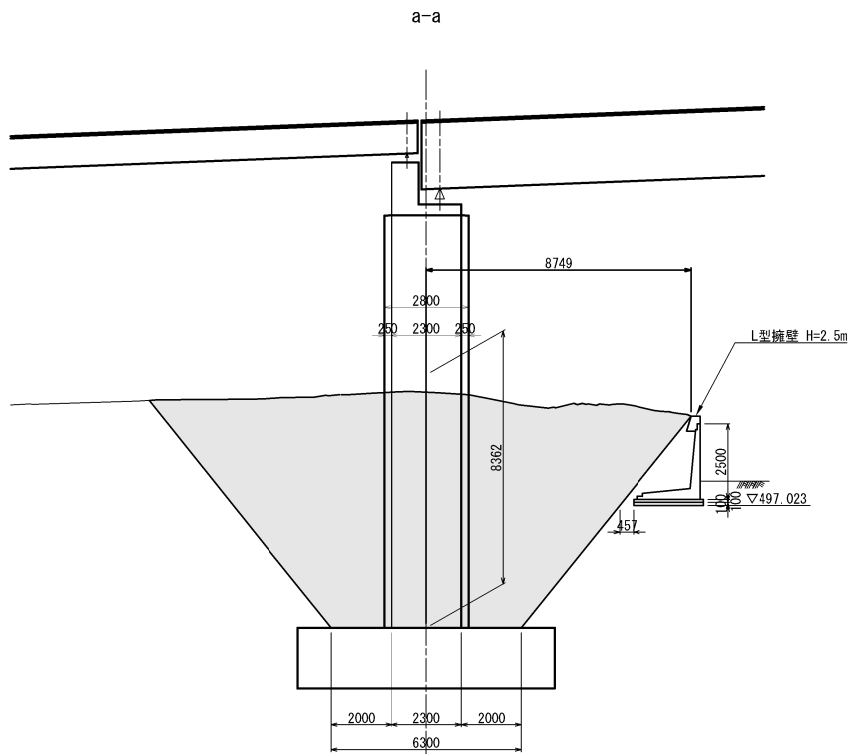
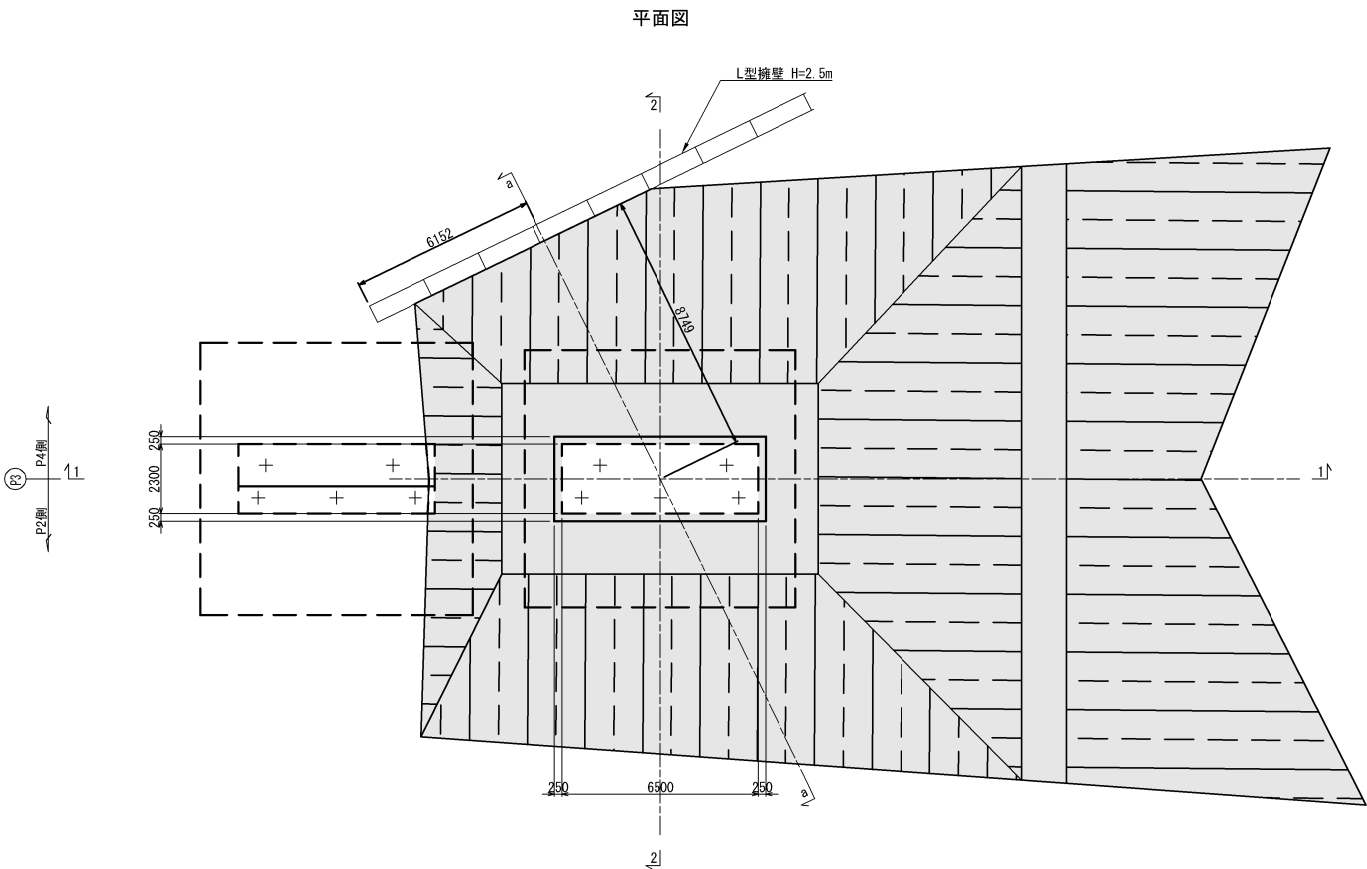
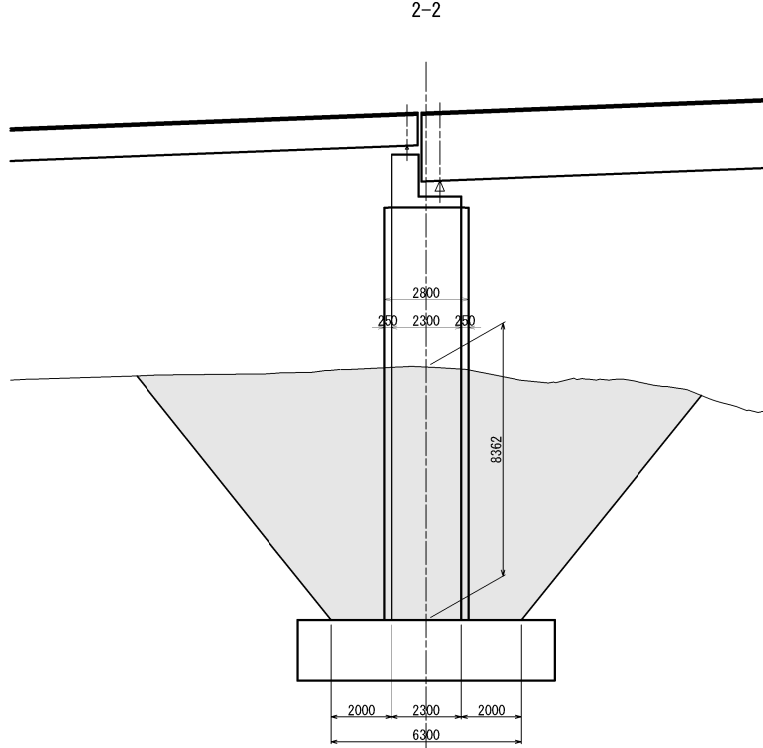
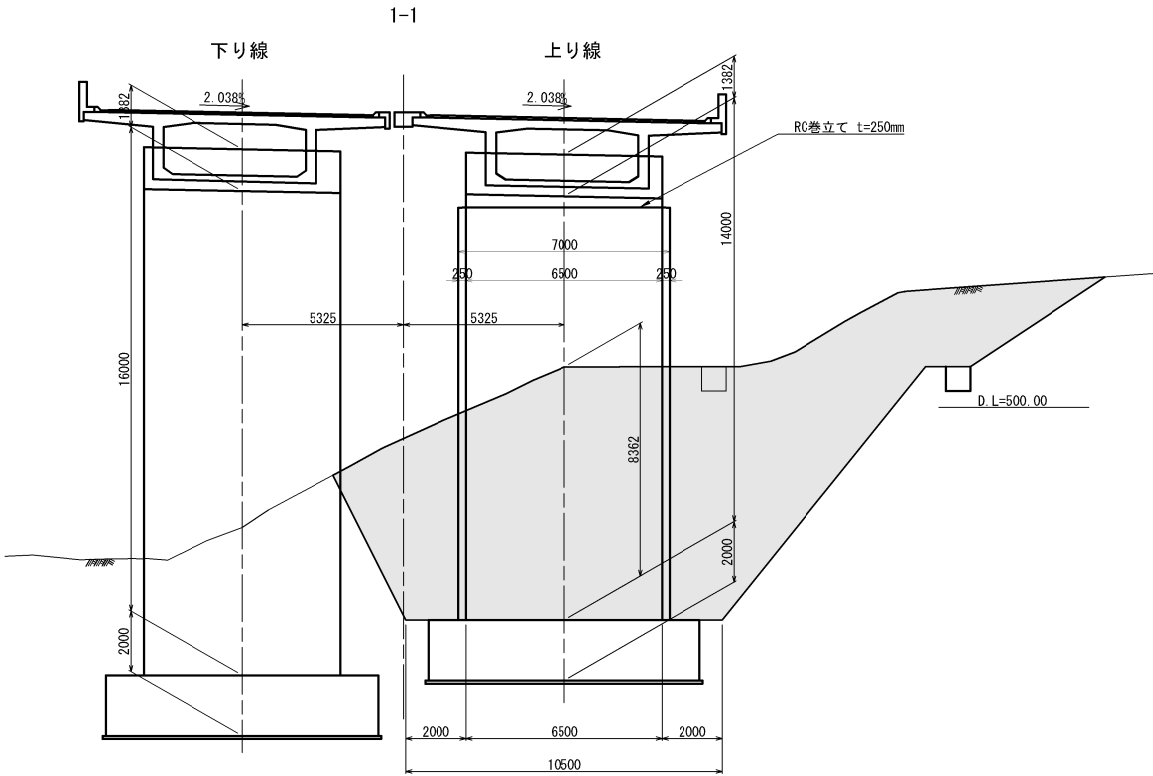


上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入田橋(上り線) 耐震補強一般図(その1)		
縮尺	1:1250	図面番号	/
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

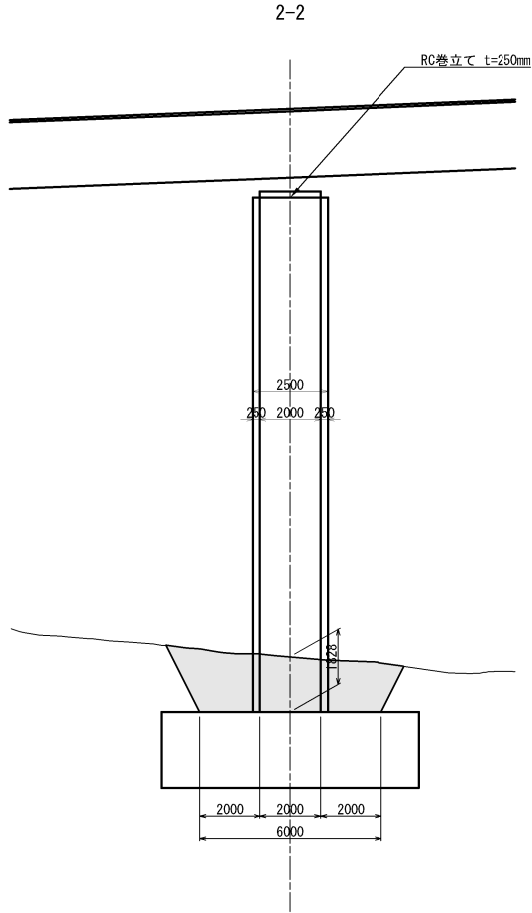
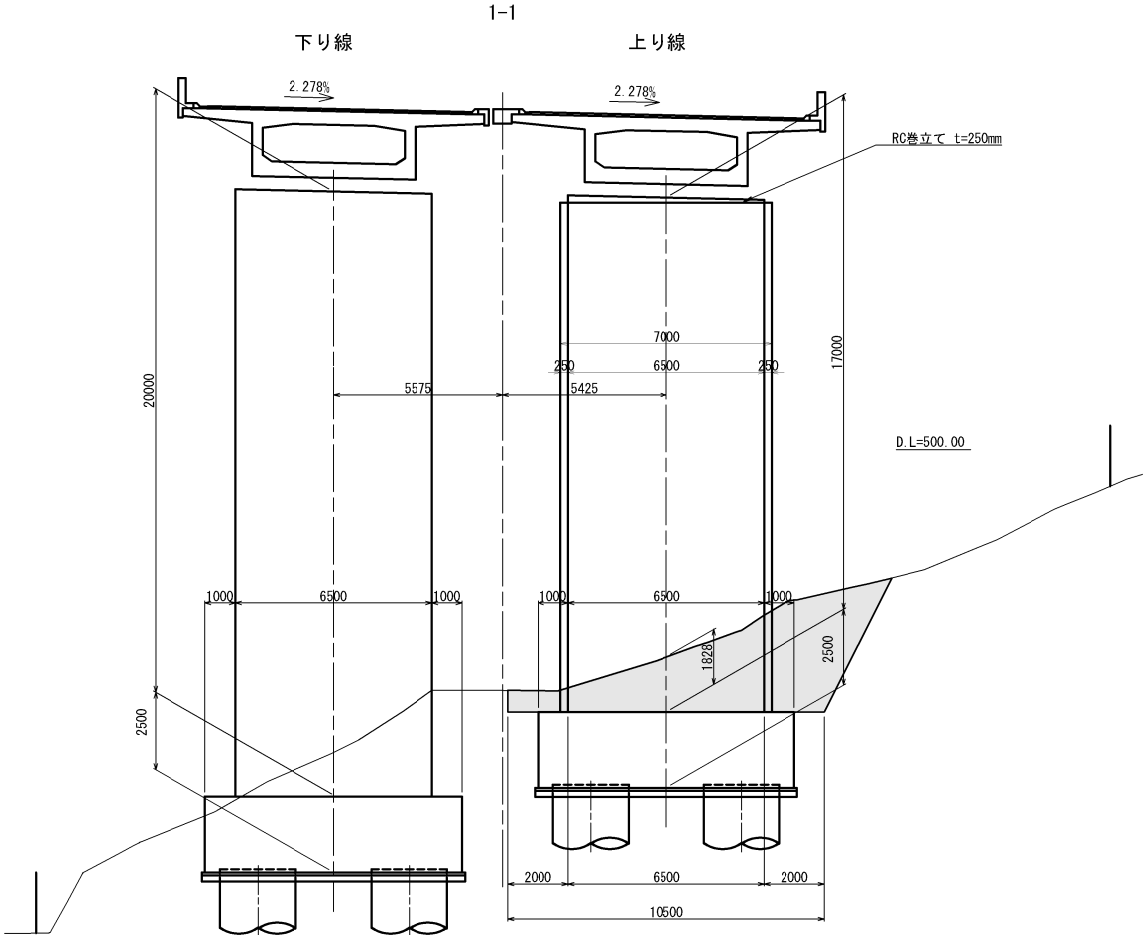


適 用 基 準		R6設計要領 第二集 保全編 H24道路橋示方書・同解説 IV 下部工編 V 耐震設計編	
活 荷 重		B活荷重	
使 用 材 料	コンクリート	$\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$	
	鉄 筋	SD345	
補 強 内 容	橋 脚	RC巻立て:P3A, P4A, P5A, P6A, P7A 橋脚内部充填工:P6A	
	上 部 工	上部工炭素繊維補強工:P4A~P5A, P5A~P6A, P6A~P7A	
	下 部 工	縁端拡幅工 B : P1	

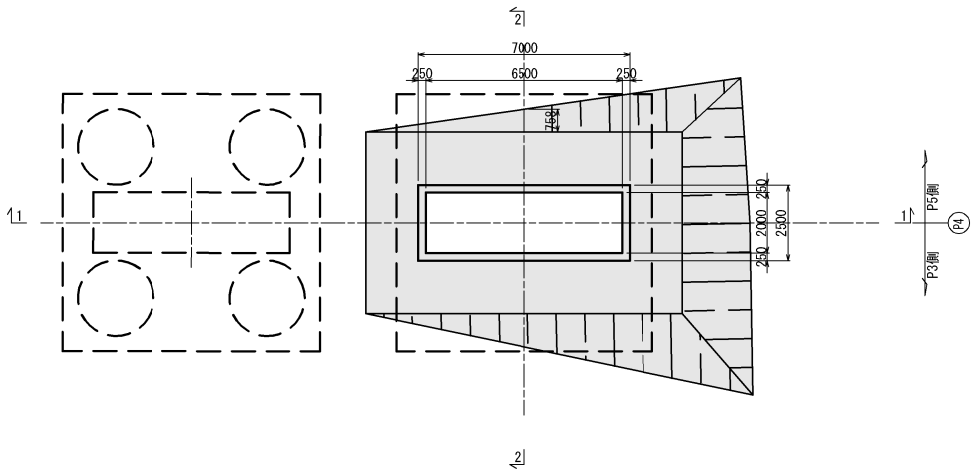
上 信 越 自 動 車 道			
豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	入田橋(上り橋) 耐震補強一般図(その2)		
縮 尺	1:600	図面番号	
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		



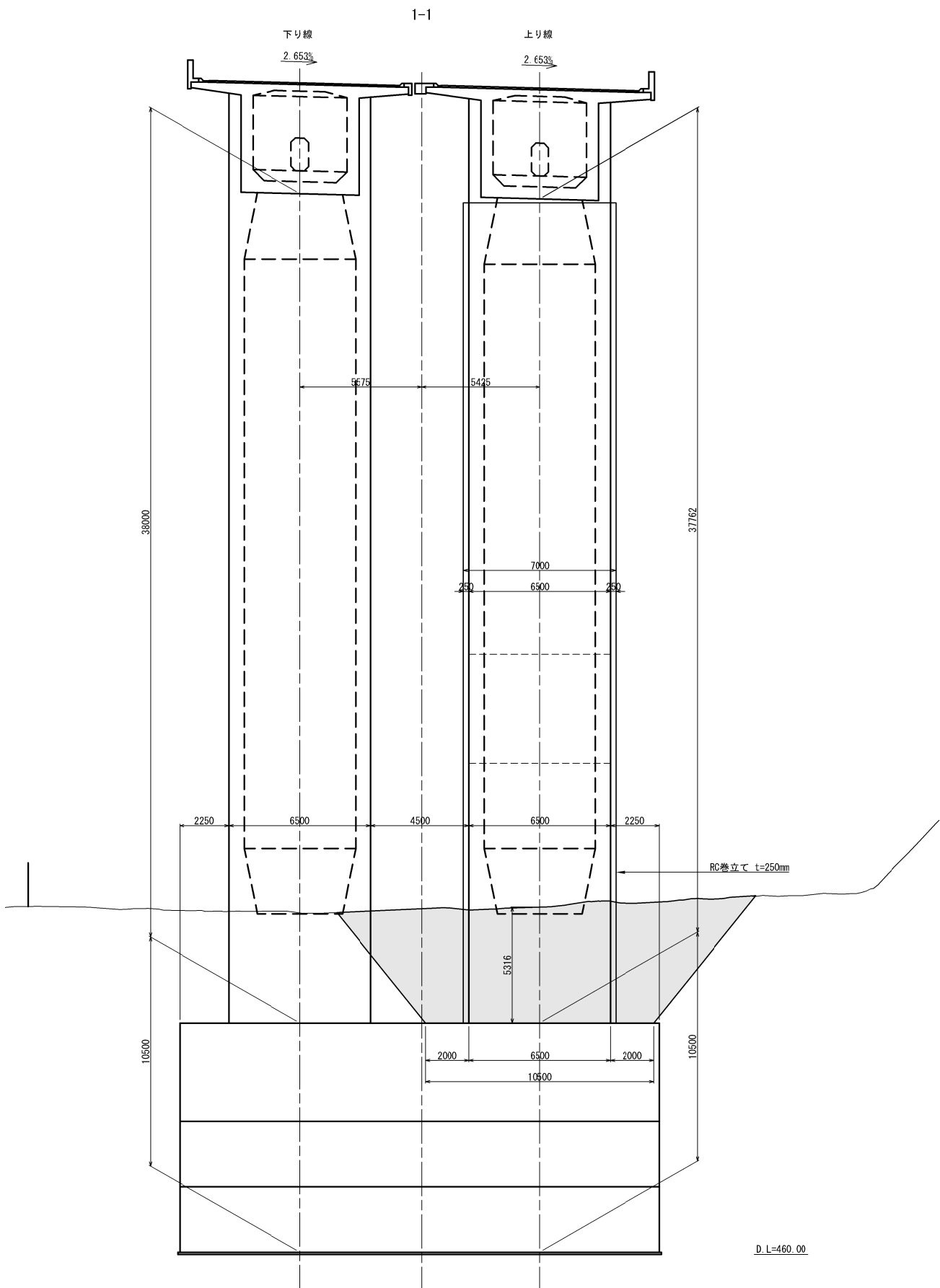
上 信 速 自 動 車 道			
豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	入田橋(上り線)		
	P 3 橋脚 構造物掘削図 普通部B 1		
縮 尺	1:250	図面番号	
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		



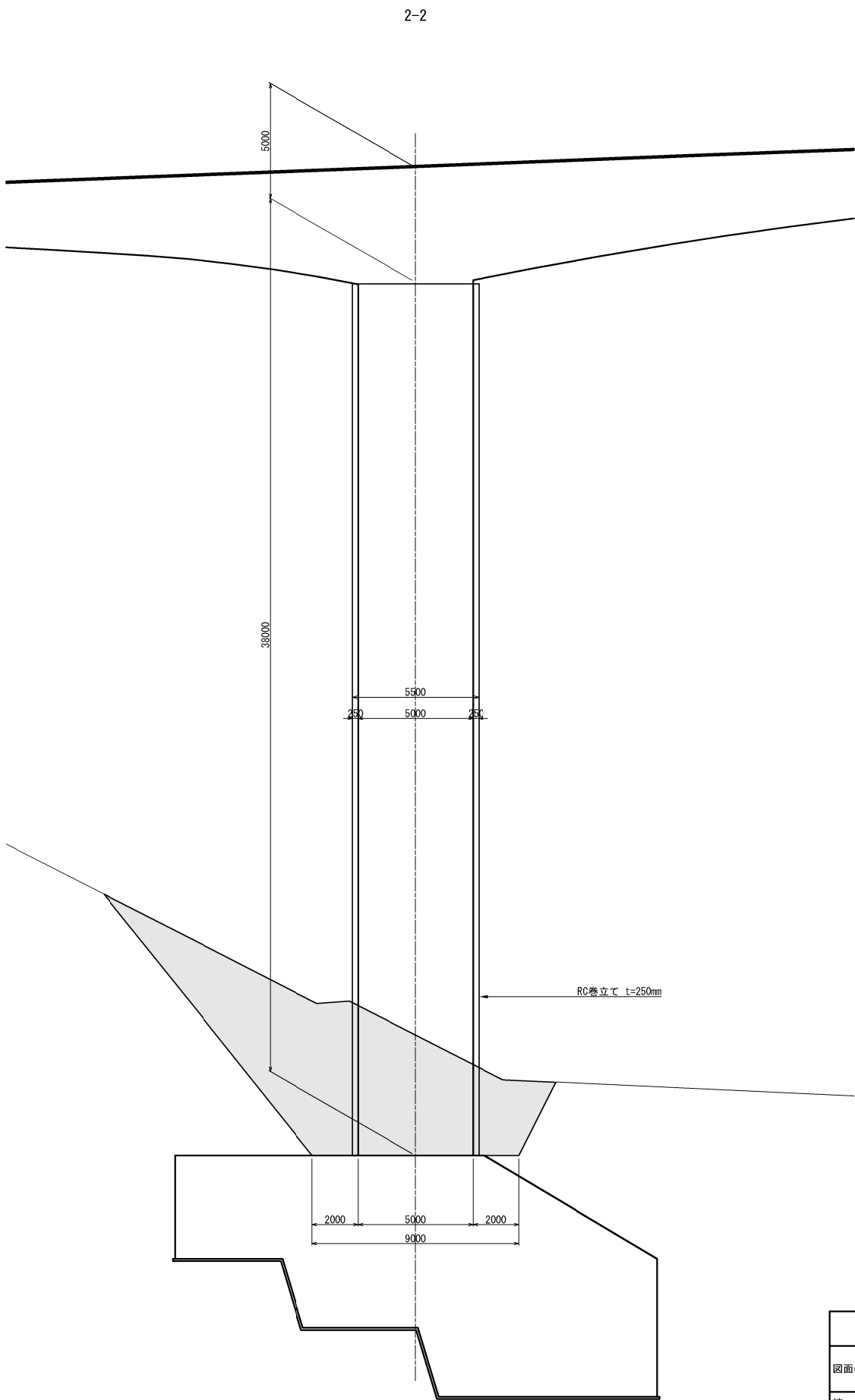
平面図



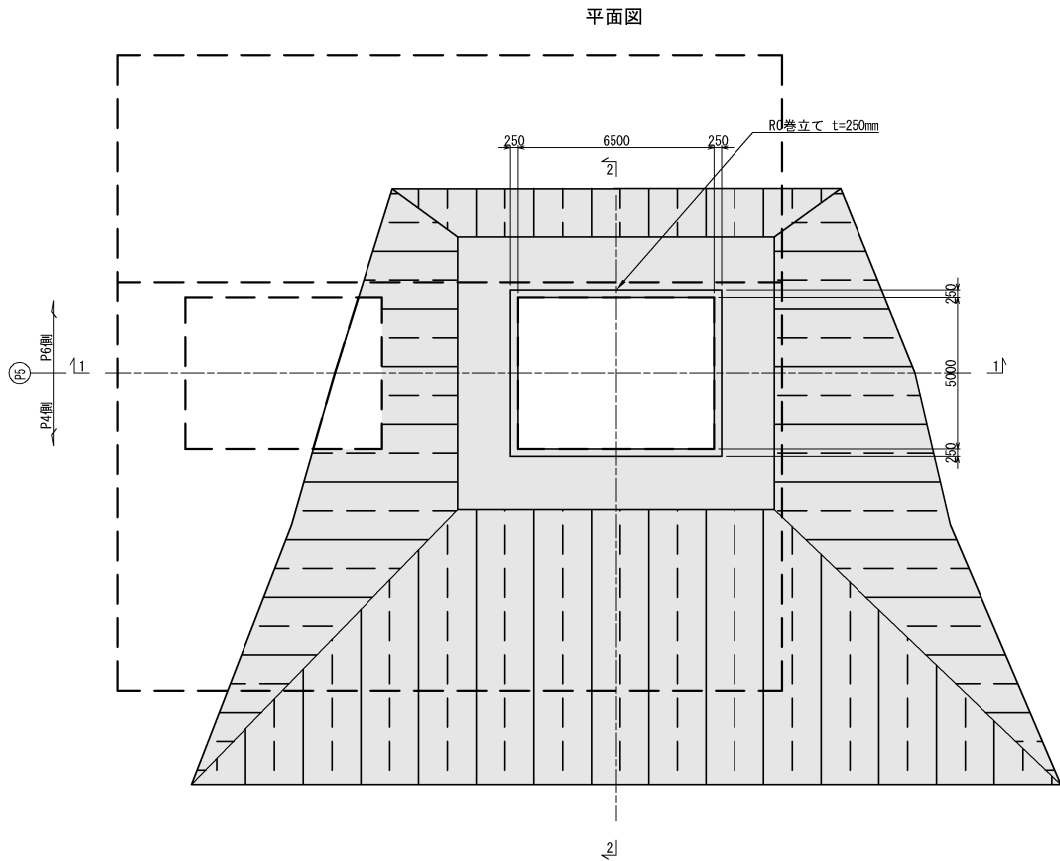
上 信 速 自 動 車 道			
豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	入田橋(上り線)		
	P 4 橋脚 構造物掘削図 普通部 A		
縮 尺	1:250	図面番号	/
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		



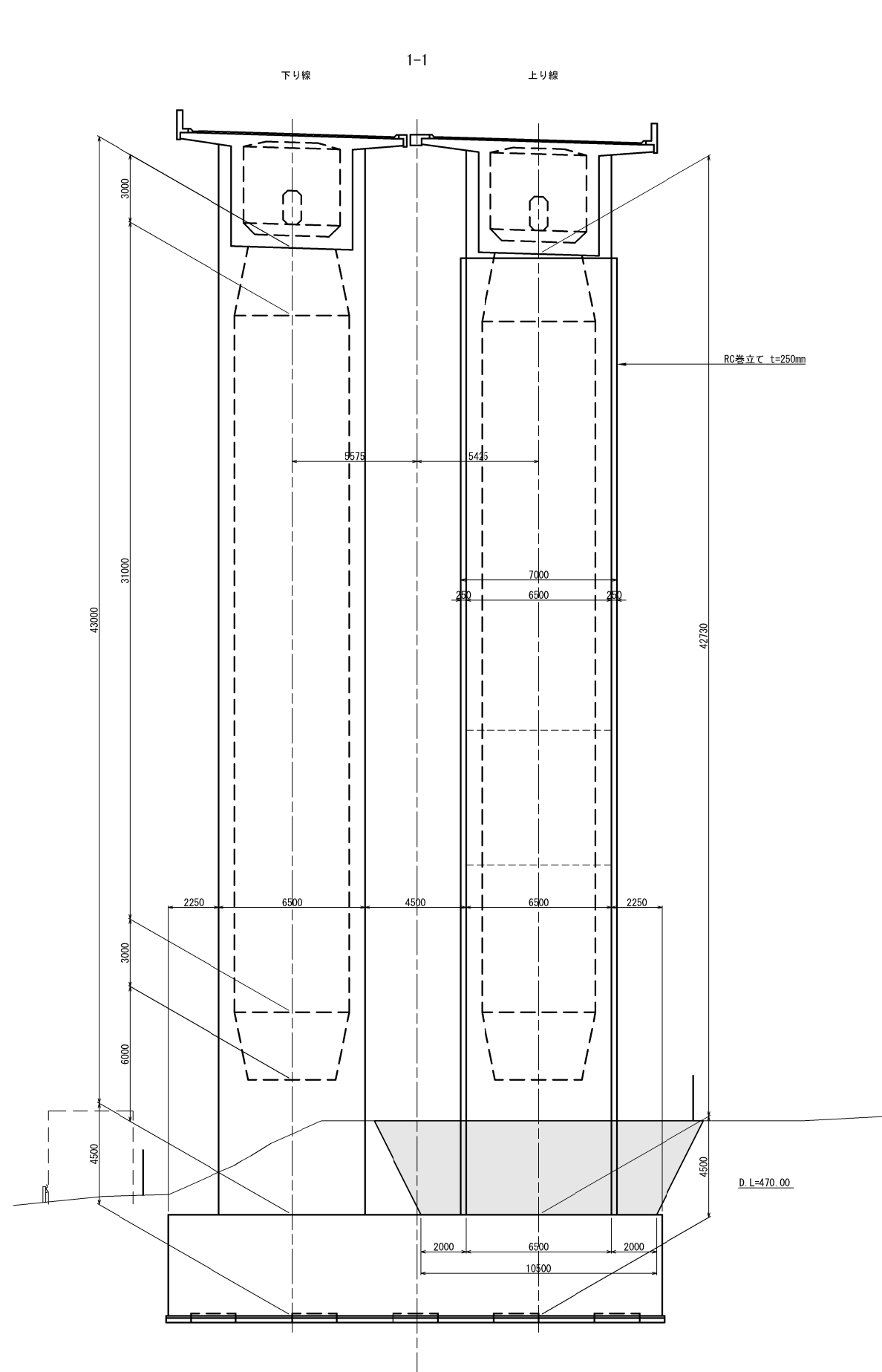
D.L=460.00

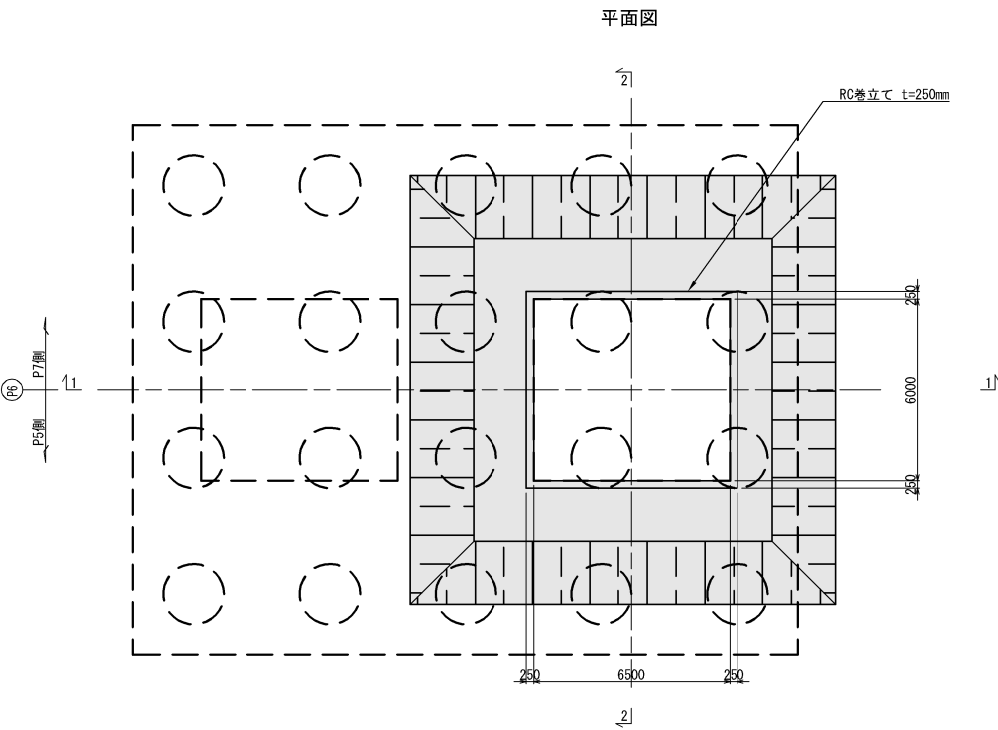


上 信 速 自 動 車 道			
豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	入田橋(上り線)		
	P 5 橋脚 構造物掘削図 普通部A(その1)		
縮 尺	1:250	図面番号	/
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社長 野 工 事 事 務 所		

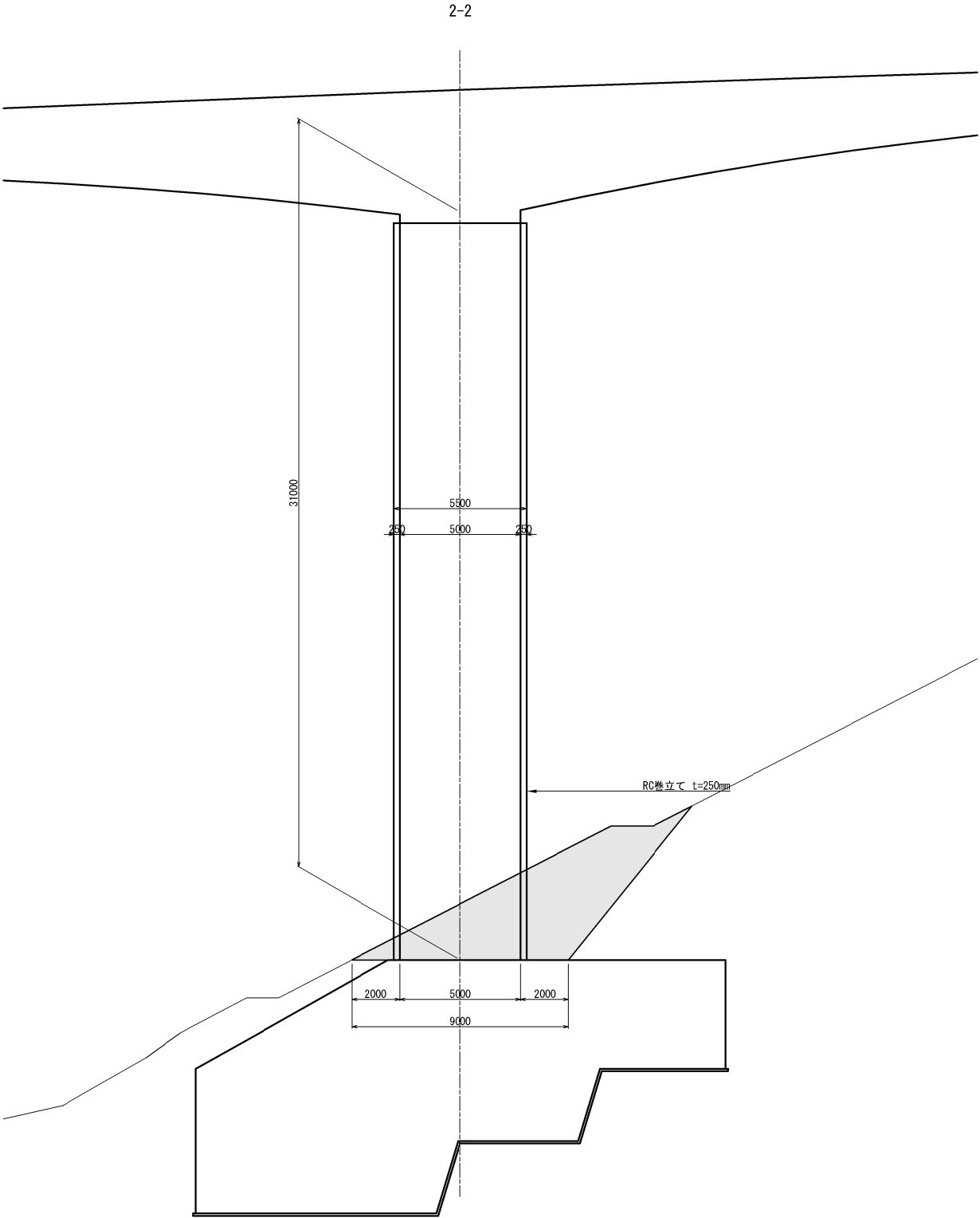
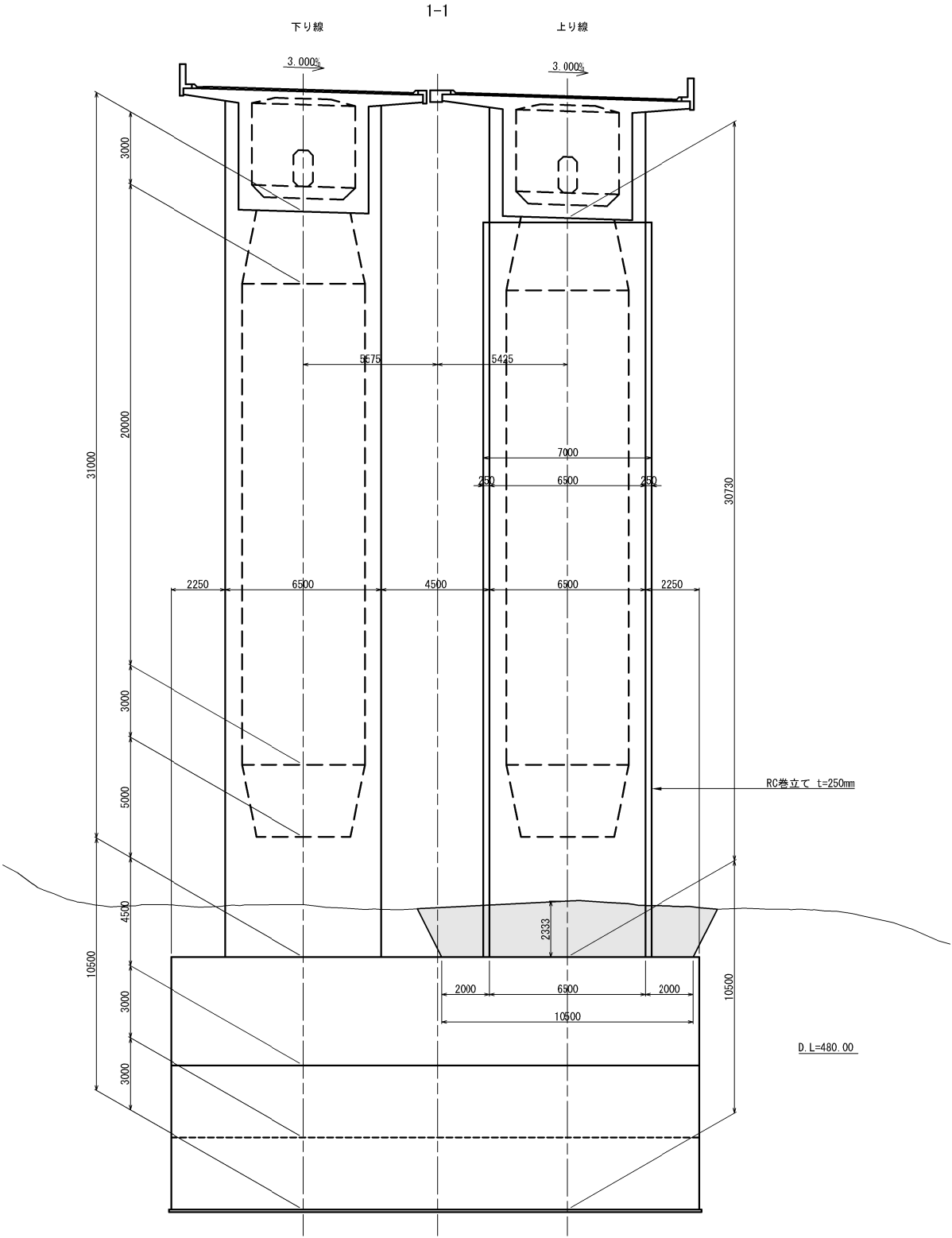


上 信 速 自 動 車 道			
豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	入田橋(上り線)		
	P 5 橋脚 構造物掘削図 普通部A(その2)		
縮 尺	1:250	図面番号	/
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

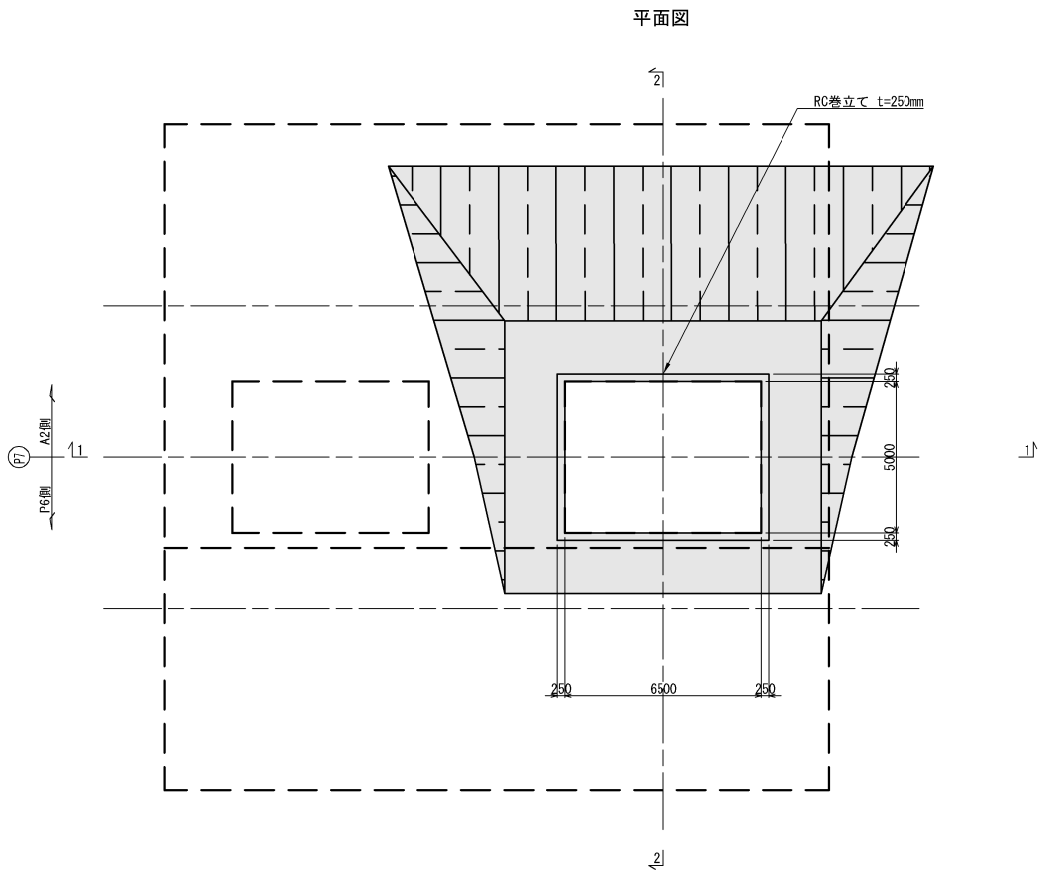




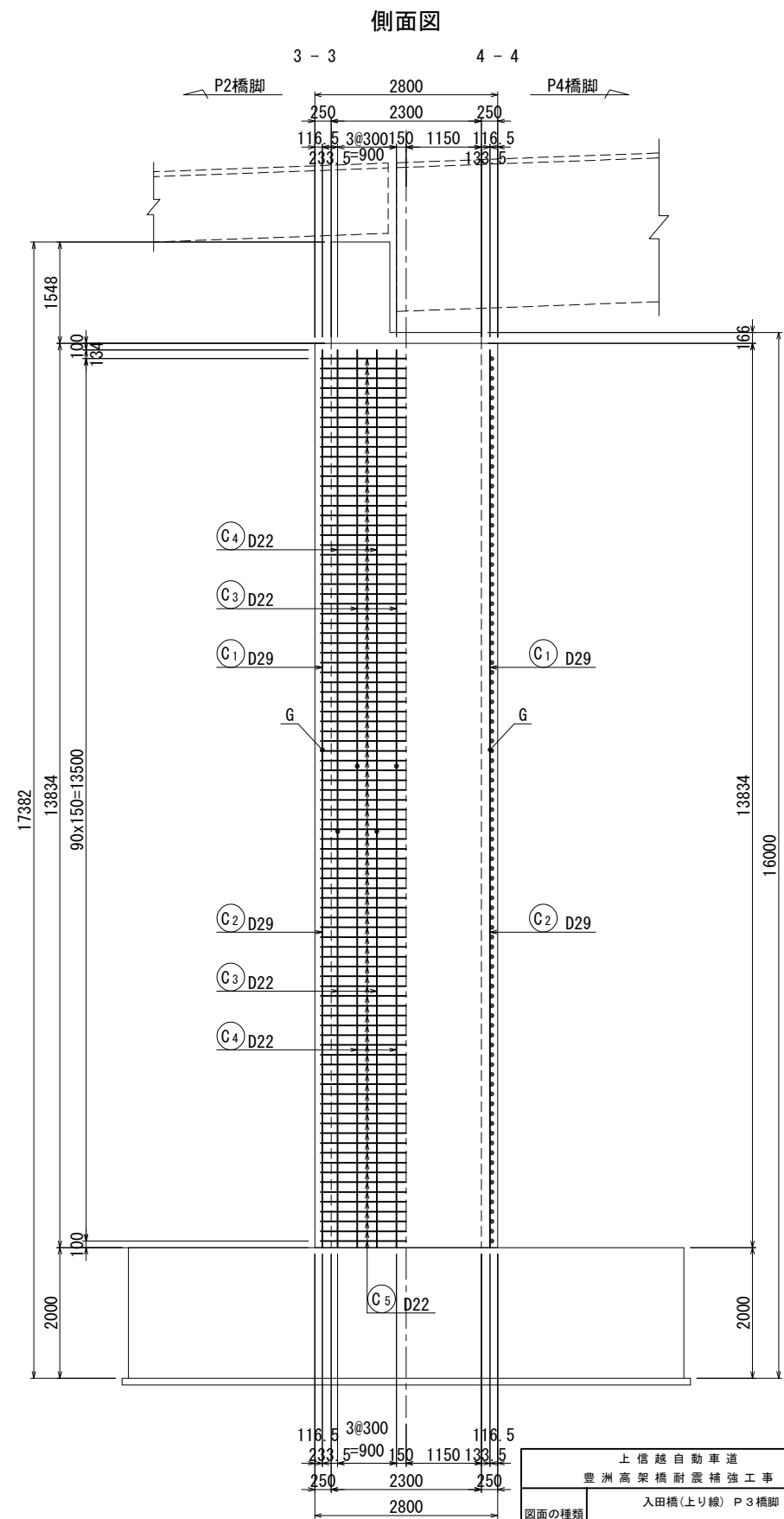
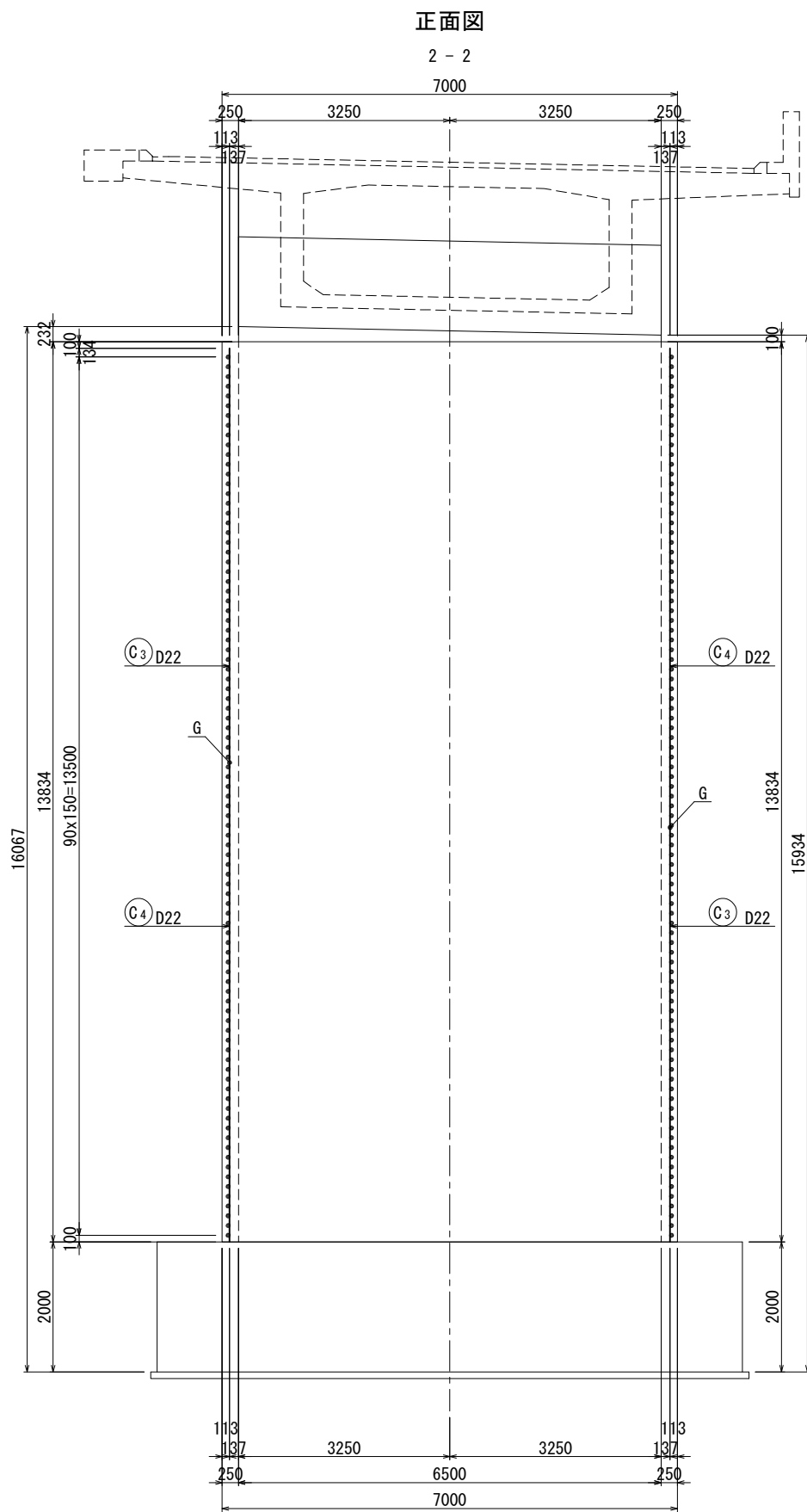
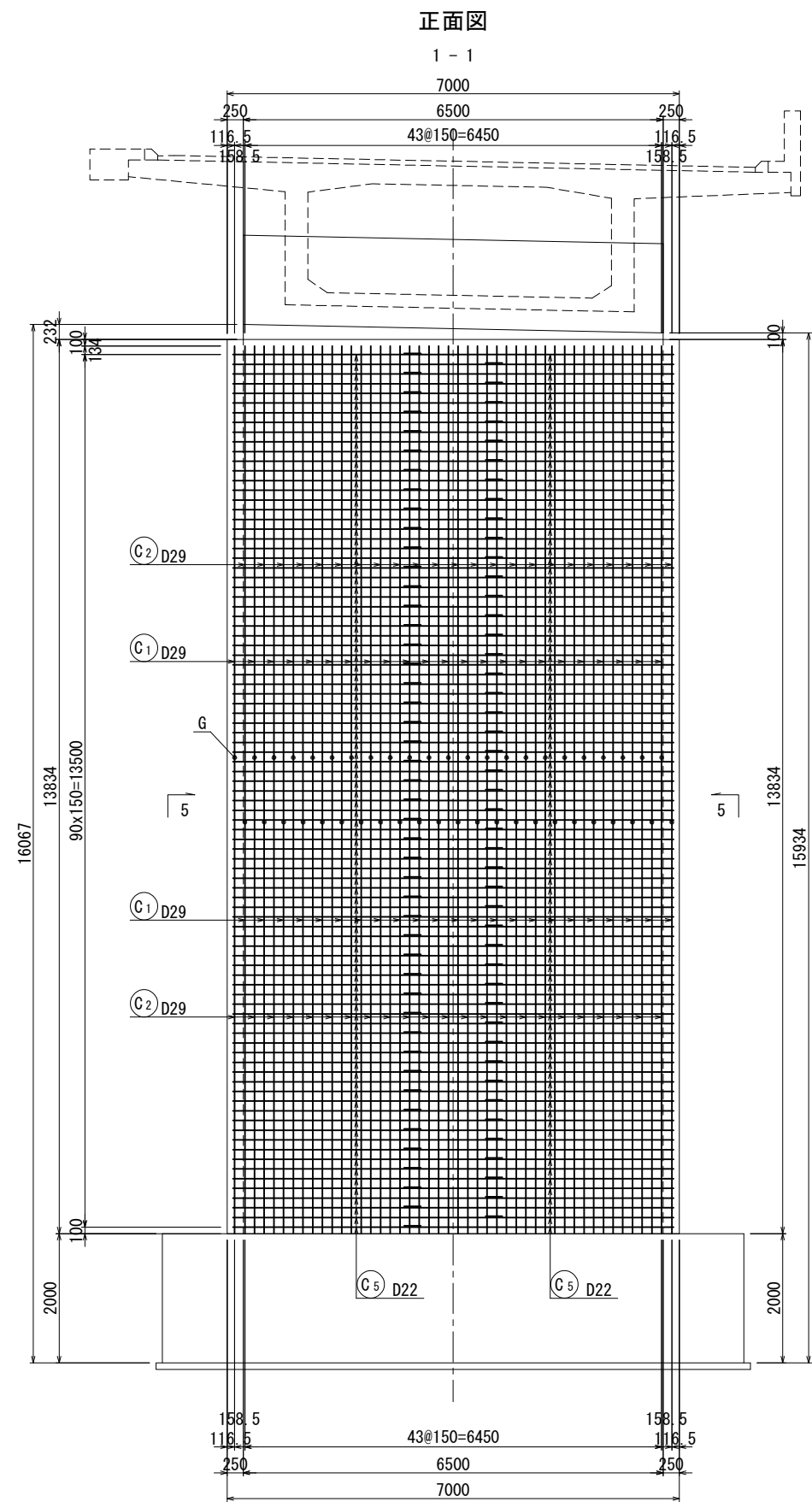
上 信 速 自 動 車 道			
豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	入田橋(上り線)		
	P 6 橋脚 構造物掘削図 普通部A(その2)		
縮 尺	1:250	図面番号	/
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		



上 信 速 自 動 車 道			
豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	入田橋(上り線)		
	P 7 橋脚 構造物掘削図 普通部A(その1)		
縮 尺	1:250	図面番号	/
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		



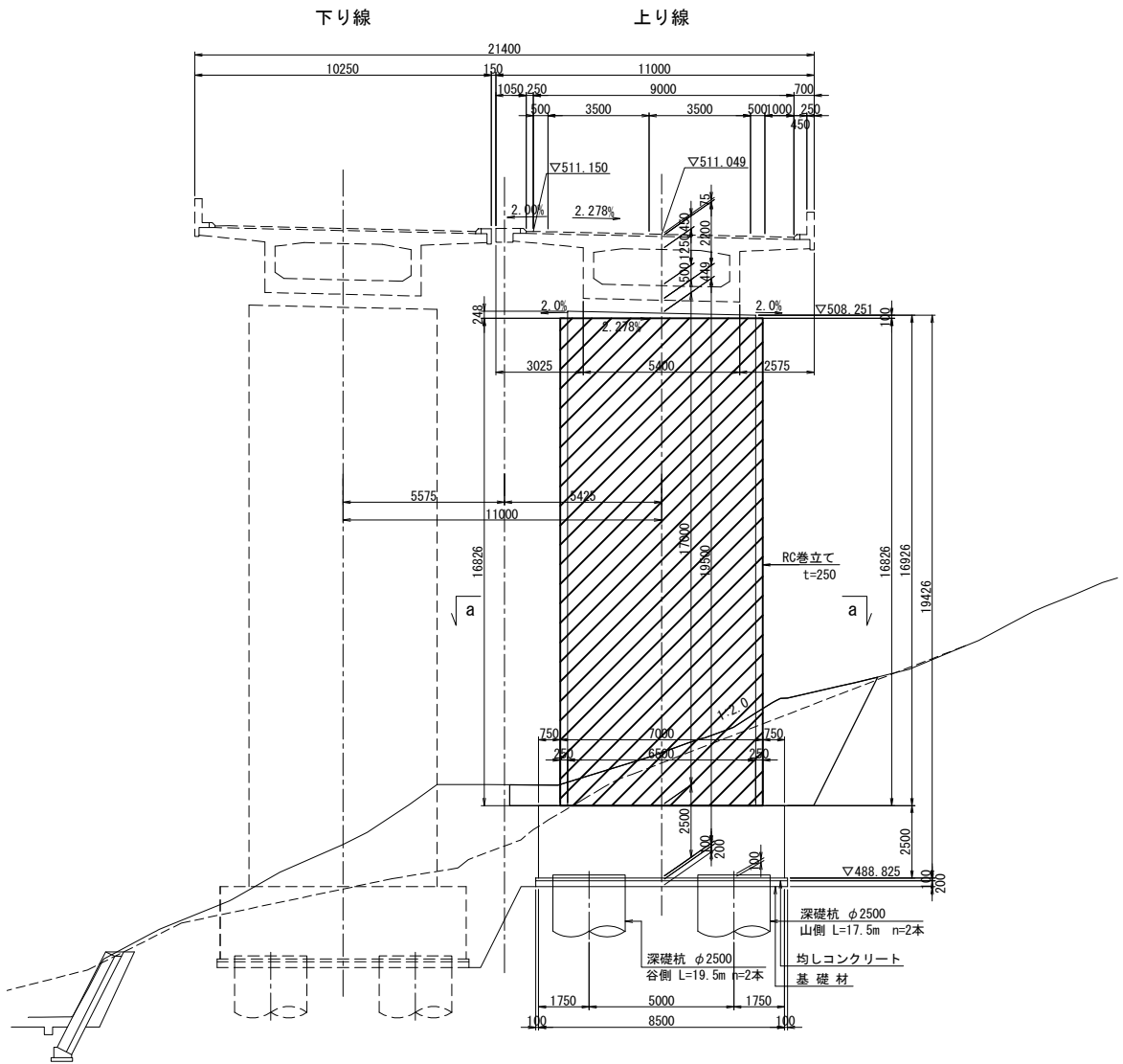
上 信 速 自 動 車 道			
豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	入田橋(上り線)		
	P 7 橋脚 構造物掘削図 普通部A(その2)		
縮 尺	1:250	図面番号	/
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		



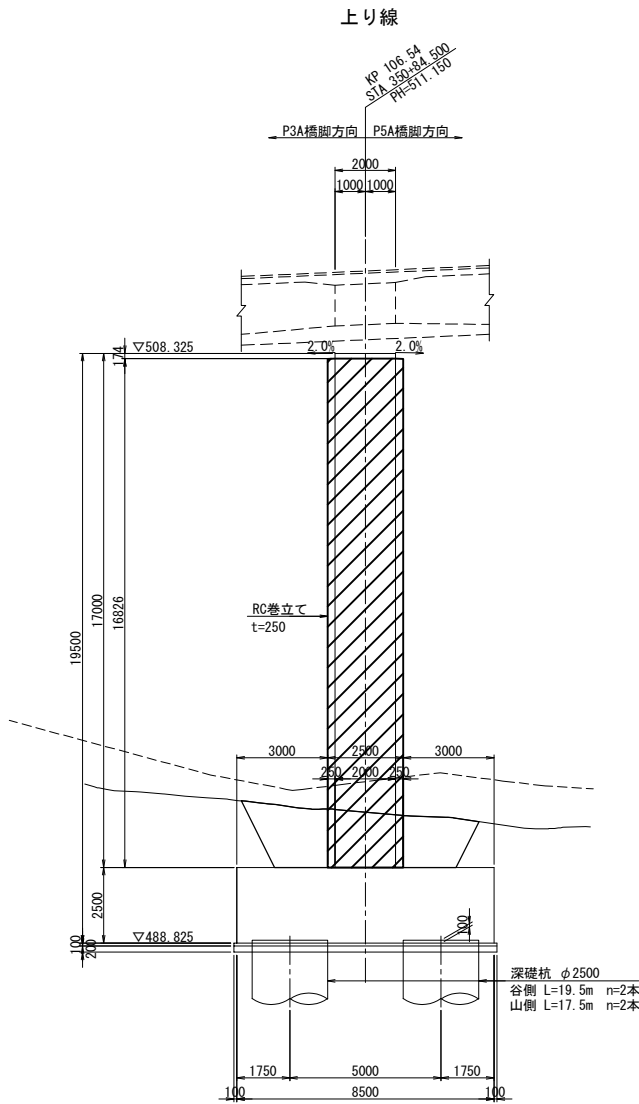
注記)
1. G は、ガス圧接継手位置を示す。

上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	入田橋（上り線）P 3 橋脚 R C 巻立て配筋図（その 1）		
縮 尺	1:100	図面番号	
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

正面図

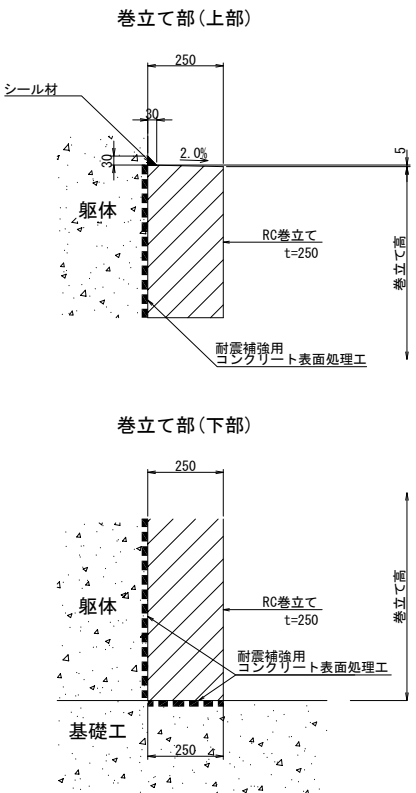


側面図



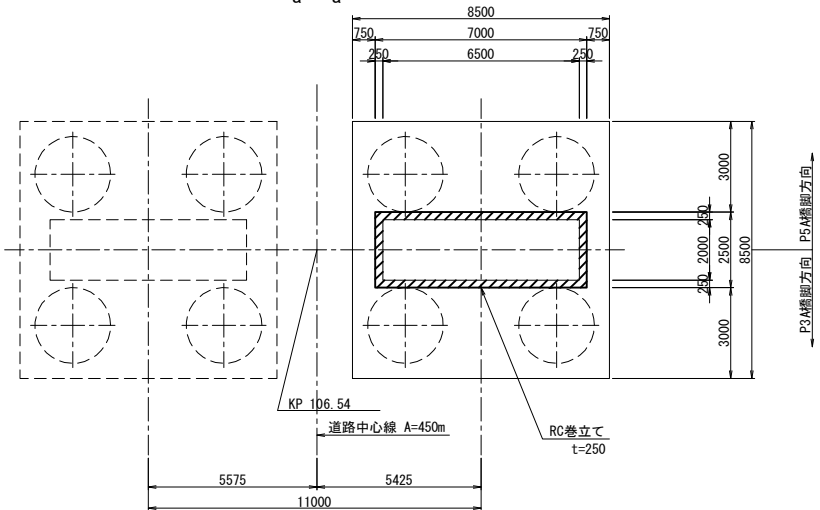
巻立て部詳細図

S=1:25



平面図

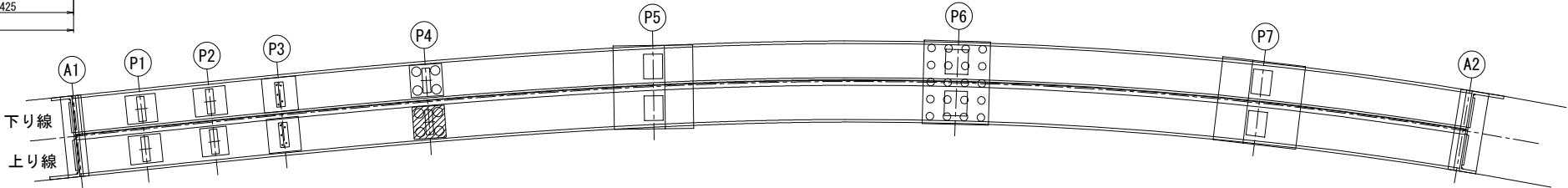
a - a



使用材料

工種	仕様
既設部	コンクリート 240kg/cm ³
鉄筋	S0345
補強部	コンクリート A1-5 30 N/mm ²
鉄筋	S0345

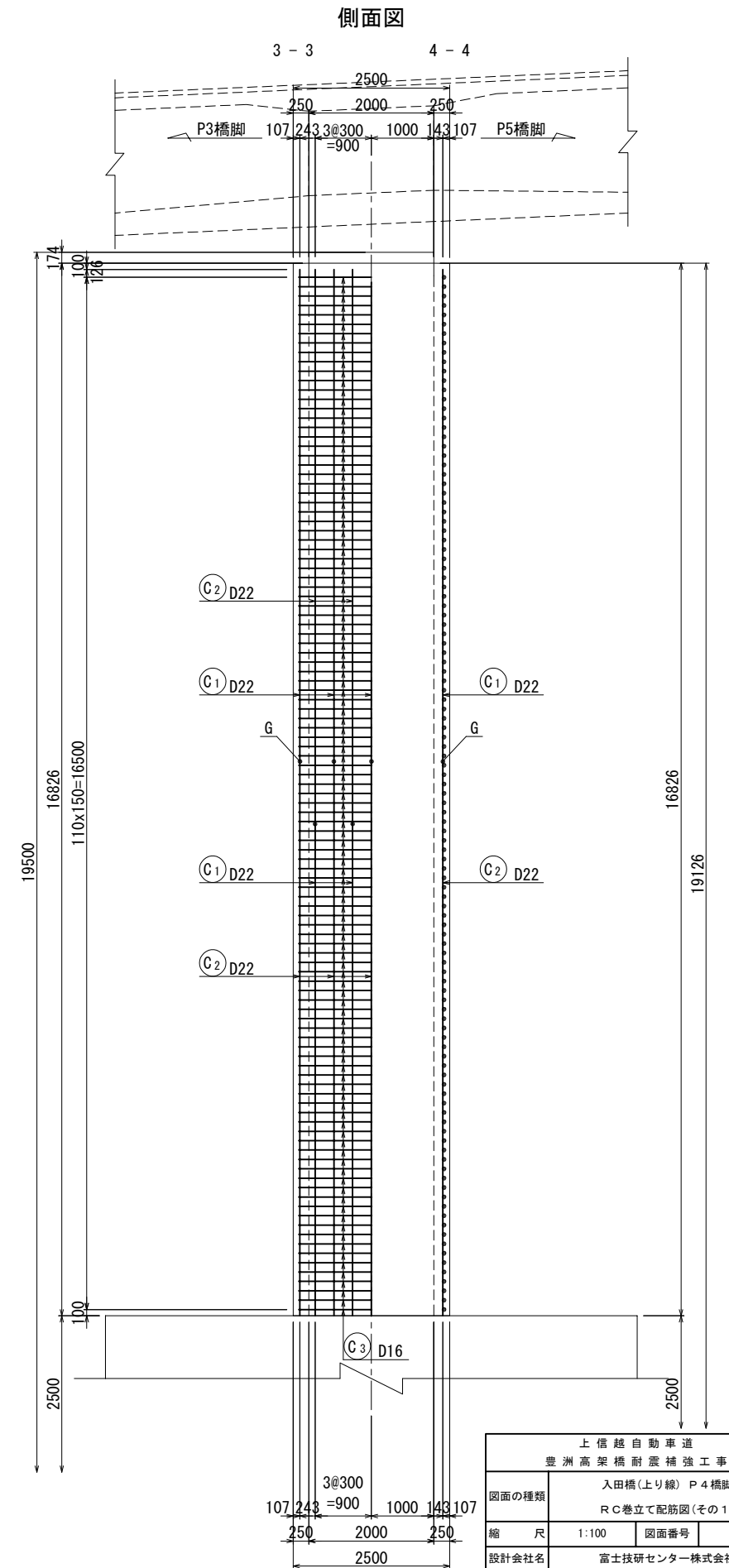
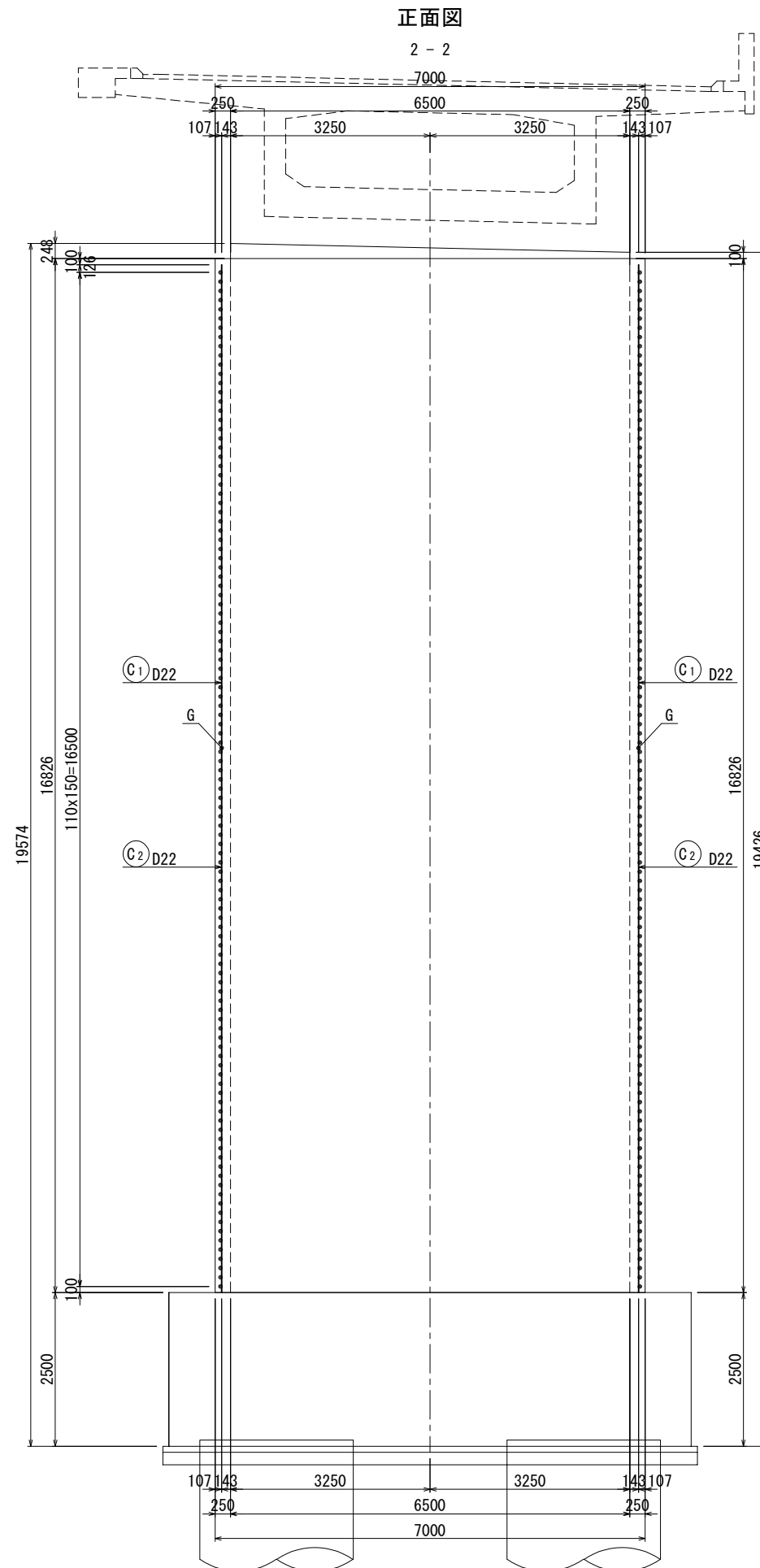
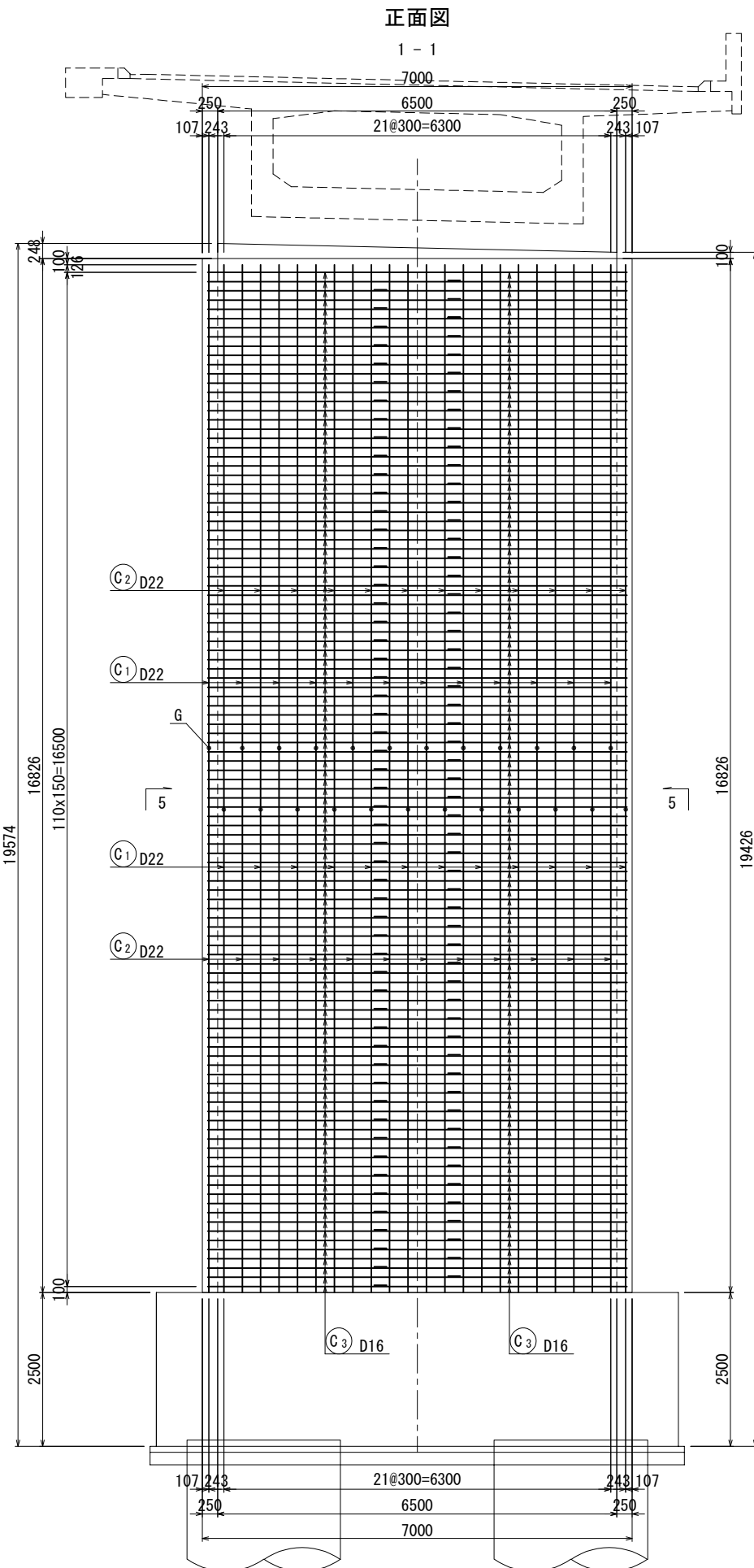
位置図



注記)

- 施工前に既設形状寸法を確認すること。
- アンカー定着鉄筋の削孔にあたっては、既設構造物の鉄筋を切断しないように現在の配筋状態を事前に鉄筋探査等による調査を実施し、確認すること。
- 補強部分(既設面)は、WJによる表面処理を行うこと。

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入田橋(上り線) P4橋脚 RC巻立て一般図		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



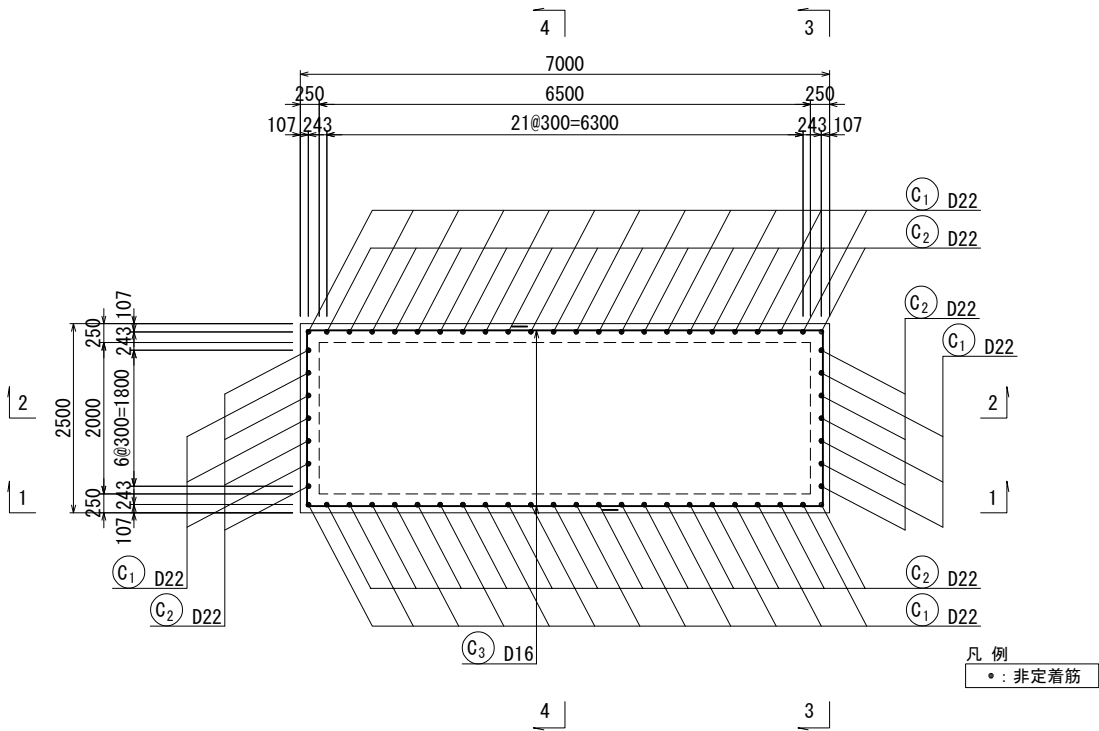
注記)

1. は、ガス圧接続手位置を示す。

上 信 越 自 動 車 道			
豊 田 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	入田橋(上り線) P4橋脚 R C巻立て配筋図(その1)		
縮 尺	1:100	図面番号	
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 長 野 工 事 所		関東支社 事 務 所

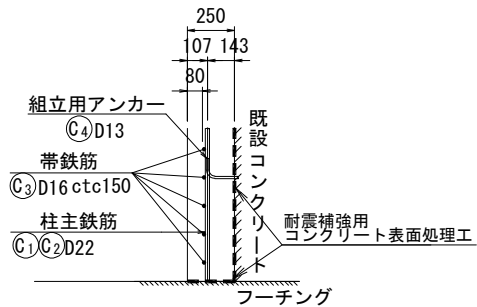
断面図

5 - 5

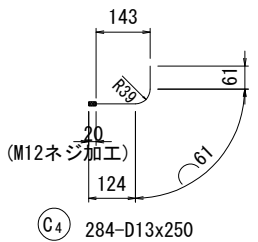


かぶり詳細図

S=1:40

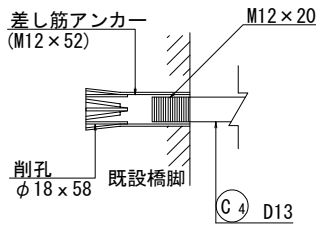


組立筋加工図 (参考図) S=1:20



※1本/約1m2程度、設置する。

組立て筋アンカー詳細図 (参考図) S=1:4



鉄筋表

記 号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘 要
C1	D22	7870	62	3.04	23.9	1,482	―― [62]
C2	D22	8870	62	3.04	27.0	1,674	――
C3	D16	9310	222	1.56	14.5	3,219	―― (222)
フレア箇所 ガス圧接箇所							
	D22	3,156 kg	[62]				SD345
	D16	3,219 kg	(222)				SD345
	合計	6,375 kg	(222)		[62]		SD345
フレア溶接 (D16)							
						222 箇所	
ガス圧接 (D22)							
						62 箇所	

鉄 筋 加 工 寸 法 表

主 筋

頂版・底版スターラップ

側壁スターラップ

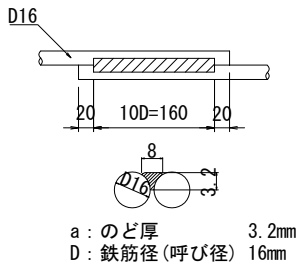
$$\Delta L = 2R - a$$

主 筋

スターラップ

径	$\theta \leq 90^\circ$						径	$\theta = 90^\circ$			
	$R=3\phi$			$R=5.5\phi$				$R=3\phi$			
	R	a	ΔL	R	a	ΔL		R	a	ΔL	
D13	39	61	17	71.5	56	3	D13	39	61	17	
D16	48	75	21	88.0	69	4	D16	48	75	21	
D19	57	89	25	104.5	82	5	D22	66	104	28	
D22	66	104	28	121.0	95	5	径	$\theta = 45^\circ$			
D25	75	118	32	137.5	108	6		$R=3\phi$			
D29	87	137	37	159.5	125	7		R	a	ΔL	
D32	96	151	41	176.0	138	8	D13	39	92	96	
D35	105	165	45	192.5	151	8	D16	48	113	119	
D38	114	179	49	209.0	164	9	D22	66	155	164	
D51	153	240	66	280.5	220	12					

フレア溶接詳細図



- 注記)
- 施工前に既設形状寸法を確認すること。
 - アンカー定着鉄筋の削孔にあたっては、既設構造物の鉄筋を切断しないように現在の配筋状態を事前に鉄筋による調査を実施し、確認すること。
 - 補強部分(既設面)は、WJによる表面処理を行うこと。
 - は、ガス圧接継手位置を示す。

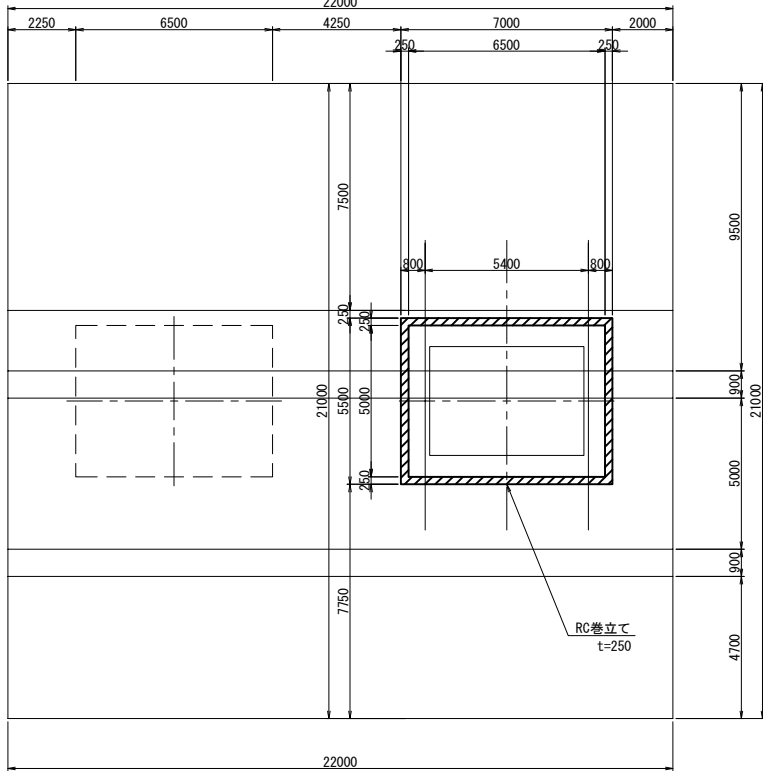
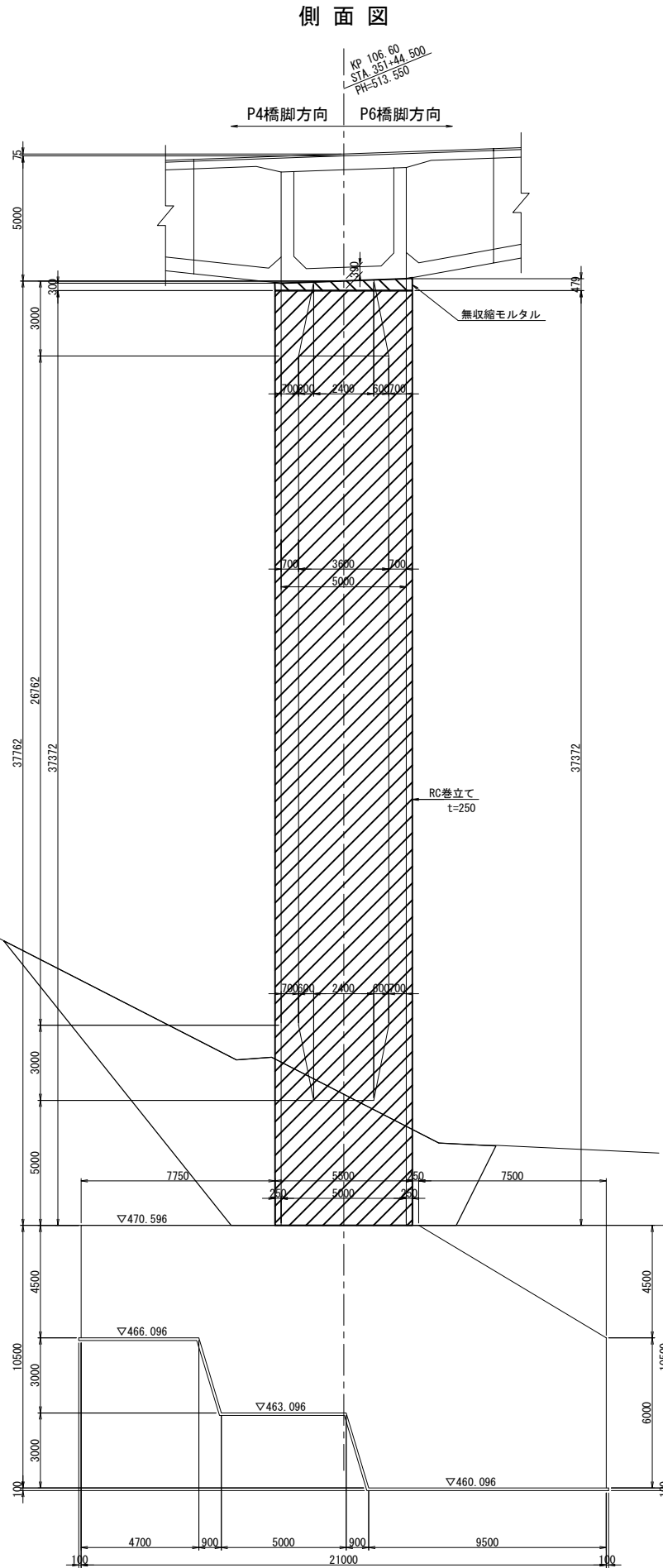
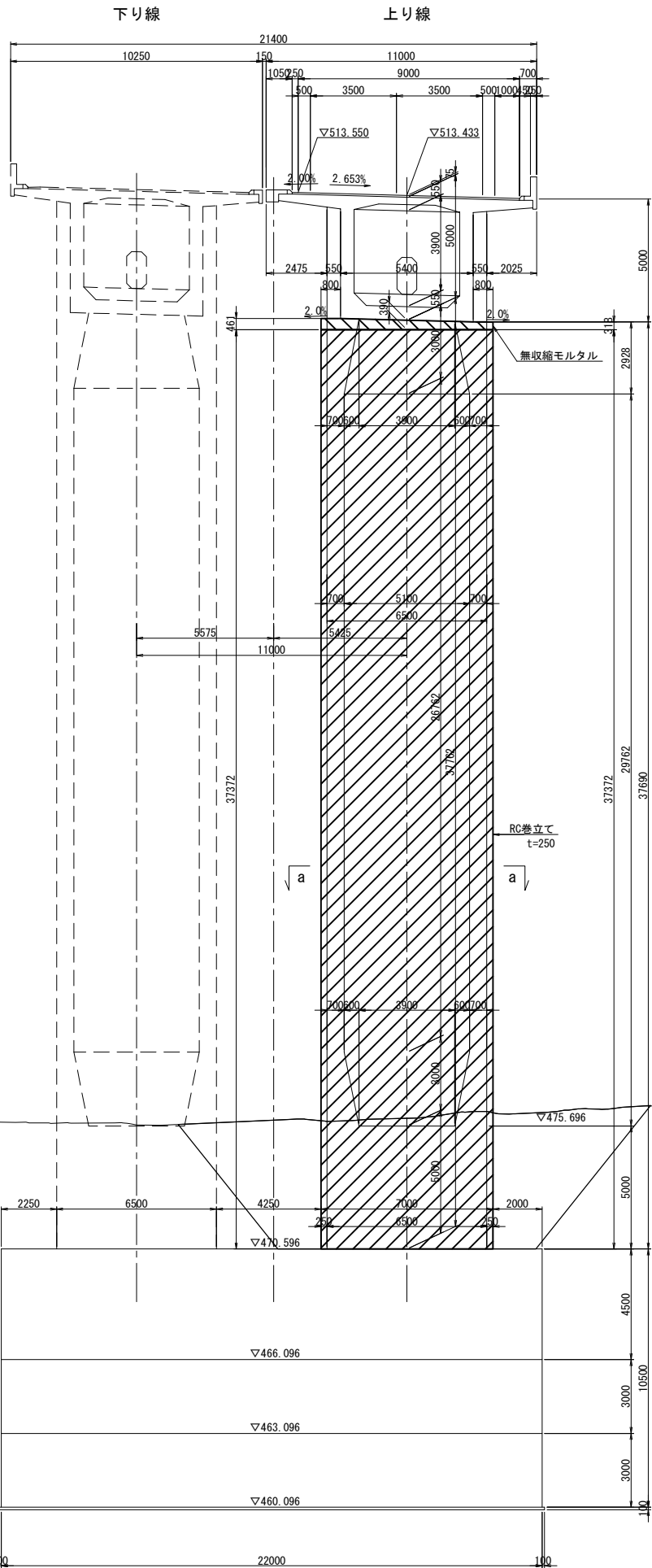
上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	入田橋(上り線) P 4 橋脚 R C巻立て配筋図(その2)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

正面図

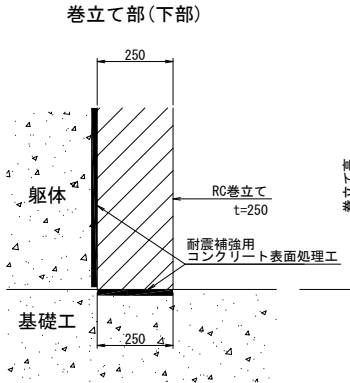
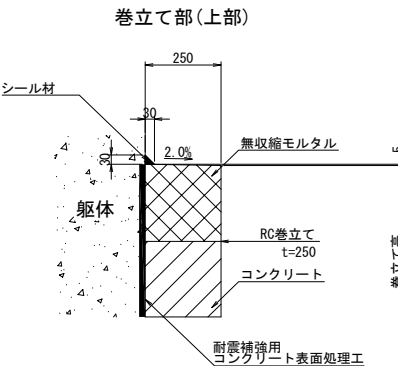
側面図

平面図

a - a



RC巻立て部詳細図 S=1:25



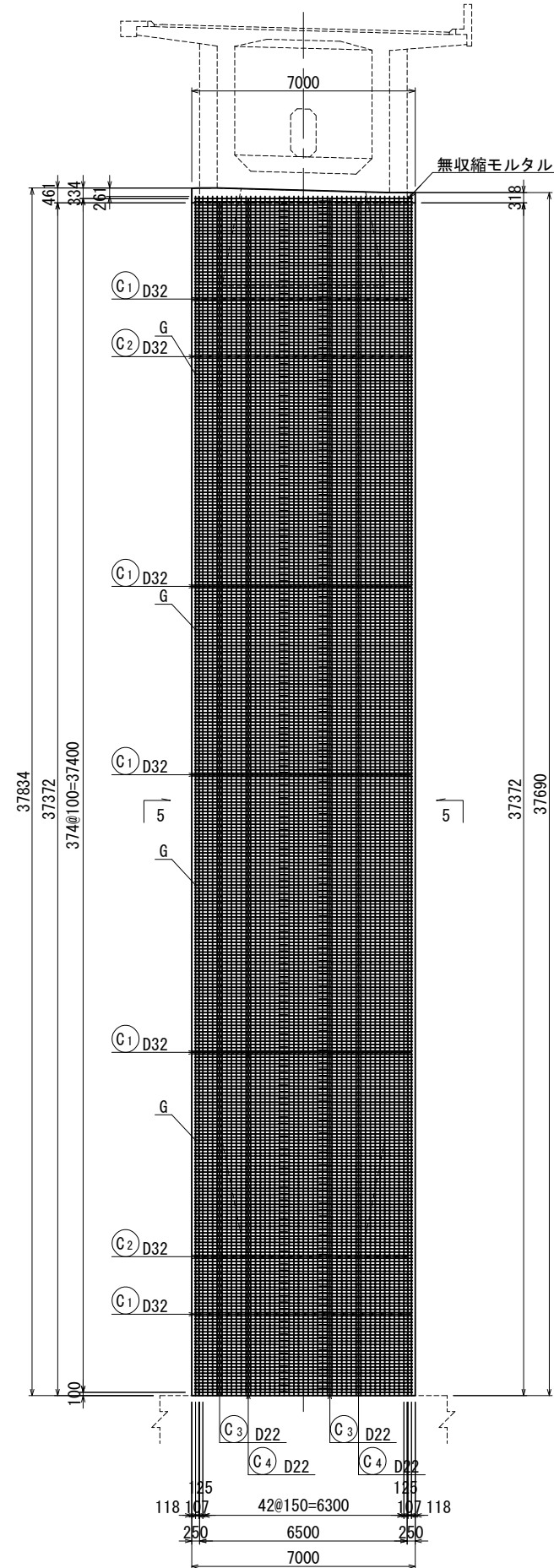
使用材料

工 種	仕 様
既設部	コンクリート 240kg/cm ³
	鉄 筋 SD345
補強部	コンクリートA1-5 30 N/mm ²
	鉄 筋 SD345

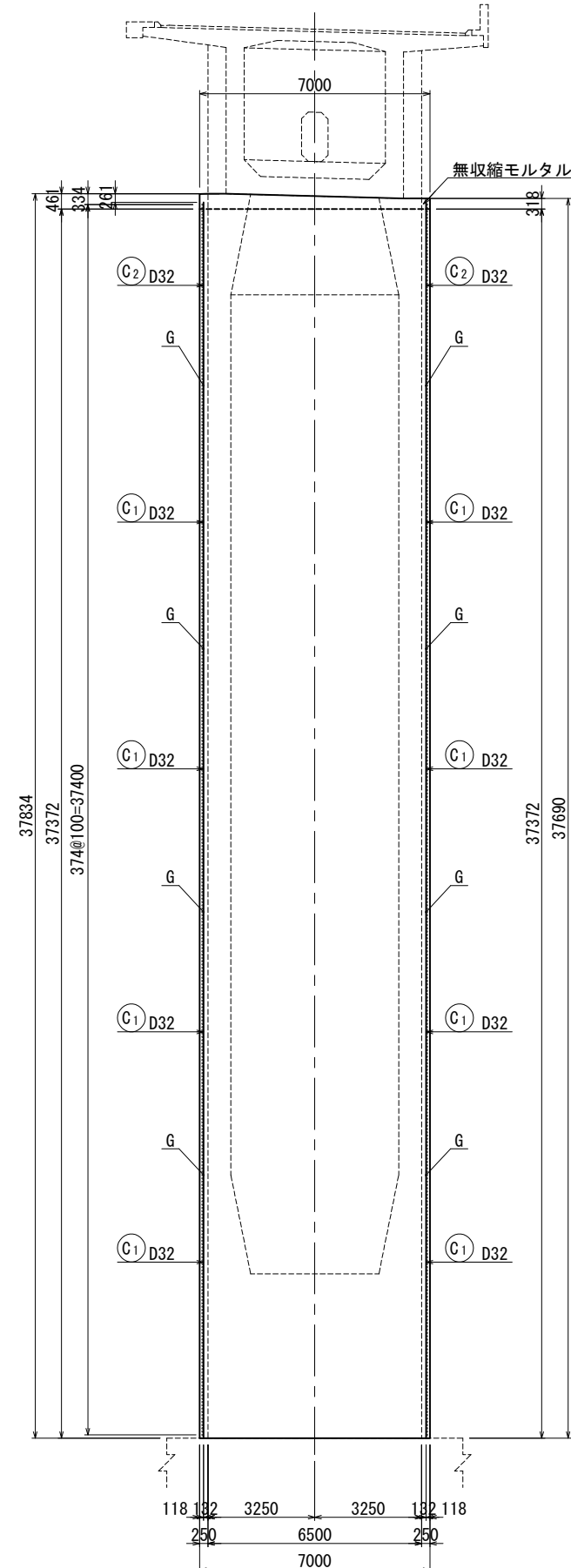
- 注記)
1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
 2. アンカー定着鉄筋の削孔にあたっては、既設構造物の鉄筋を切断しないように現在の配筋状態を事前に鉄筋探索等による調査を実施し、確認すること。
 3. 補強部分(既設面)は、WJによる表面処理を行うこと。

上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事		
図面の種類	入田橋(上り線) P 5 橋脚 R C 巻立て一般図	
縮 尺	図 示	図面番号
設計会社名	富士技研センター株式会社	
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所	

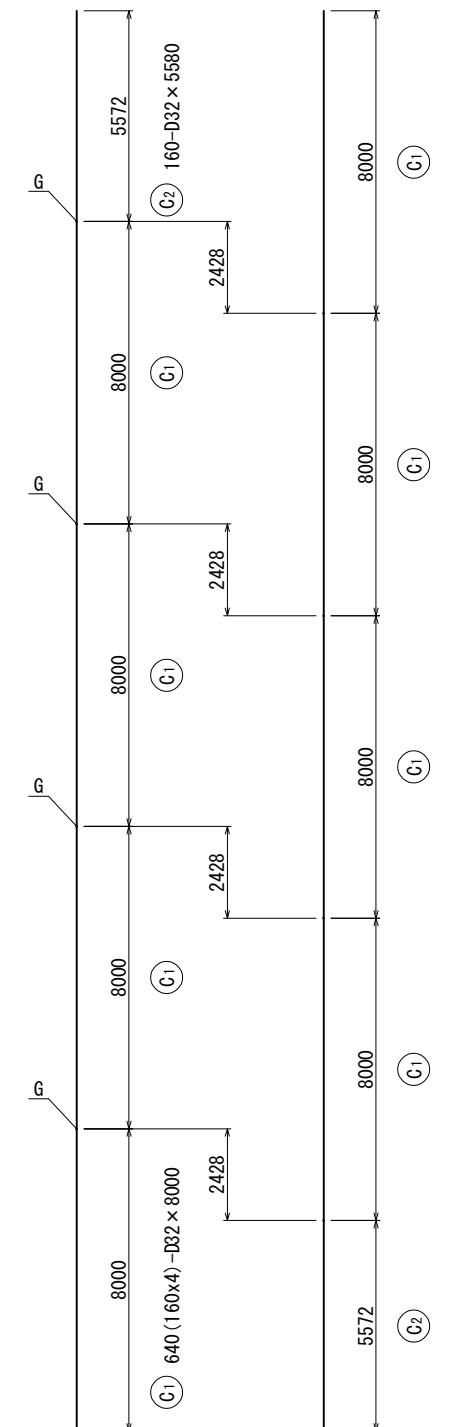
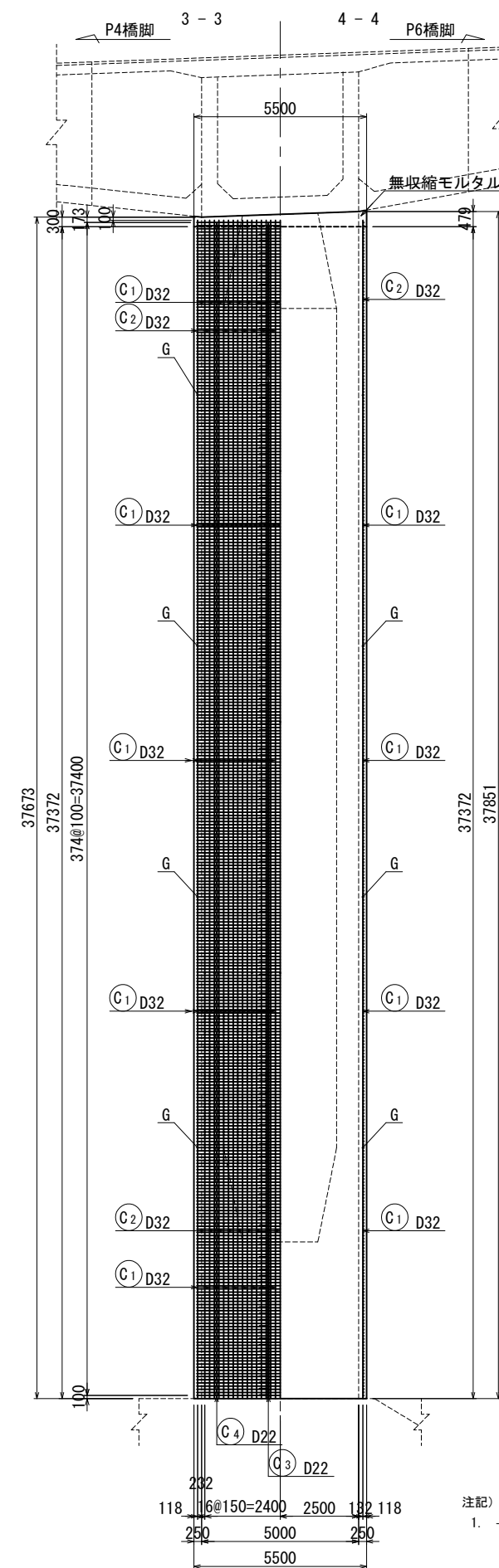
正面図
1 - 1



正面図
2 - 2



側面図

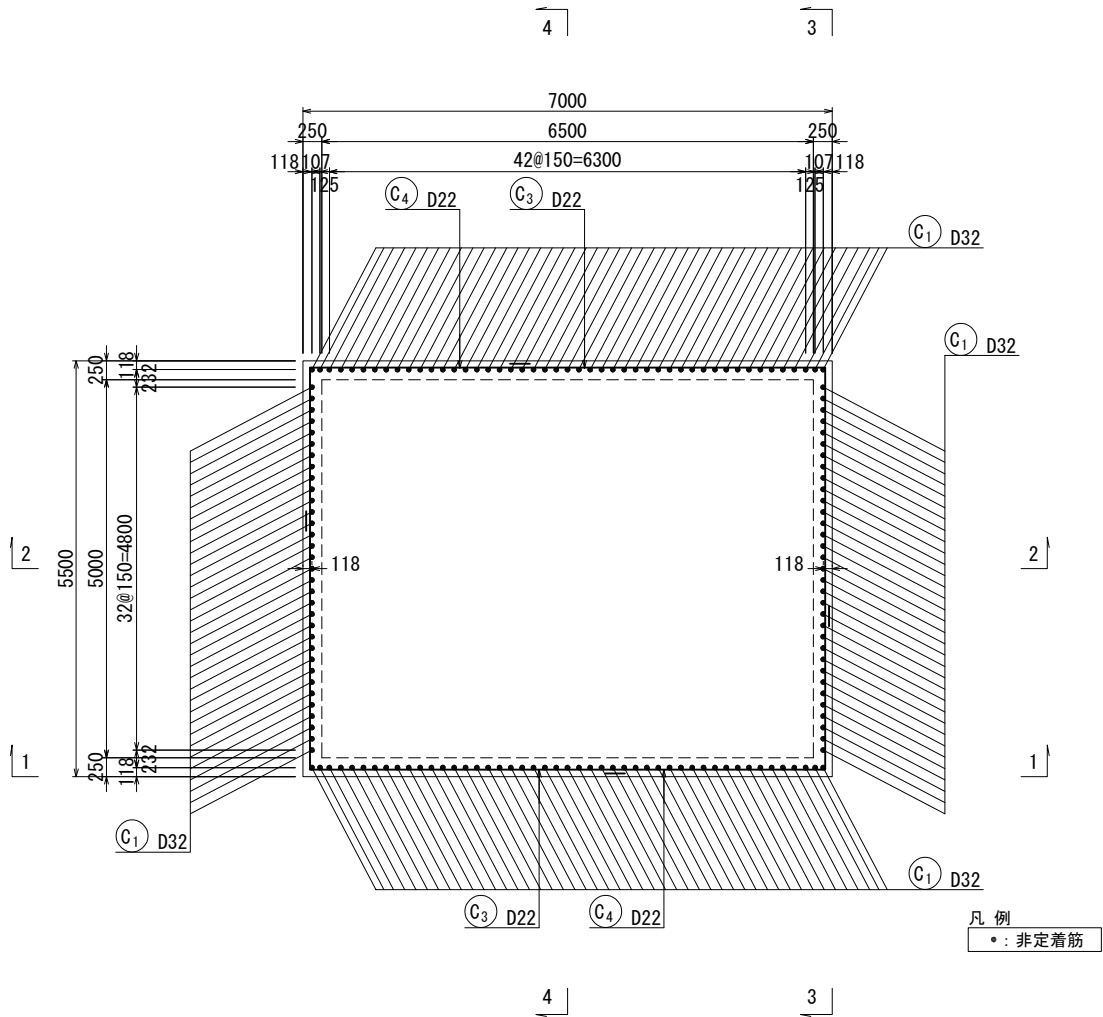


注記)
1.  は、ガス圧接継手位置を示す。

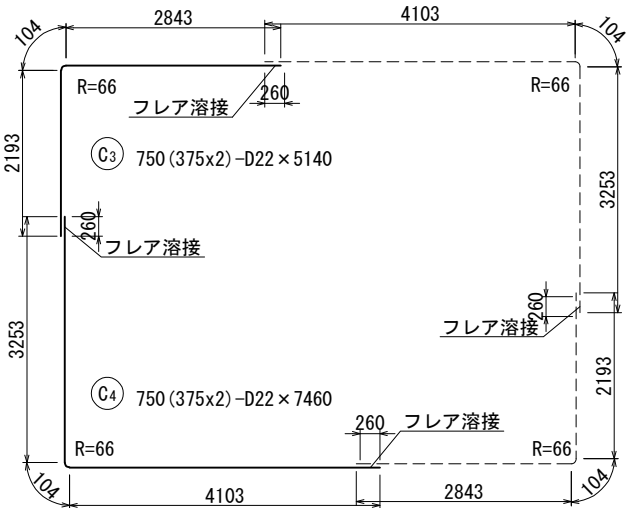
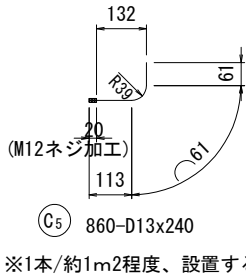
上 信 越 自 動 車 道			
豊 田 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	入田橋(上り線) P5橋脚 R C巻立て配筋図(その1)		
縮 尺	1:200	図面番号	
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 長 野 工 事 所		関東支社 事 務 所

断面図

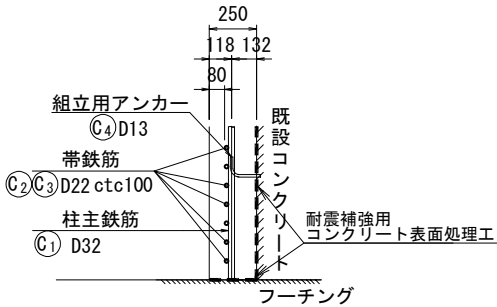
5 - 5



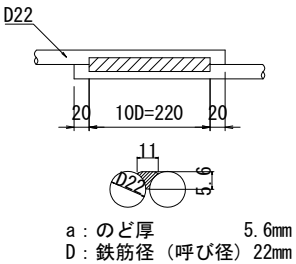
組立筋加工図(参考図) S=1:20



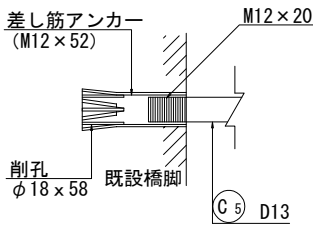
かぶり詳細図 S=1:40



フレア溶接詳細図



組立て筋アンカー詳細図(参考図) S=1:4



注記) 1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
2. アンカー定着鉄筋の削孔にあたっては、既設構造物の鉄筋を切断しないように現在の配筋状態を事前に鉄筋探索等による調査を実施し、確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJによる表面処理を行うこと。
4. $\bar{G}$ は、ガス圧継手位置を示す。

鉄筋表

記 号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘 要
C1	D32	8000	640	6.23	49.8	31,872	―― [640]
C2	D32	5580	160	6.23	34.8	5,568	――
C3	D22	5140	750	3.04	15.6	11,700	└ (750)
C4	D22	7460	750	3.04	22.7	17,025	└ (750)
フレア箇所 ガス圧接箇所							
D32		37,440 kg			[640]	SD345	
D22		28,725 kg	(1500)			SD345	
合計		66,165 kg	(1500)		[640]	SD345	
フレア溶接 (D22)							
						1500 箇所	

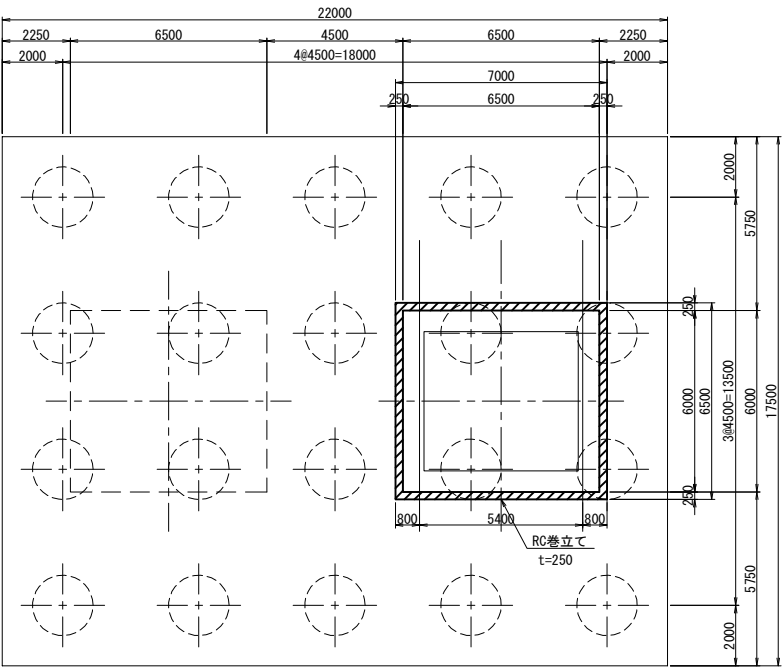
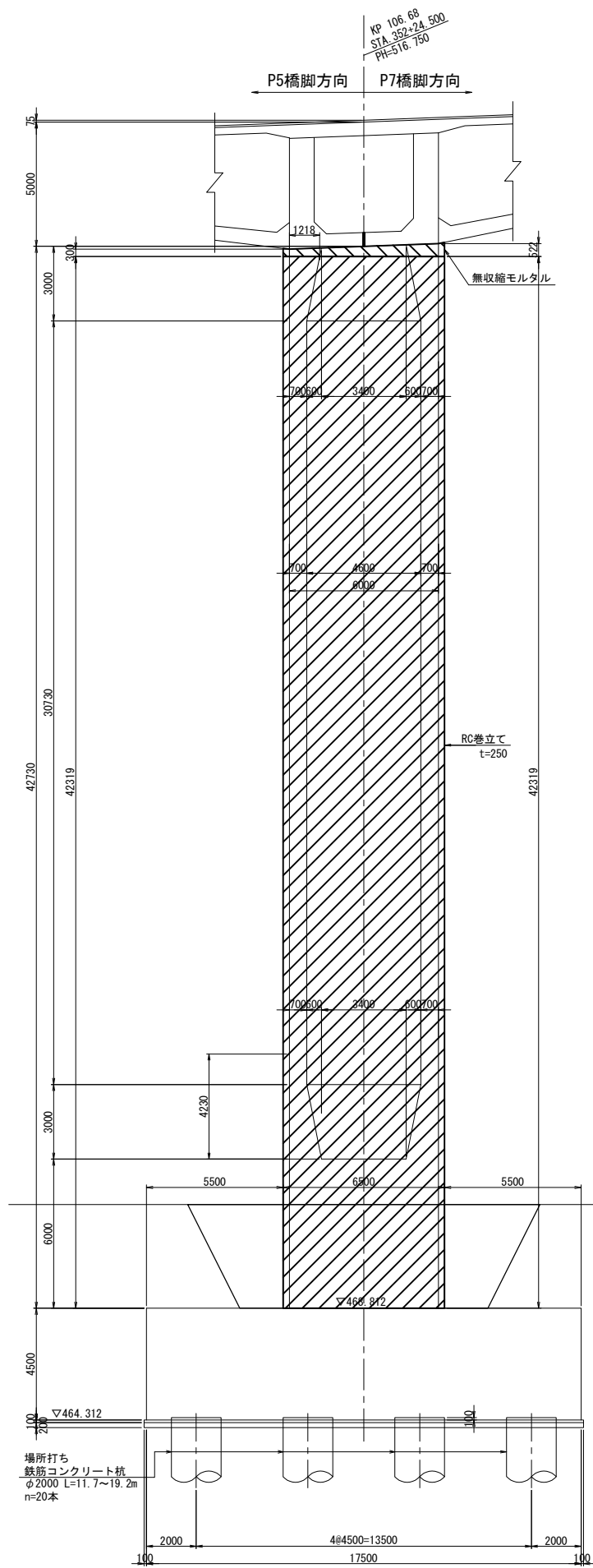
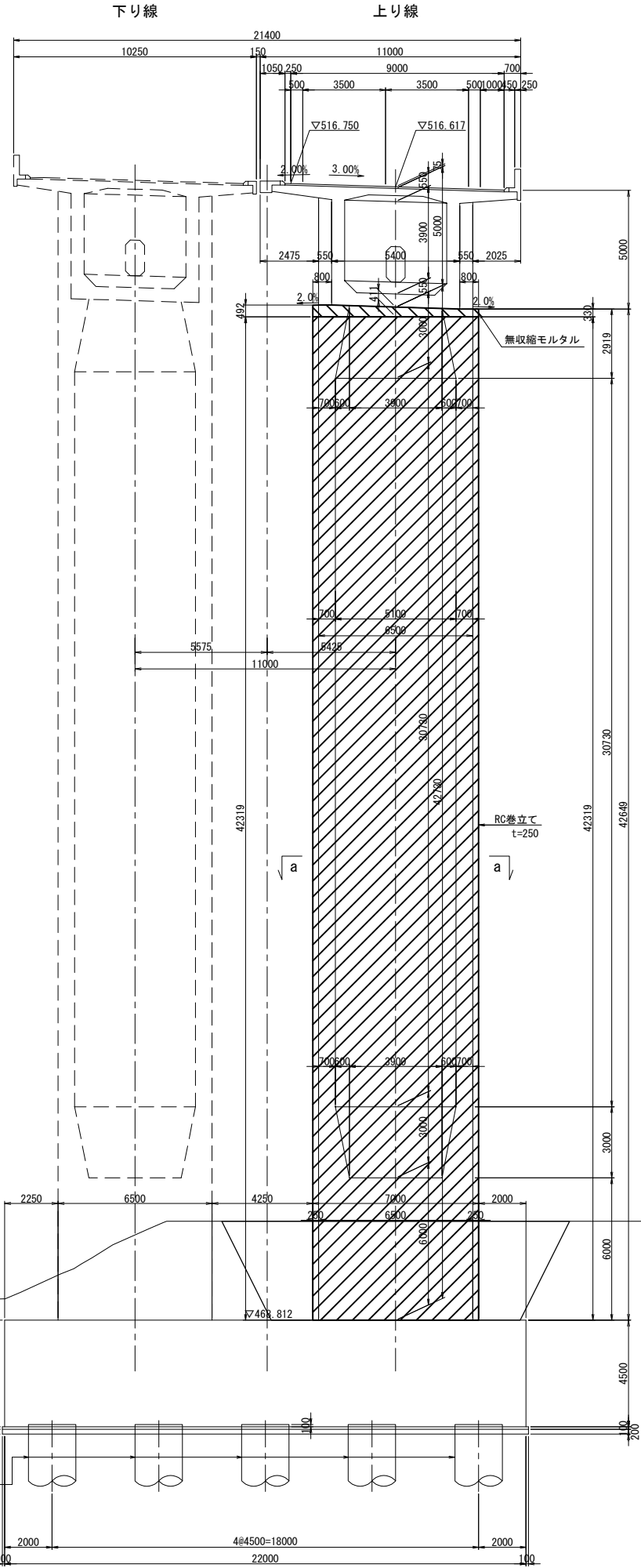
鉄 筋 加 工 寸 法 表

主 筋				頂版・底版スターラップ				側壁スターラップ			
$\theta \leq 90^\circ$				$\theta = 90^\circ$				$\theta = 90^\circ$			
R=3 ϕ				R=5.5 ϕ				R=3 ϕ			
径	R	a	ΔL	R	a	ΔL		径	R	a	ΔL
D13	39	61	17	71.5	56	3		D13	39	61	17
D16	48	75	21	88.0	69	4		D16	48	75	21
D19	57	89	25	104.5	82	5		D22	66	104	28
D22	66	104	28	121.0	95	5		$\theta = 45^\circ$			
D25	75	118	32	137.5	108	6		R=3 ϕ			
D29	87	137	37	159.5	125	7		R	a	ΔL	
D32	96	151	41	176.0	138	8		D13	39	92	96
D35	105	165	45	192.5	151	8		D16	48	113	119
D38	114	179	49	209.0	164	9		D22	66	155	164
D51	153	240	66	280.5	220	12					

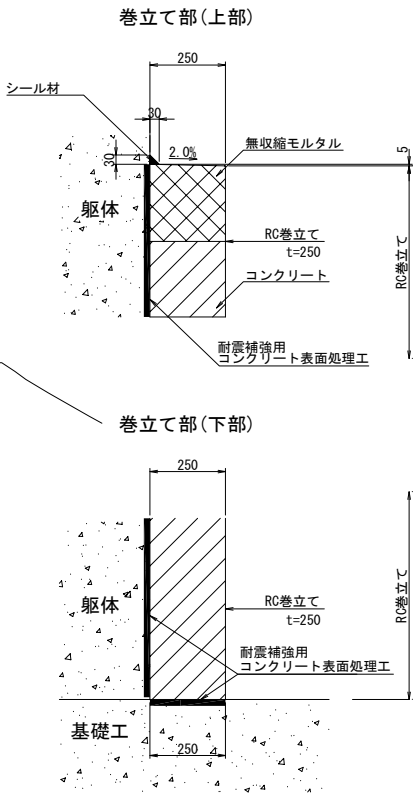
正面図

側面図

平面図



RC巻立て部詳細図 S=1:25



使用材料

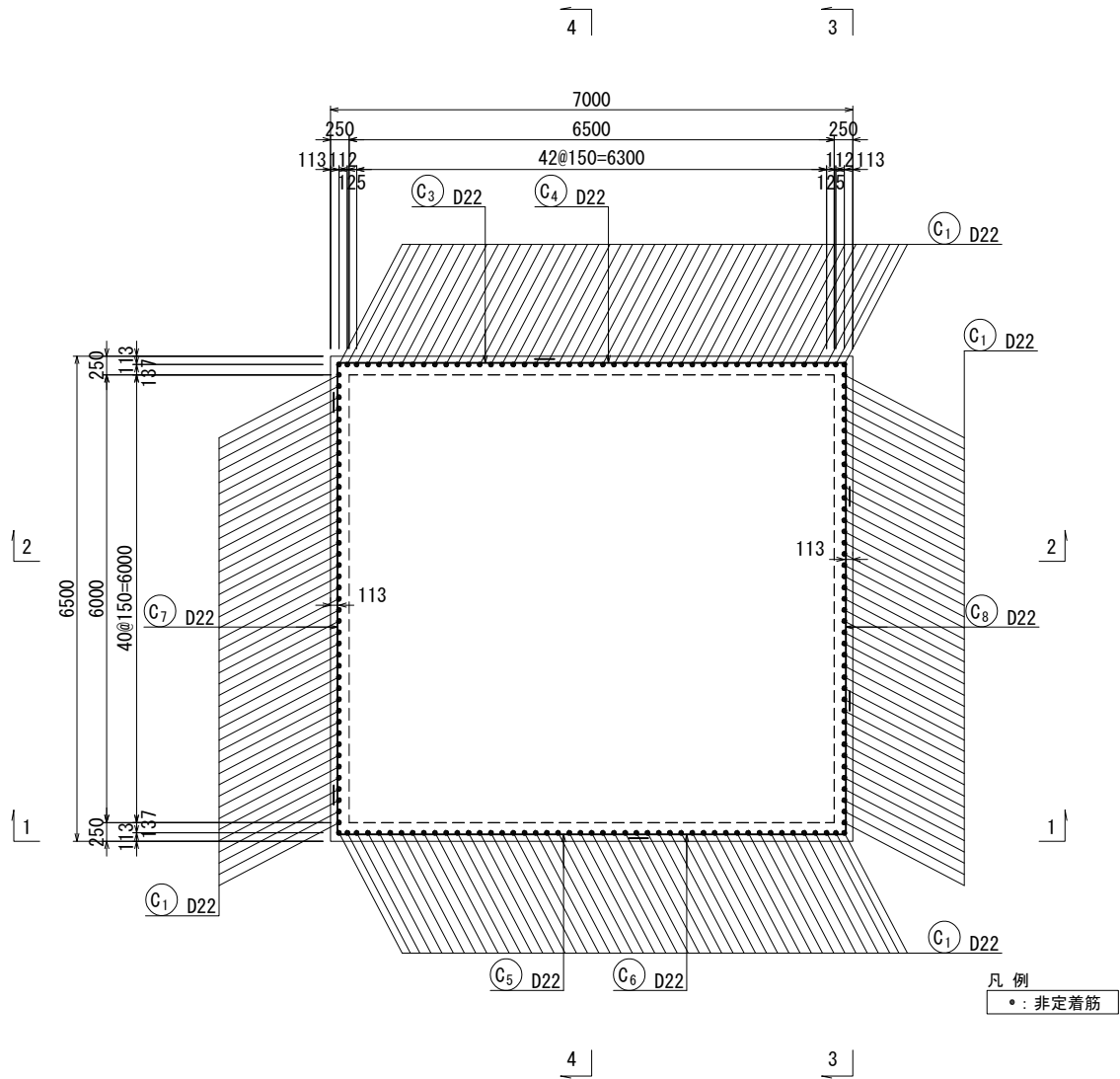
工 種	仕 様
既設部	コンクリート 240kg/cm ³ 鉄 筋 SD345
補強部	コンクリートA1-5 30 N/mm ² 鉄 筋 SD345

- 注記)
1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
 2. アンカー定着鉄筋の削孔にあたっては、
既設構造物の鉄筋を切断しないように
現在の配筋状態を事前に鉄筋探査等
による調査を実施し、確認すること。
 3. 補強部分(既設面)は、WJによる表面処理を行うこと

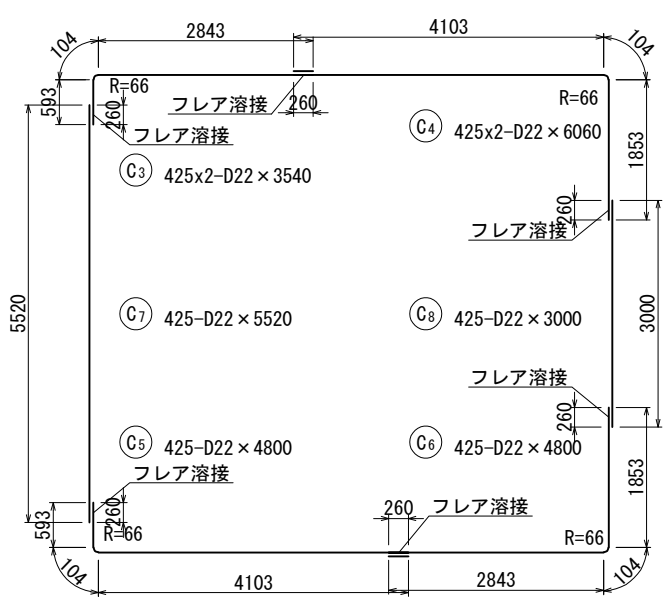
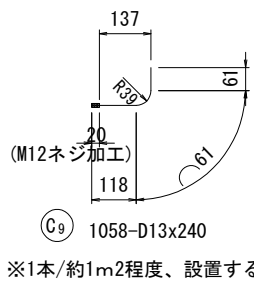
上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	入田橋(上り線) P 6 橋脚 R C 巻立て一般図		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

断面図

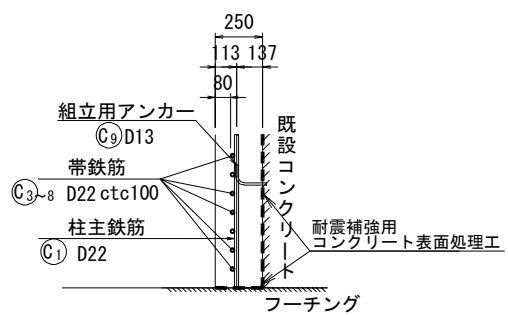
5 - 5



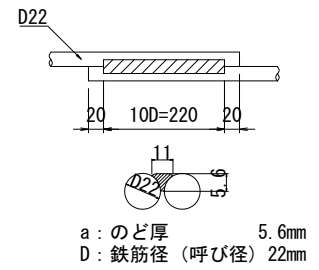
組立筋加工図(参考図) S=1:20



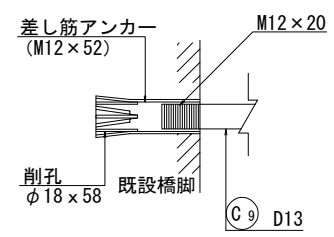
かぶり詳細図 S=1:40



フレア溶接詳細図



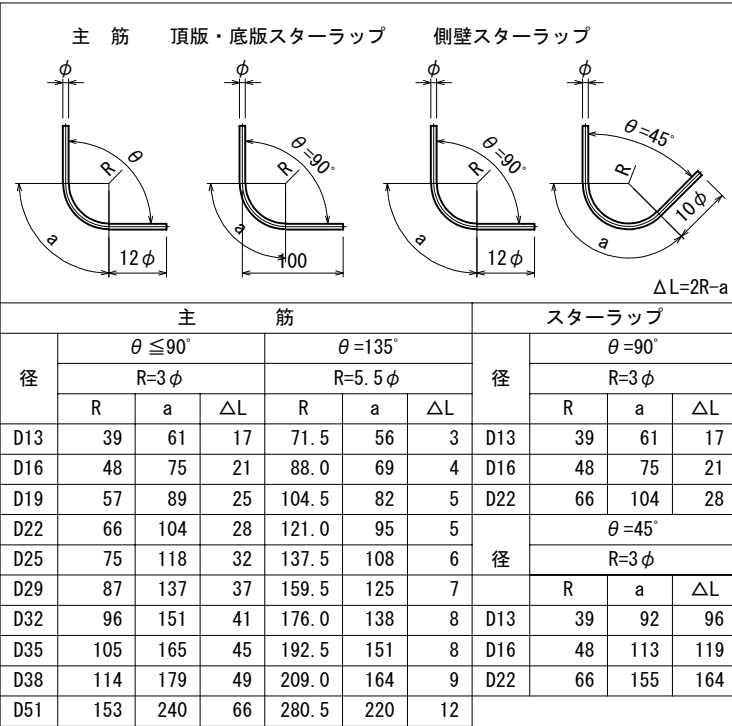
組立て筋アンカー詳細図(参考図) S=1:4



鉄筋表

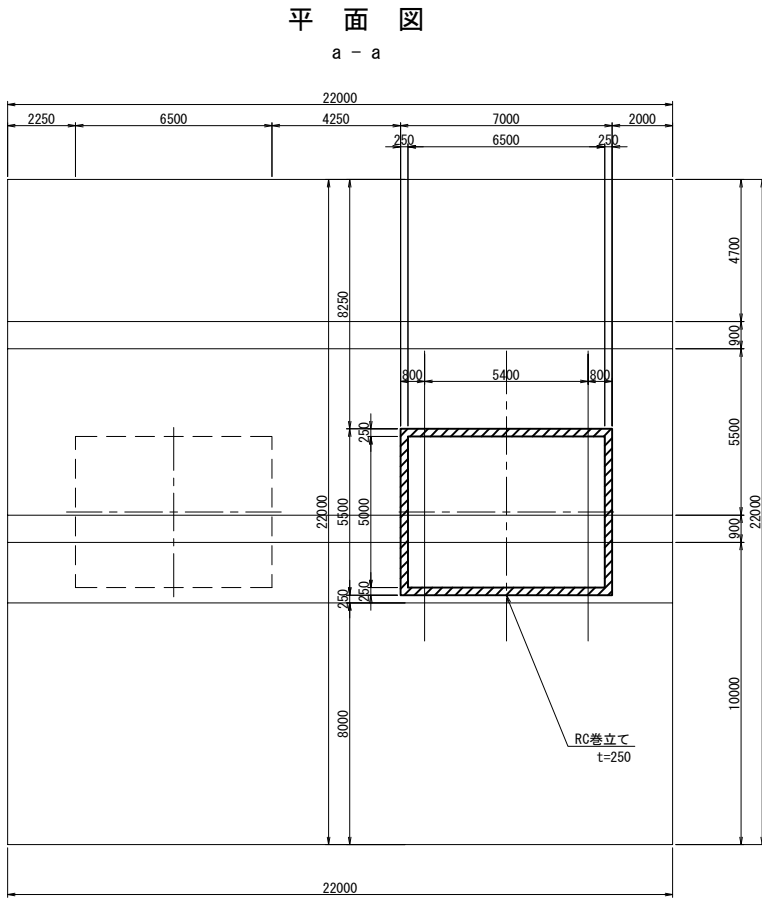
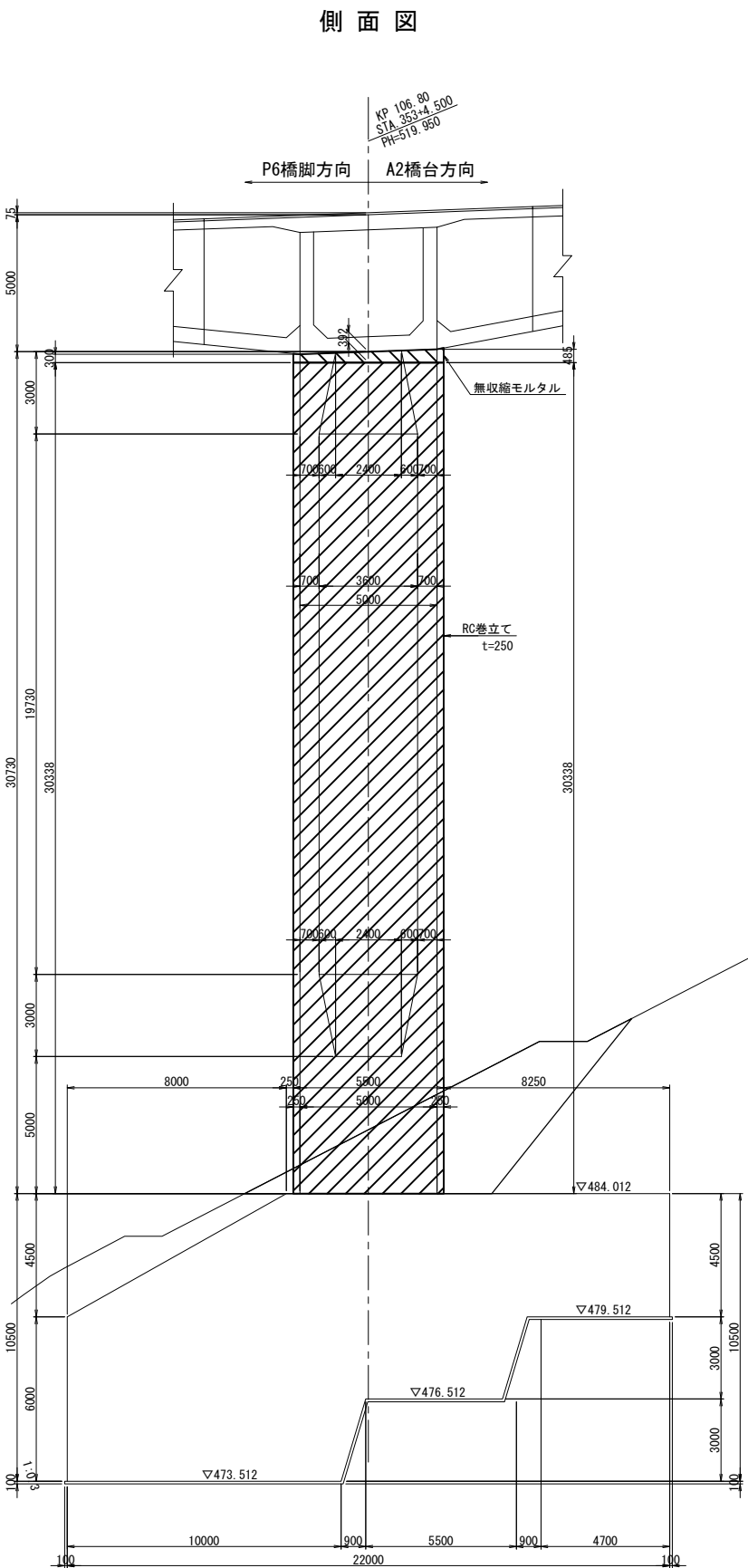
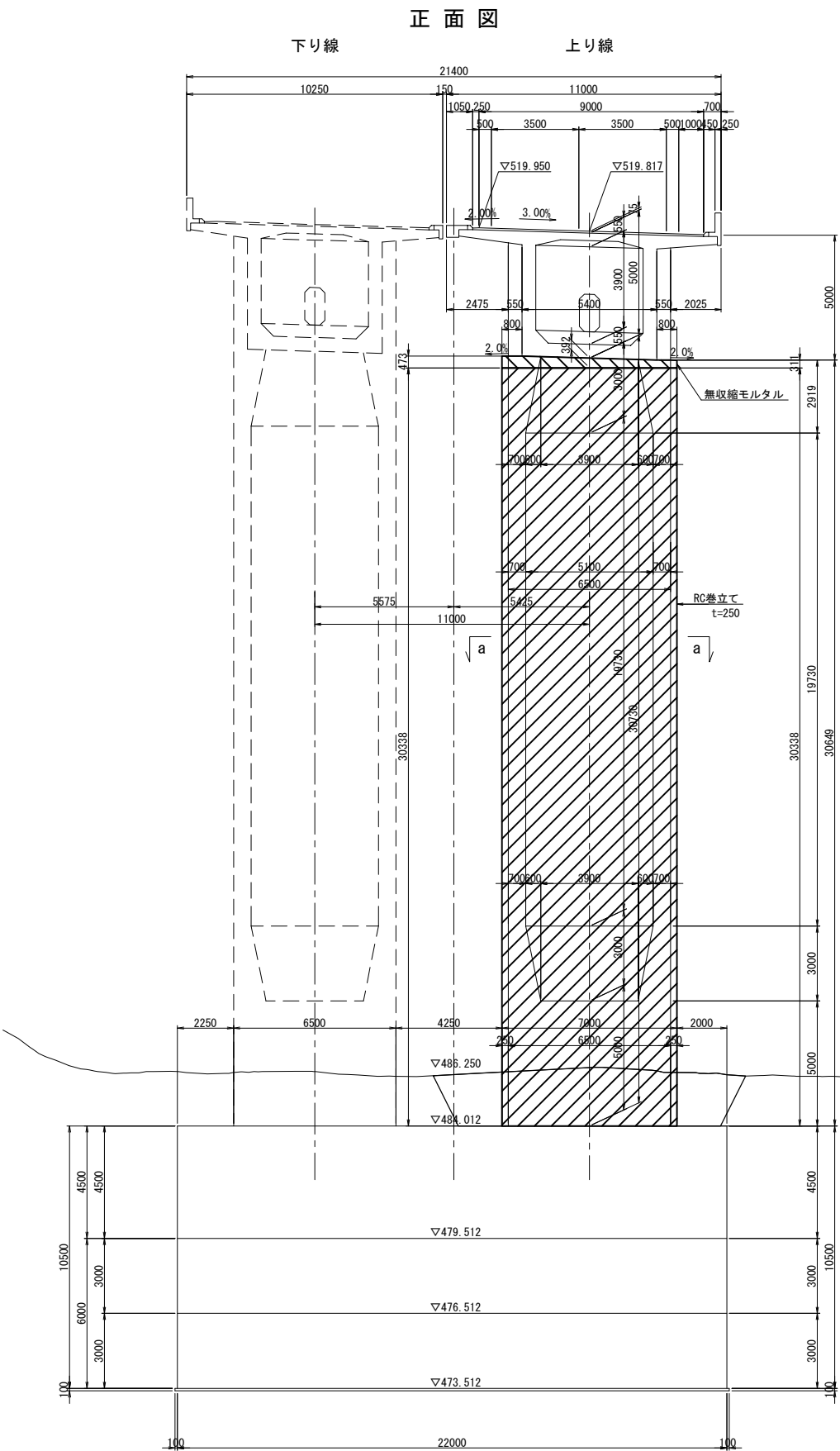
記 号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘 要
C1	D22	9000	704	3.04	27.4	19,290	—— [704]
C2	D22	6520	176	3.04	19.8	3,485	——
C3	D22	3540	425	3.04	10.8	4,590	└ (425)
C4	D22	6060	425	3.04	18.4	7,820	└ (425)
C5	D22	4800	425	3.04	14.6	6,205	└ (425)
C6	D22	4800	425	3.04	14.6	6,205	└ (425)
C7	D22	5520	425	3.04	16.8	7,140	—— (425)
C8	D22	3000	425	3.04	9.12	3,876	—— (425)
フレア箇所 ガス圧接箇所							
	D22	58,611 kg	(2550)	[704]	SD345		
	合計	58,611 kg	(2550)	[704]	SD345		
フレア溶接 (D22)							
2550 箇所							

鉄 筋 加 工 寸 法 表

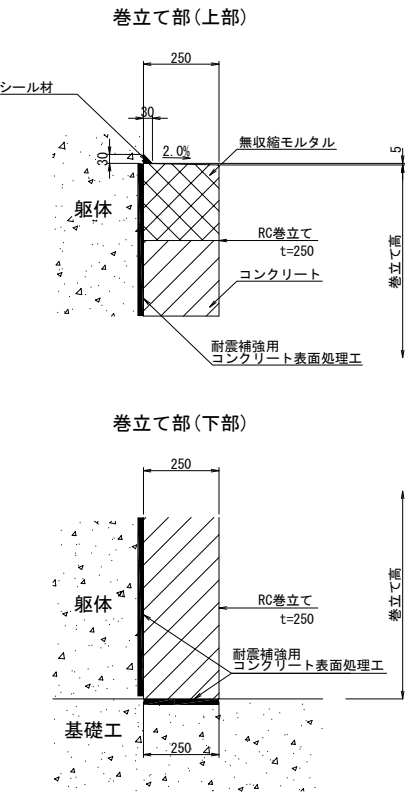


注記) 1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
2. アンカー一定着鉄筋の削孔にあたっては、既設構造物の鉄筋を切断しないように現在の配筋状態を事前に鉄筋検査等による調査を実施し、確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJによる表面処理を行うこと。
4. は、ガス圧接継手位置を示す。

上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	入田橋(上り線) P 6 橋脚 R C巻立て配筋図(その 2)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		



RC巻立て部詳細図 S=1:25

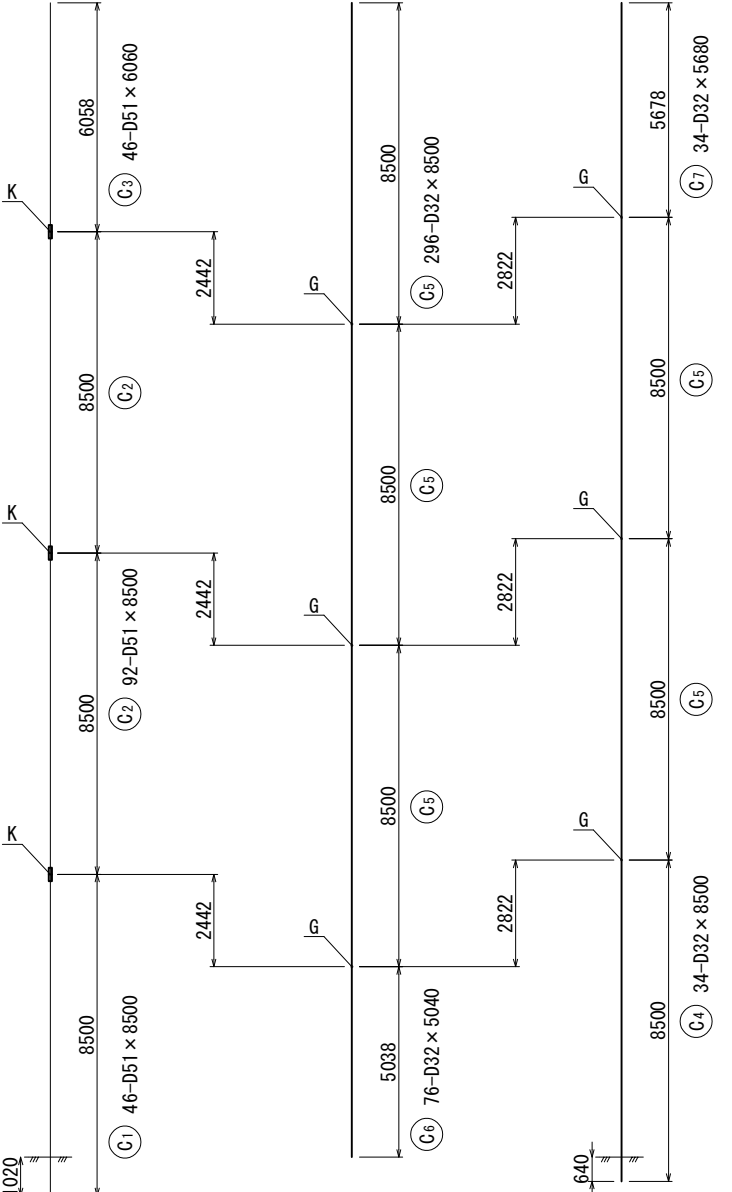
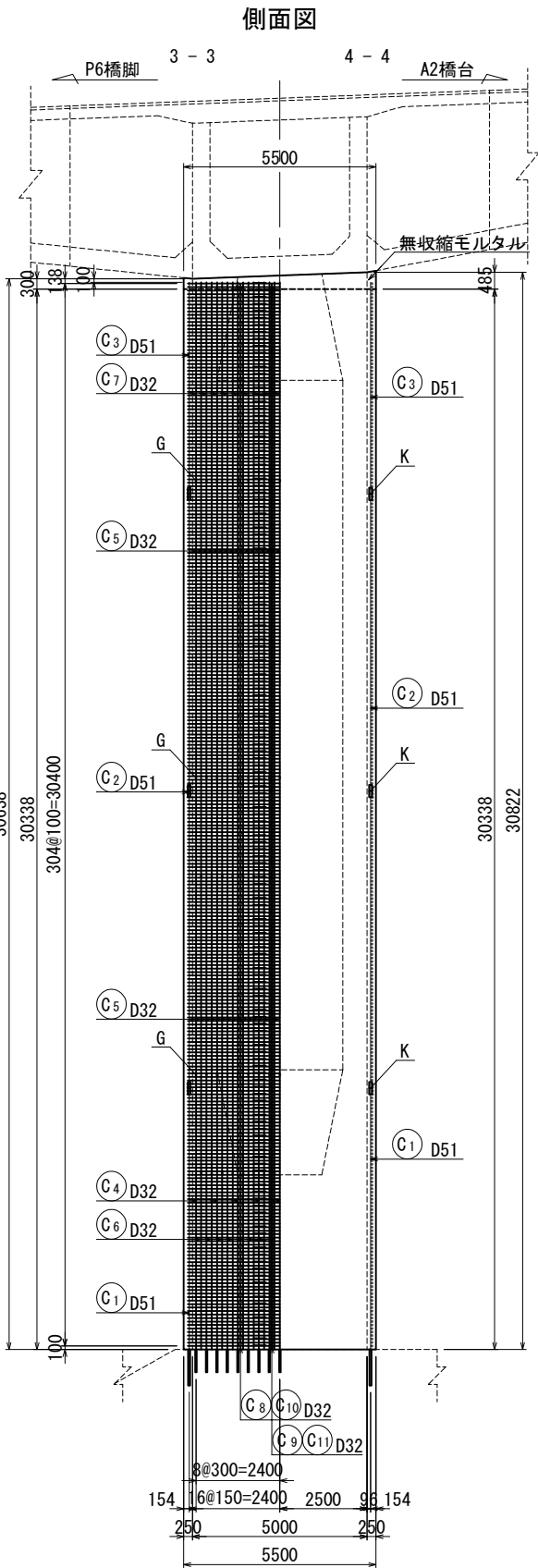
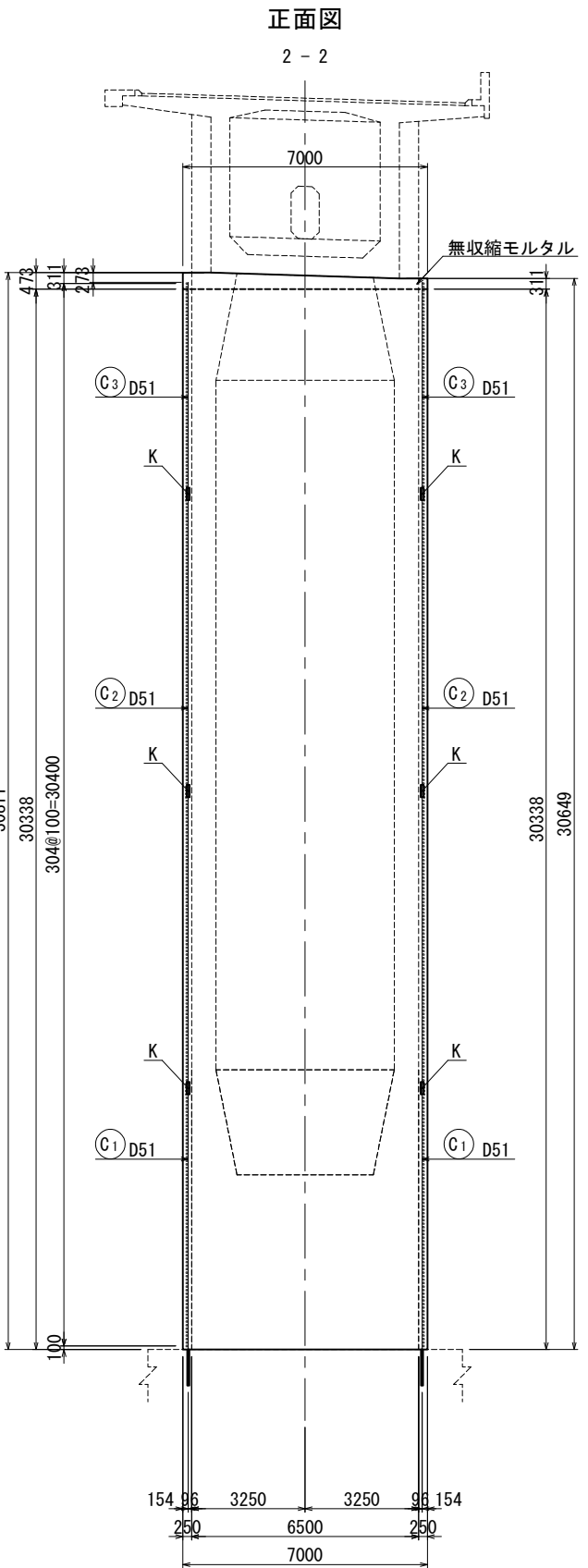
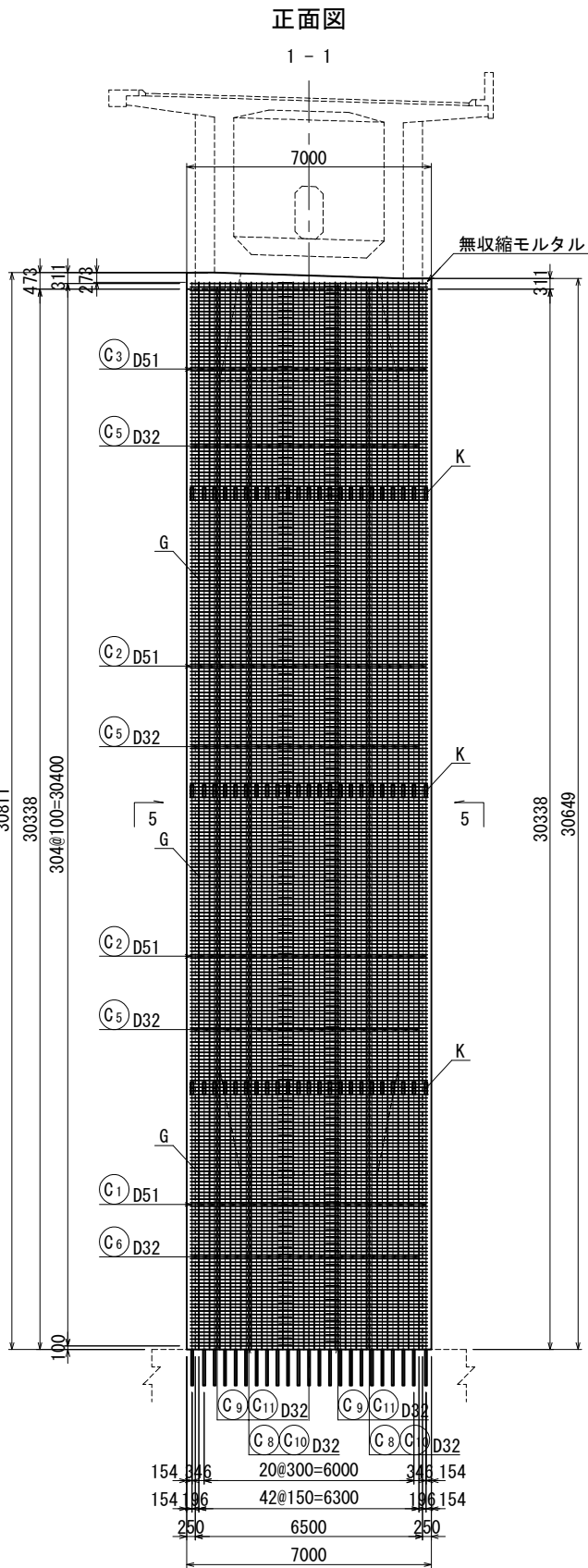


使用材料

工 種	仕 様
既設部	コンクリート 240kg/c㎡ 鉄 筋 SD345
補強部	コンクリートA1-5 30 N/mm ² 鉄 筋 SD345

- 注記)
- 施工前に既設形状寸法を確認すること。
 - アンカー定着鉄筋の削孔にあたっては、既設構造物の鉄筋を切断しないように現在の配筋状態を事前に鉄筋探索等による調査を実施し、確認すること。
 - 補強部分(既設面)は、WJによる表面処理を行うこと。

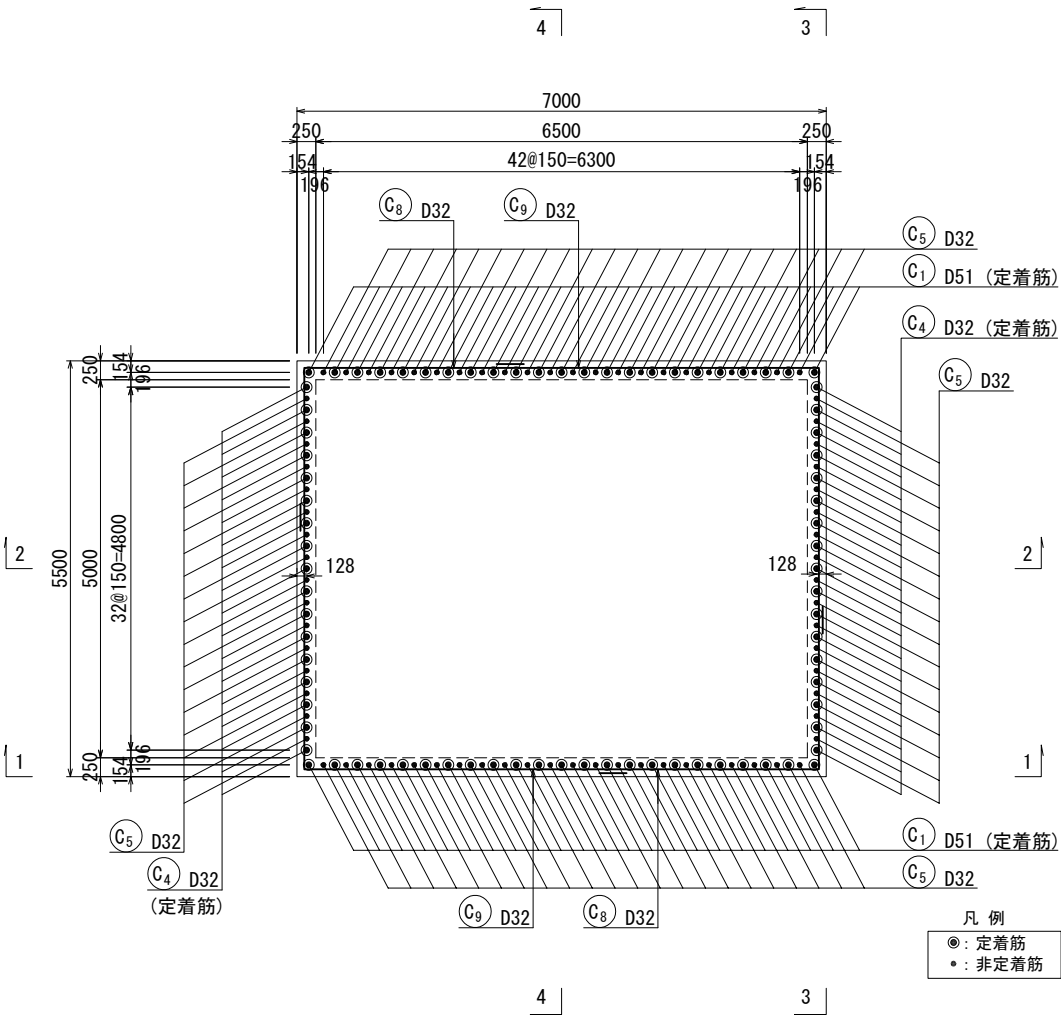
上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	入田橋(上り線) P7橋脚 RC巻立て一般図		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		



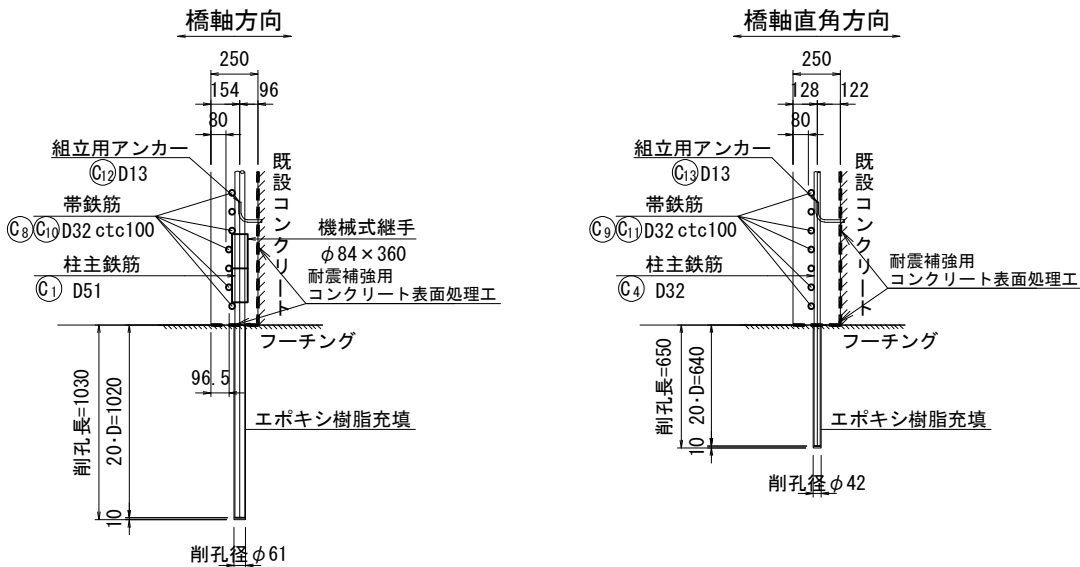
上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入田橋(上り線) P7橋脚 RC巻立て配筋図(その1)		
縮尺	1:200	図面番号	
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

断面図

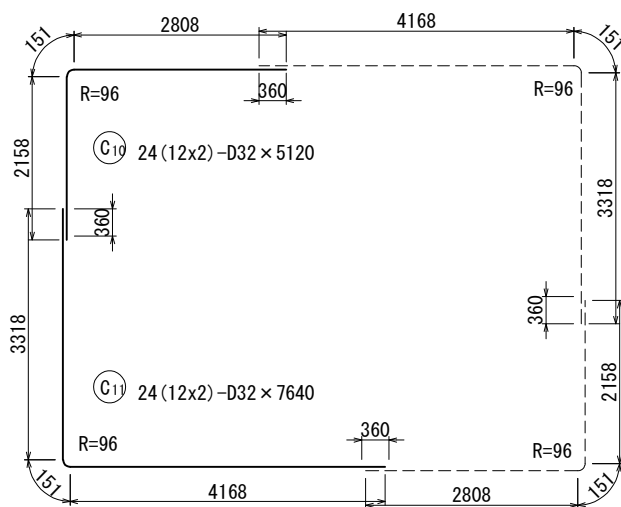
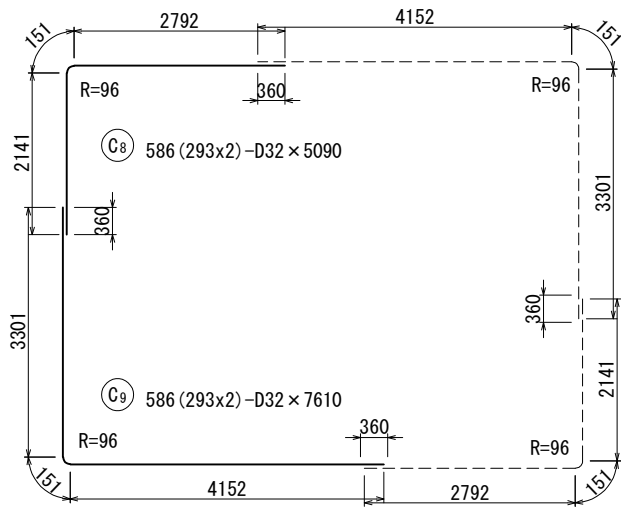
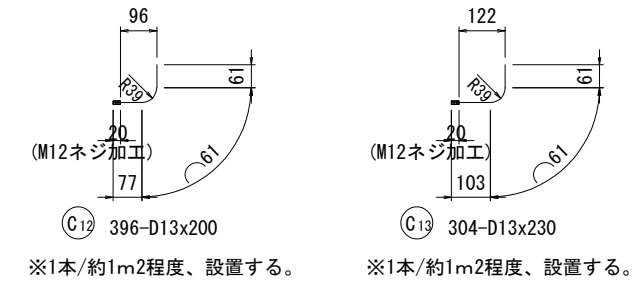
5 - 5



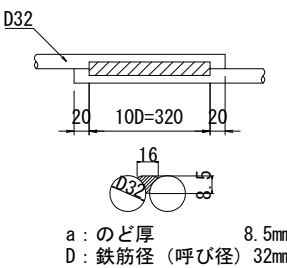
かぶり詳細図 S=1:40



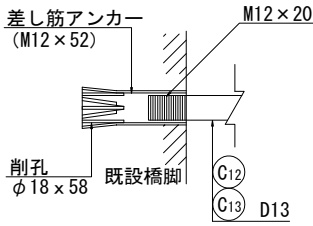
組立筋加工図(参考図) S=1:20



フレア溶接詳細図



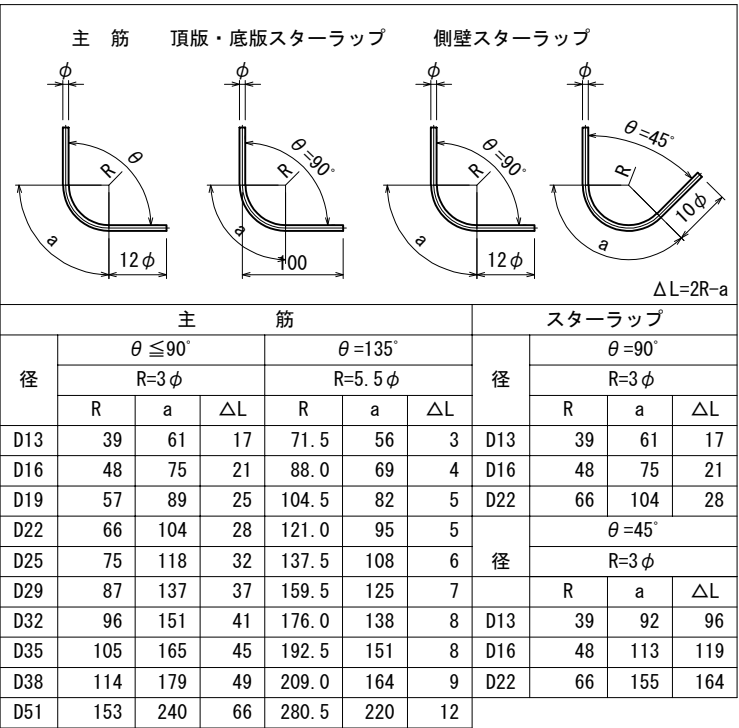
組立て筋アンカー詳細図(参考図) S=1:4



鉄筋表

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
C1	D51	8500	46	15.9	135.0	6,210	<46>
C2	D51	8500	92	15.9	135.0	12,434	<92>
C3	D51	6060	46	15.9	96.4	4,434	――
C4	D32	8500	34	6.23	53.0	1,802	―― [34]
C5	D32	8500	296	6.23	53.0	15,675	―― [296]
C6	D32	5040	76	6.23	31.4	2,386	――
C7	D32	5680	34	6.23	35.4	1,203	――
C8	D32	5090	586	6.23	31.7	18,576	―― (586)
C9	D32	7610	586	6.23	47.4	27,776	―― (586)
C10	D32	5120	24	6.23	31.9	766	―― (24)
C11	D32	7640	24	6.23	47.6	1,142	―― (24)
鉄筋 T フレア箇所 ガス圧接箇所 機械式継手 鉄筋 T 1							
D51	16,868 kg	[330]	<138>	6,210 kg	SD345		
D32	67,524 kg	(1220)		1,802 kg	SD345		
合計	84,392 kg	(1220)	[330]	<138>	8,012 kg	SD345	
フレア溶接 (D32) 1220 箇所							
ガス圧接 (D32) 330 箇所							
機械式継手 (D51) 138 箇所							

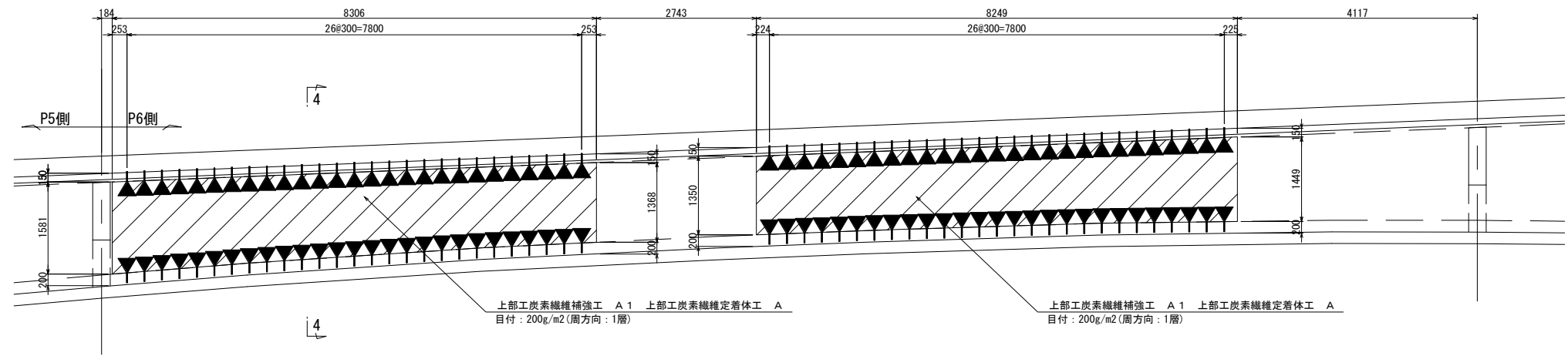
鉄筋加工寸法表



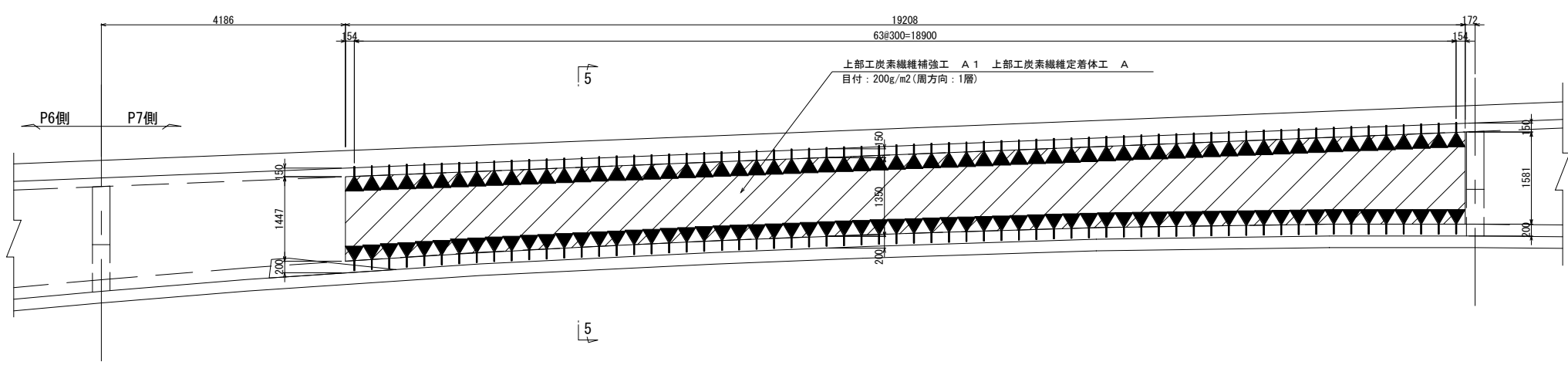
- 注記) 1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
2. アンカー定着鉄筋の削孔にあたっては、既設構造物の鉄筋を切断しないように現在の配筋状態を事前に鉄筋探索等による調査を実施し、確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJによる表面処理を行うこと。
4. は、ガス圧接継手位置を示す。
5. は、機械式継手位置を示す。

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入田橋(上り線) P7橋脚 RC巻立て補強配筋図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

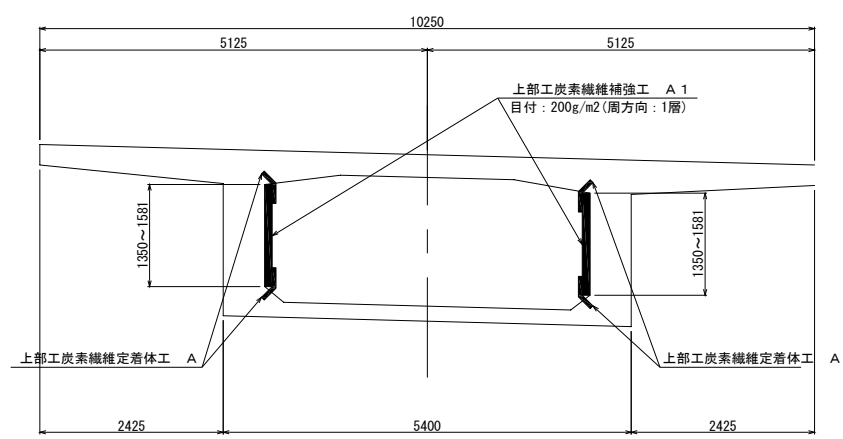
側面図



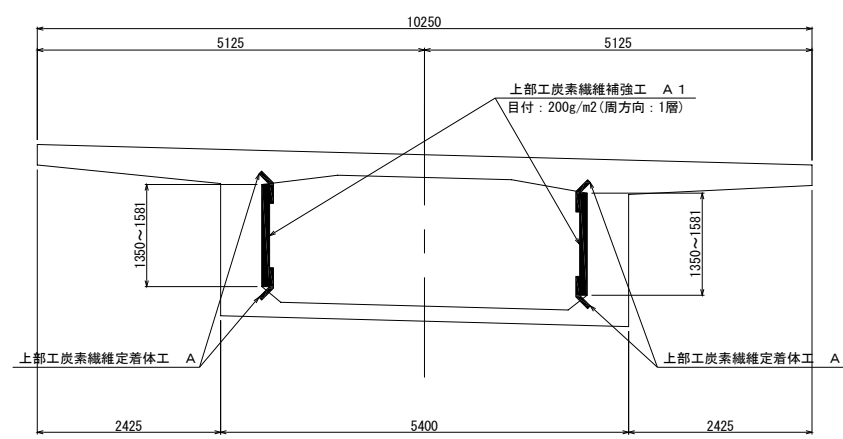
側面図



断面図
4 - 4

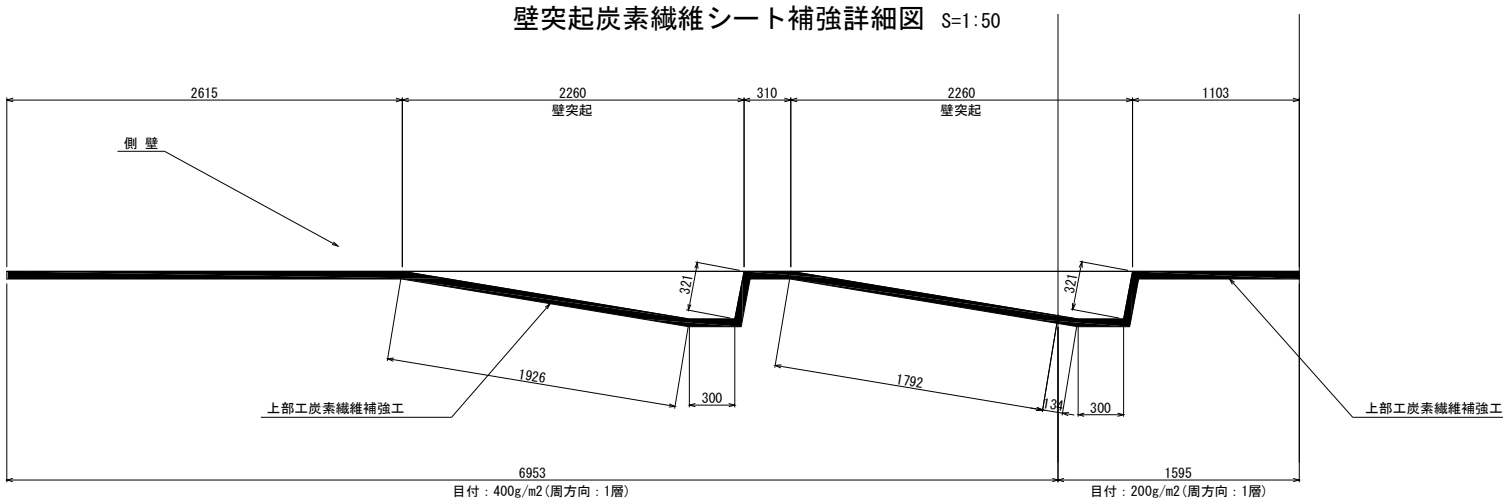


断面図
5 - 5

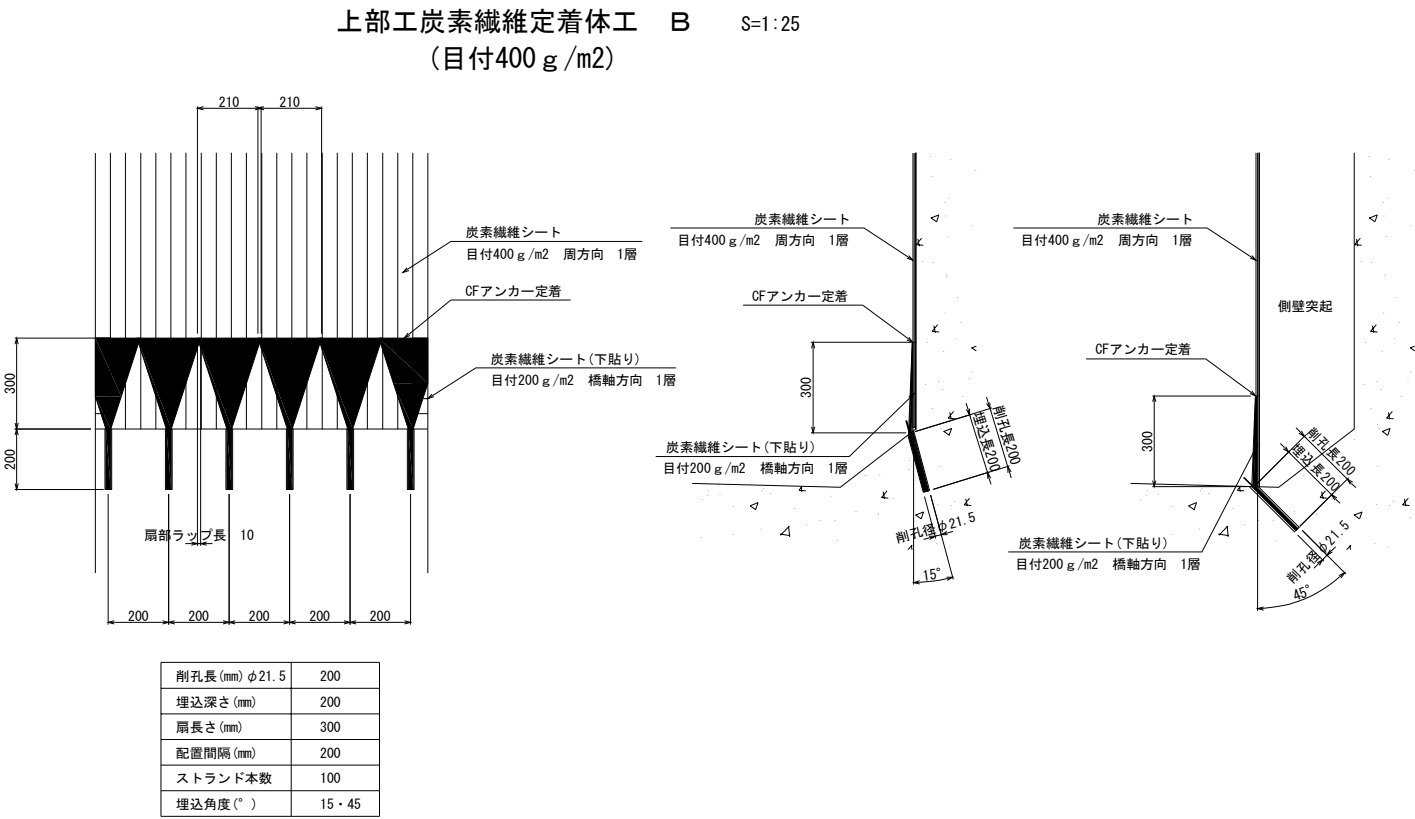
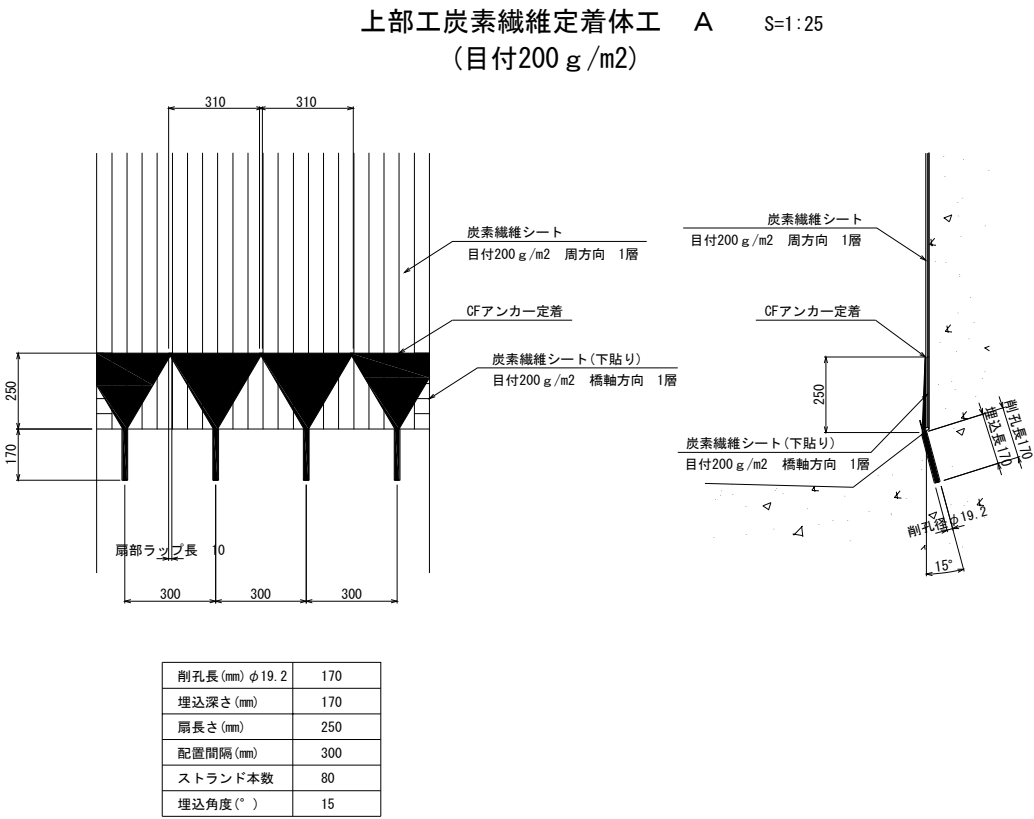
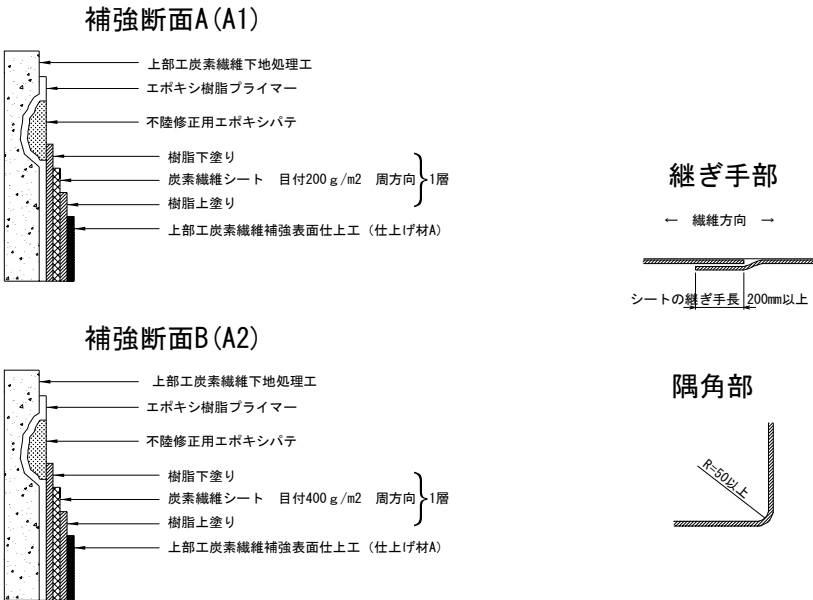


- 注記)
1. 現場原寸確認の上、詳細決定のこと。
 2. 不陸修正材（エポキシパテ）の使用量は、下地状況確認後決定する。
 3. 上部工炭素繊維定着体は既設鋼材を避けて設置すること。
 4. シートは主桁上端まで貼付ること。

上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	入田橋(上り線) 上部工炭素繊維補強工 上部工炭素繊維定着体工(その2)		
	縮 尺	1:100	図面番号
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		



炭素繊維シート施工断面図



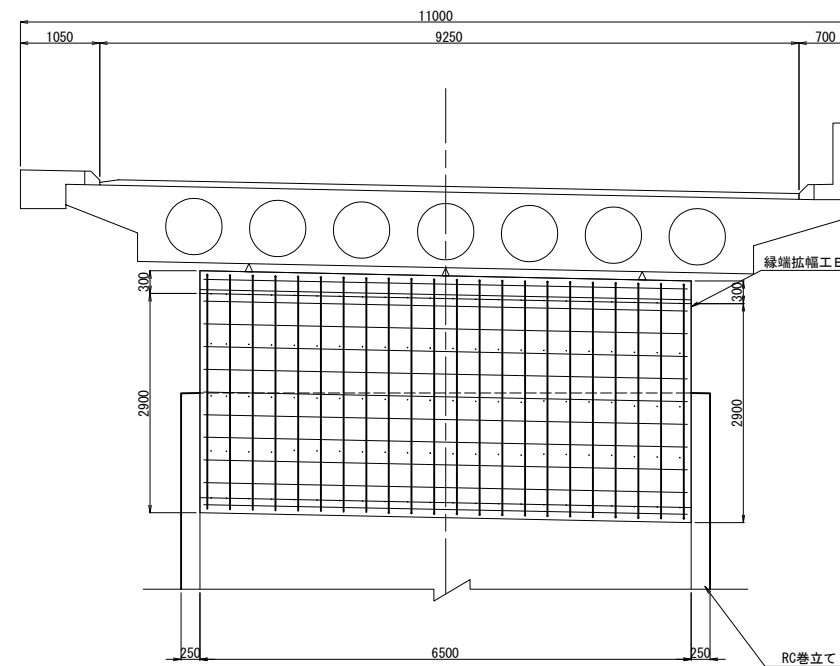
繊維シートの規格

規格	炭素				
シートの厚さ (mm)	0.111	0.167	0.222	0.250	0.333
目付量 (g/m2)	200	300	400	450	600
引張強度 (N/mm2)	3400	3400	3400	3400	3400
引張弾性率 (kN/mm2)	245	245	245	245	245

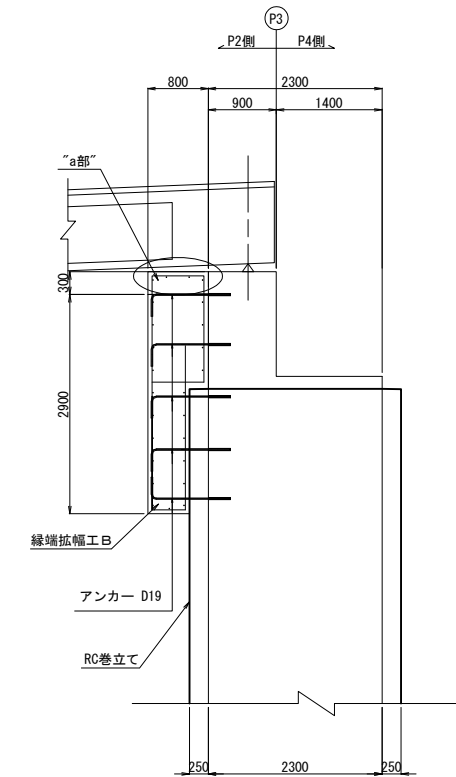
- 注記)
- 現場原寸確認の上、詳細決定のこと。
 - 不陸修正材 (エポキシパテ) の使用量は、下地状況確認後決定する。
 - 上部工炭素繊維定着体は既設鋼材を避けて設置すること。
 - シートは主桁上端まで貼付けること。
 - 固定アンカーの取付は、次の手順で行う。
①固定アンカーを埋め込む孔に先込充填樹脂を挿入する。
②固定アンカーに含浸接着樹脂を含浸させる。
③コンクリートに設けた孔に固定アンカーを挿入する。
④孔に挿入した固定アンカーの他端を含浸接着樹脂を塗った炭素繊維シート上に扇状に接着する。

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入田橋(上り線) 上部工炭素繊維補強工・ 上部工炭素繊維定着体工(その3)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

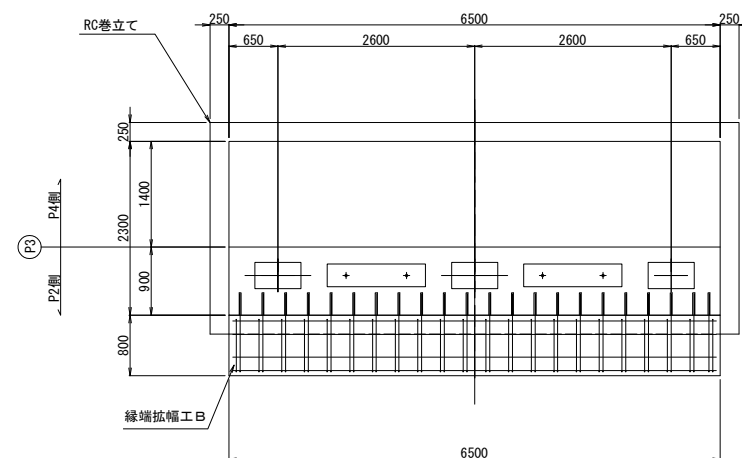
正面図



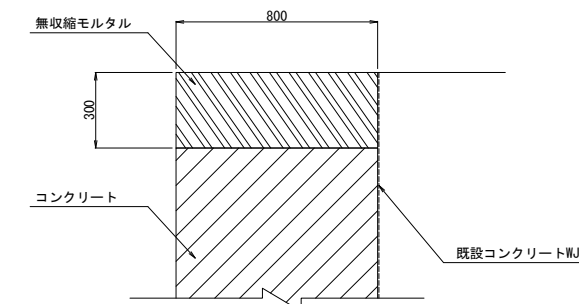
側面図



平面図

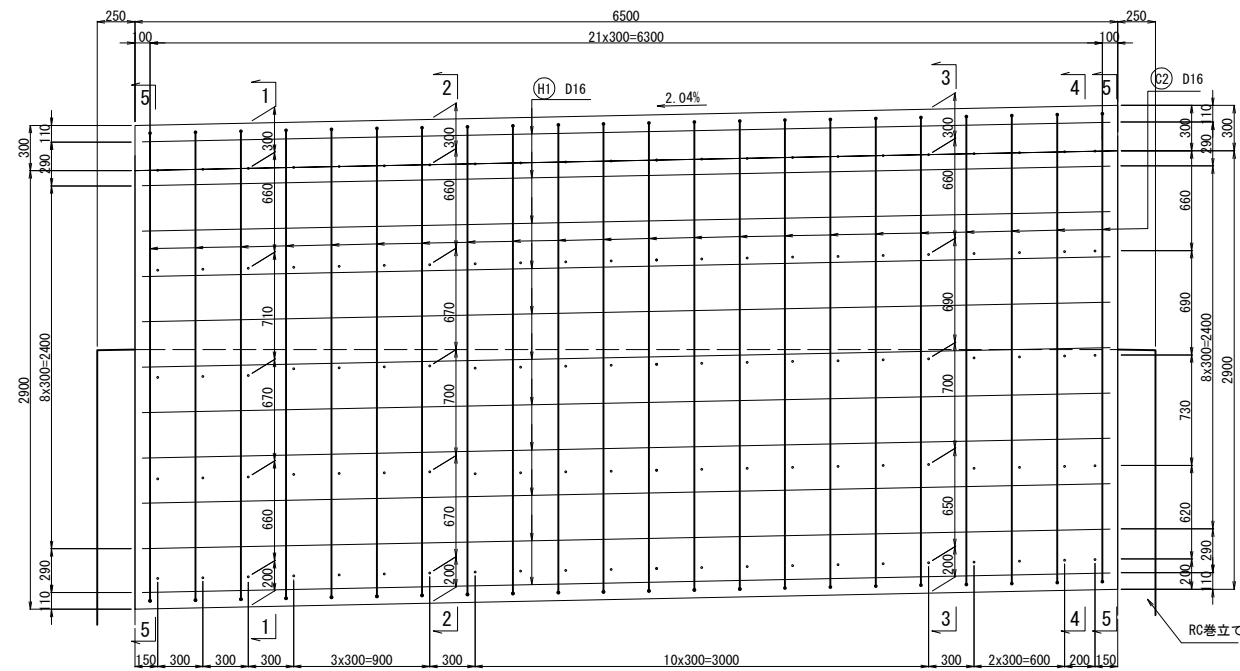


a部詳細図 S=1:30

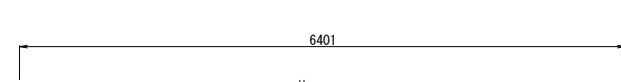
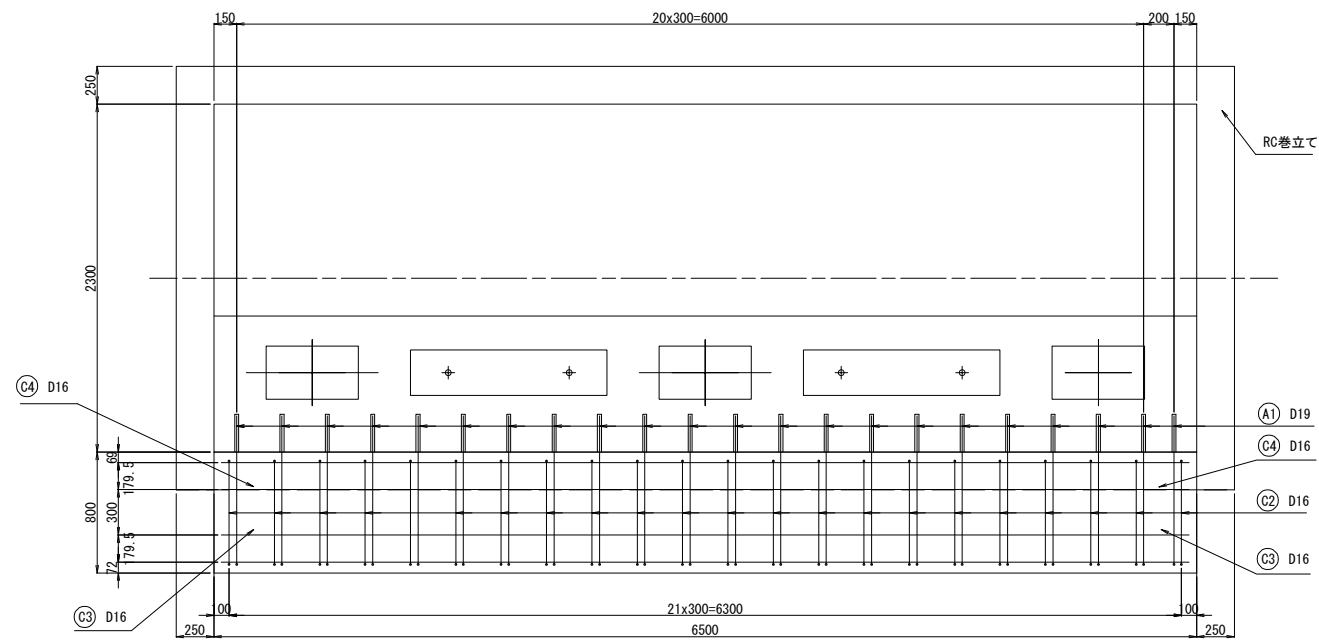


上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事	
図面の種類	入田橋(上り線) P3橋脚(P2橋) 線端抵牾幅工詳細図(その1)
縮 尺	図 面 番 号
設計会社名	富士技研センター株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所

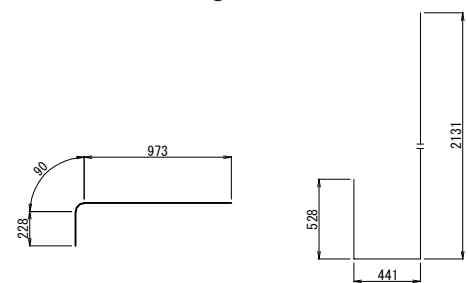
正面図



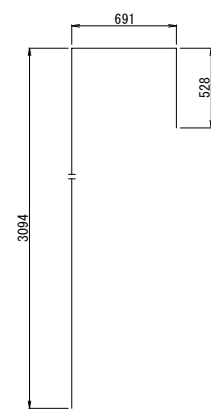
平面図



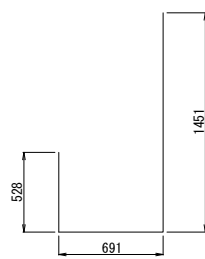
(H) 25 - D16 x 6410



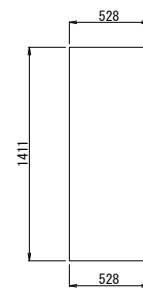
(C) 22 - D16 x 3060



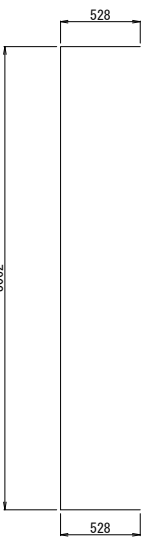
(C2)-1 22 - D16 x 4280



(C2)-2 22 - D16 x 2630

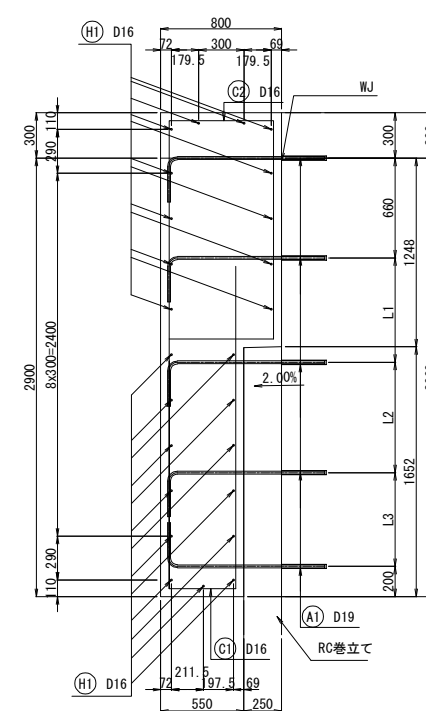


(C3) 2 - D16 x 2430



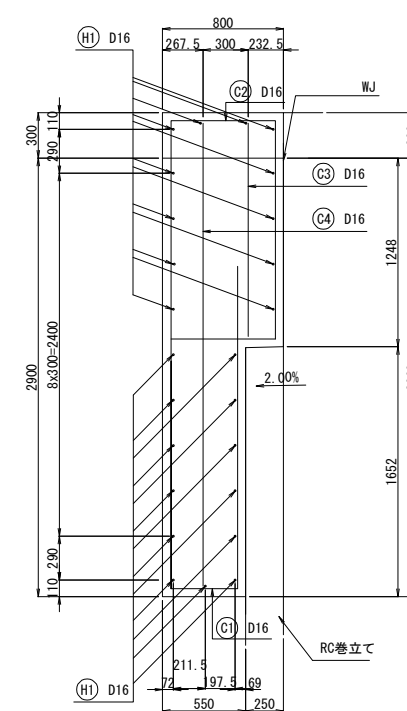
(C4) 2 - D16 x 4080

1 - 1 ~ 4 - 4

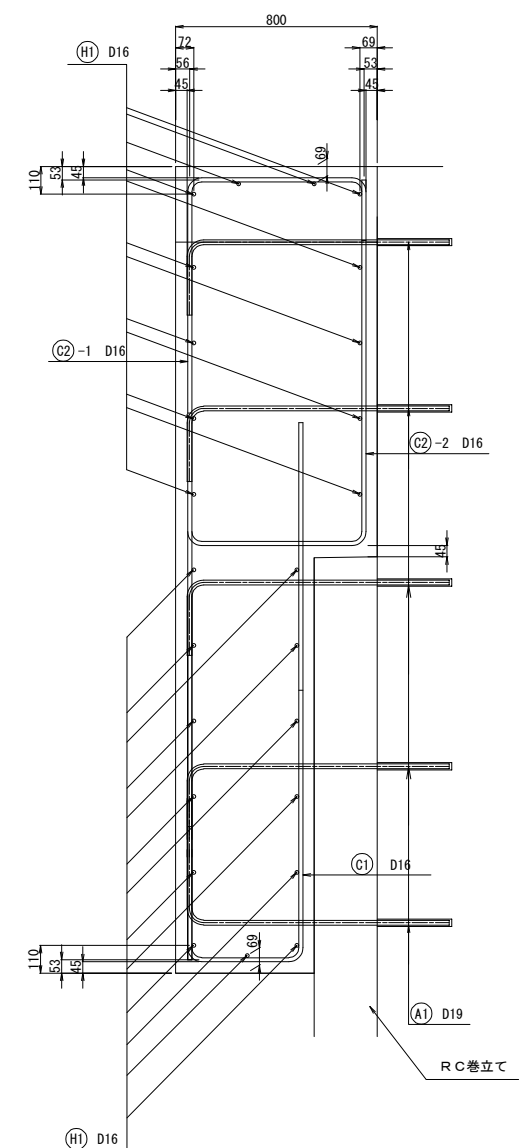


	L1	L2	L3
1 - 1	710	670	660
2 - 2	670	700	670
3 - 3	690	700	650
4 - 4	690	730	620

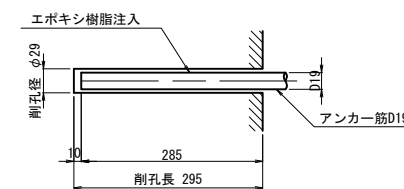
5 - 5



かぶり詳細図 S=1:30

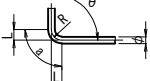
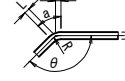


アンカー削孔詳細 S=1:10



縁端拡幅工鉄筋質量表

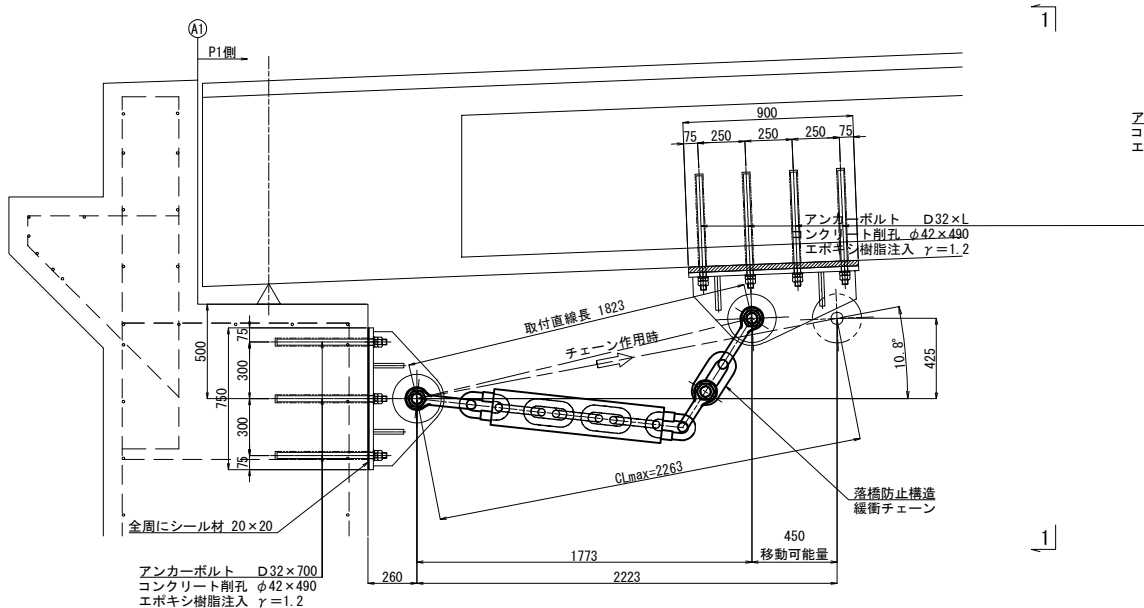
記号	径	長さ (mm)	本数	単位当り質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
(H)	D16	6410	25	1.56	10.00	250	
(C)	D16	3060	22	1.56	4.77	105	
(C2)-1	D16	4280	22	1.56	6.68	147	
(C2)-2	D16	2630	22	1.56	4.10	90	
(C3)	D16	2430	2	1.56	3.79	8	
(C4)	D16	4080	2	1.56	6.36	13	
(A)	D19	1300	110	2.25	2.93	322	
鉄筋集計							
D16						613	kg
D19						322	kg
SD345 合計						935	kg

鉄筋加工寸法表						
$\theta \leq 90^\circ$ $R = 3\phi$				$\theta > 90^\circ$ $R = 5.5\phi$		
						
$\Delta L = 2L - a$						
径	$\theta = 90^\circ$			$\theta = 135^\circ$		
	R	a	ΔL	R	a	ΔL
D16	48	75	21	88	69	4
D19	57	90	24	104.5	82	

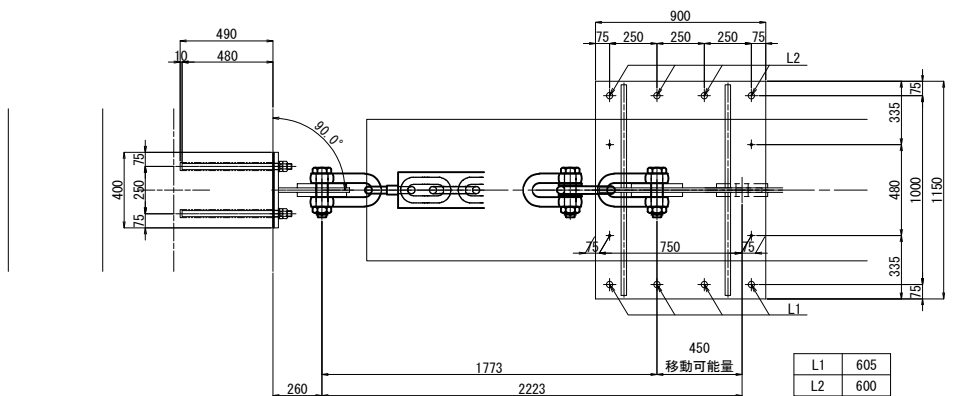
- 注記)
- 1) コンクリートの設計基準強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ とし、鉄筋はSD345を使用する。
 - 2) 本図の既設構造物の基準寸法・部材寸法などは、すべて完成図を基に作図を行っている。
 - 3) 施工に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
 - 4) 既設コンクリート表面には、新旧コンクリートの付着性をよくするため、WJによる表面処理を行うこと。
 - 5) アンカー削孔前に鉄筋探査を行い、既設鉄筋を避けて施工のこと。
 - 6) 縁端拡幅工及び巻立てと、断面修復工が重複している範囲のWJ施工数量については、コンクリートはつりエで計上している。

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入田橋(上り線) P 3 橋脚 (P 2 側) 縁端拡幅工B詳細図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

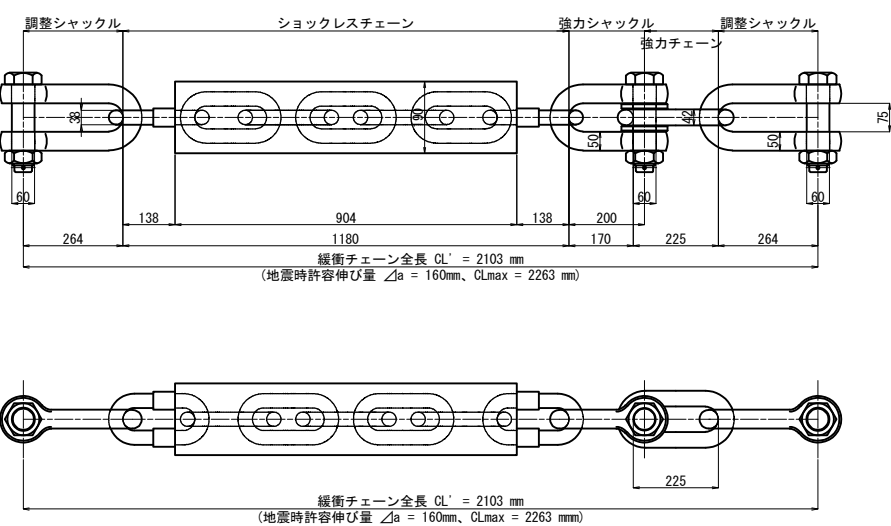
側面図 S=1:40



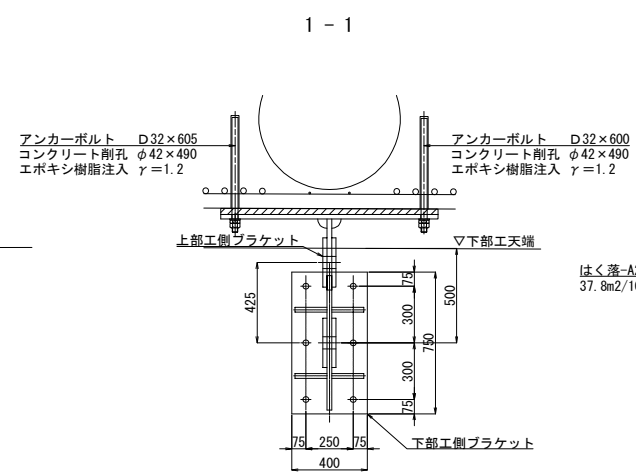
平面図 S=1:40



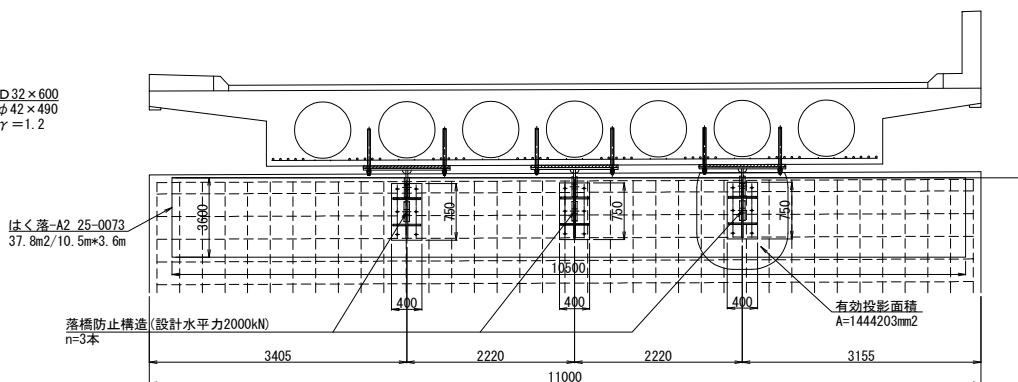
緩衝チェーン 5型 (825kN) 1リンク<参考図> S=1:20



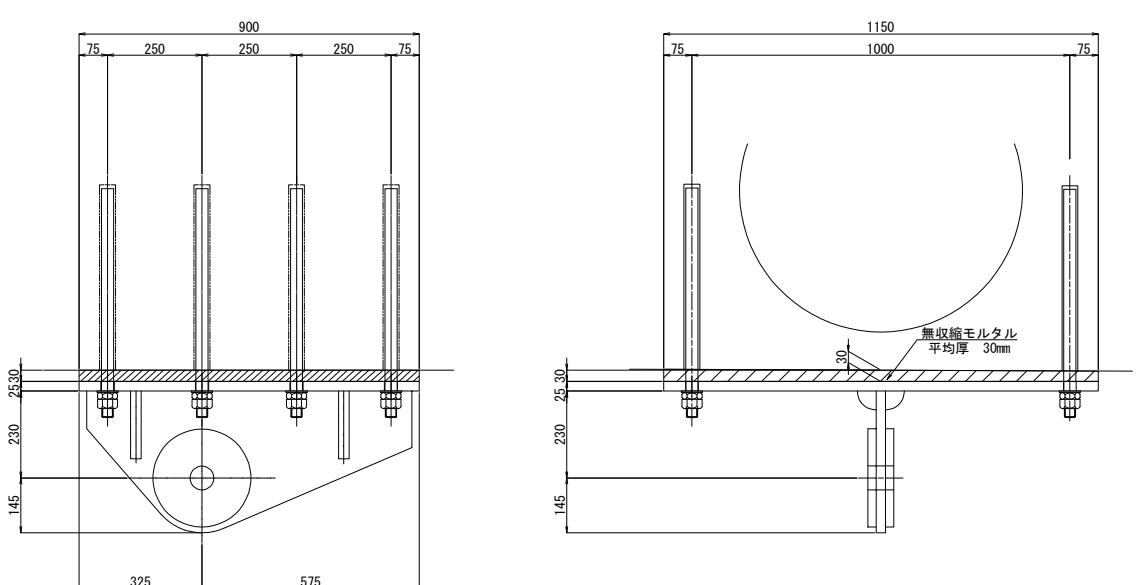
[取付図] 断面図 S=1:40



正面図 S=1:100



緩衝チェーン取付詳細図 S=1:20



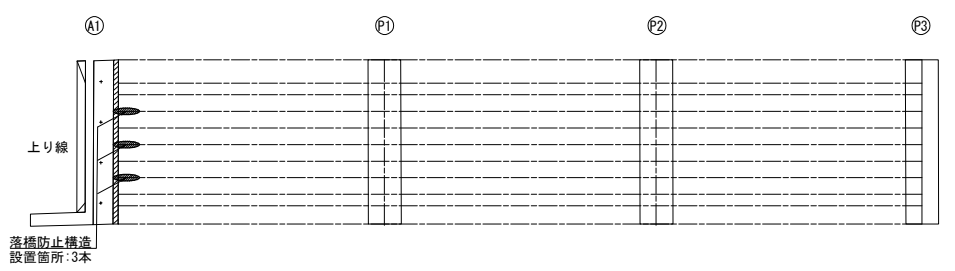
材料表 (落橋防止構造1本所当たり)

名称	規格	単位	数量	重量	適要
ショックレスチェーン	825kN	本	1	62.5	SCM420H
強力チェーン	825kN	個	1	7.16	SCM420H
強力シャックル	825kN	個	1	21.9	SCM435又はSCM435H
調整シャックル	825kN	個	2	23.9	SCM435又はSCM435H
合計				139kg	

死荷重反力	1413 kN
下部工水平耐力	2000 kN
設計水平力	2000 kN
1本当たりの引張力	679 kN
設計移動量	450 mm

※作用角度 $\theta=10.8^\circ$ 考慮

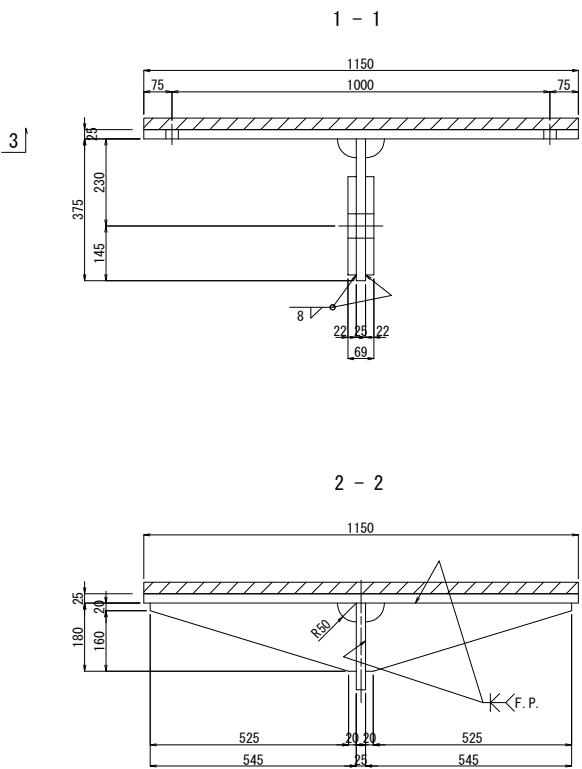
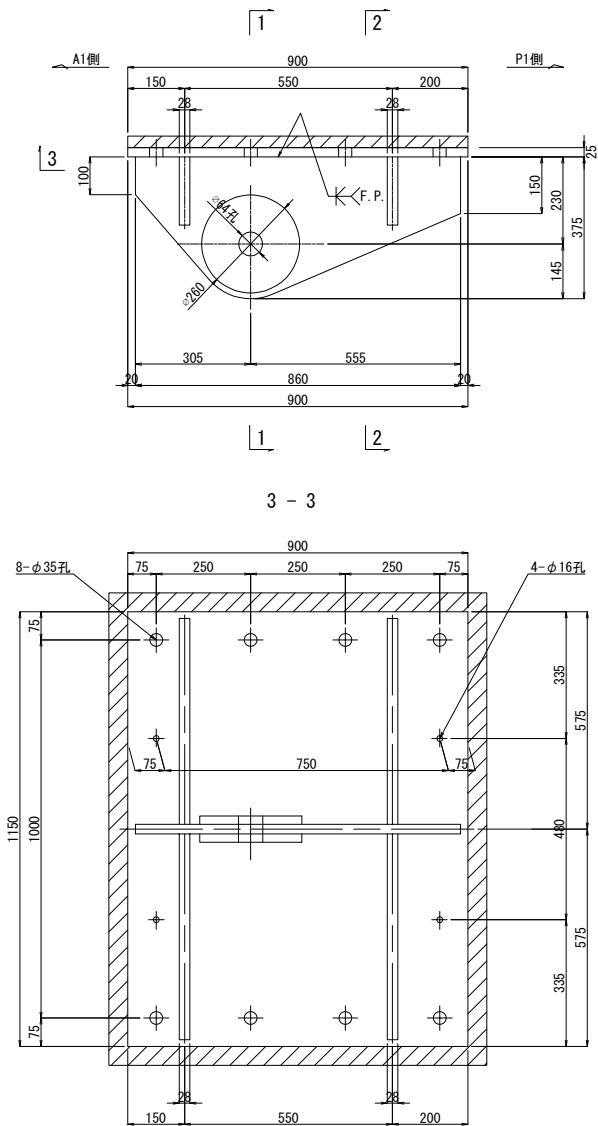
位置図



- 注記)
- 1) 図中詳細寸法は、足場架設後現地実測の上決定のこと。
 - 2) 上部工側・下部工側削孔は、鉄筋探査等を行い、既設鉄筋を切断しないように留意すること。
 - 3) 下部工側アンカーボルト定着長は既設躯体より15d (d:アンカー径) 以上を確保すること。
 - 4) 無収縮モルタルの設計基準強度は、 $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ 以上とする。

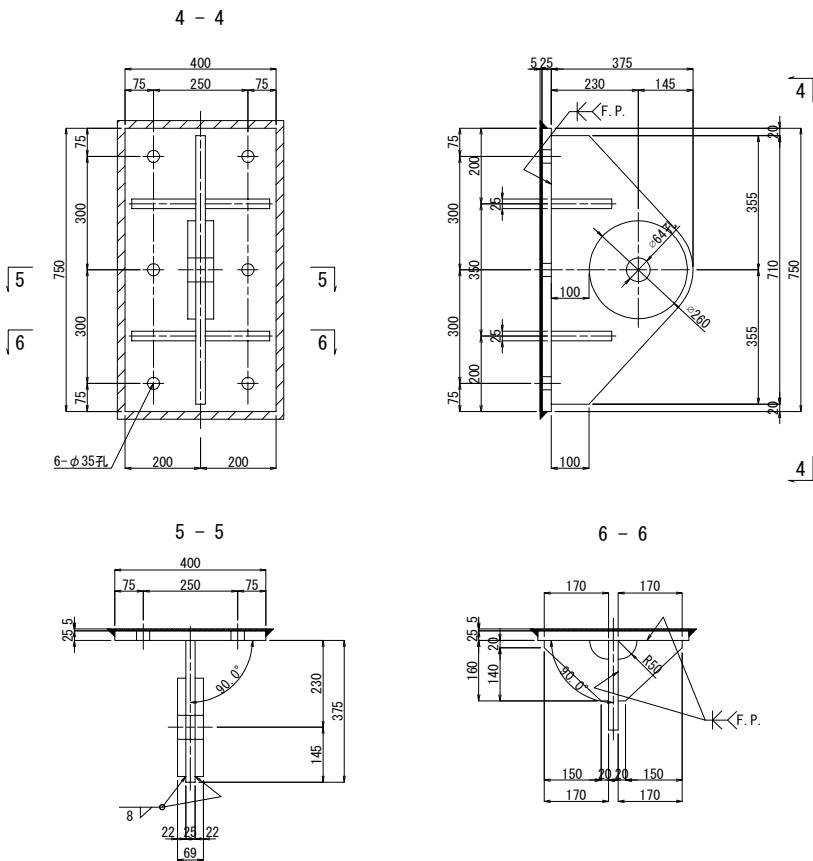
上 信 越 自 動 車 道			
豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	入田橋(上り線) A 1 橋台 落橋防止構造 C 1－B 1 構造図(その 1)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

上部エブラケット詳細図 S=1:20 [詳細図]



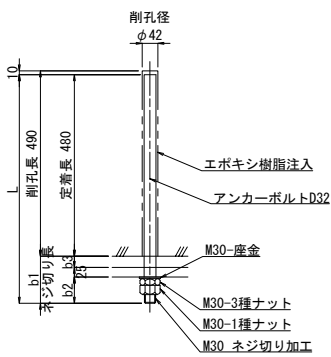
材料1基当り（全3基）
1-Base PL 900×25×1150 (SM490A)
1-Top PL 375×25×860 (SM490A)
2-PL φ260×22 (SM490A)
4-Rib PL 180×28×545 (SM490B)

下部エブラケット詳細図 S=1:20



材料1基当り（全3基）
1-Base PL 400×25×750 (SM490A)
1-Top PL 375×25×710 (SM490A)
2-PL φ260×22 (SM490A)
4-Rib PL 160×25×170 (SM490A)

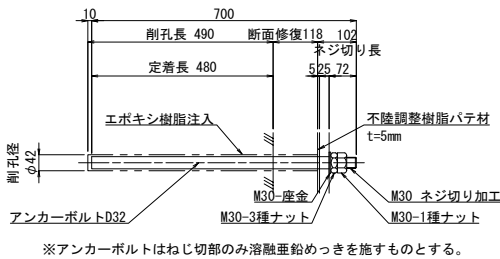
上部アンカーボルト詳細図 S=1:20



材料1基当り（全3基）
N-Anc Bolt D32×L (SD345)
8-Nut M30 1種ナット
8-Nut M30 3種ナット
8-Washer M30 座金

L	b1	b2	b3	N
605	125	68	32	4
600	120	67	28	4

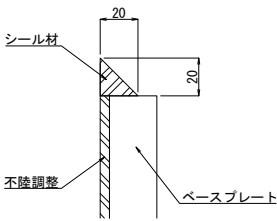
下部アンカーボルト詳細図 S=1:20



材料1基当り（全3基）
6-Anc Bolt D32×700 (SD345)
6-Nut M30 1種ナット
6-Nut M30 3種ナット
6-Washer M30 座金

シーリング材詳細図

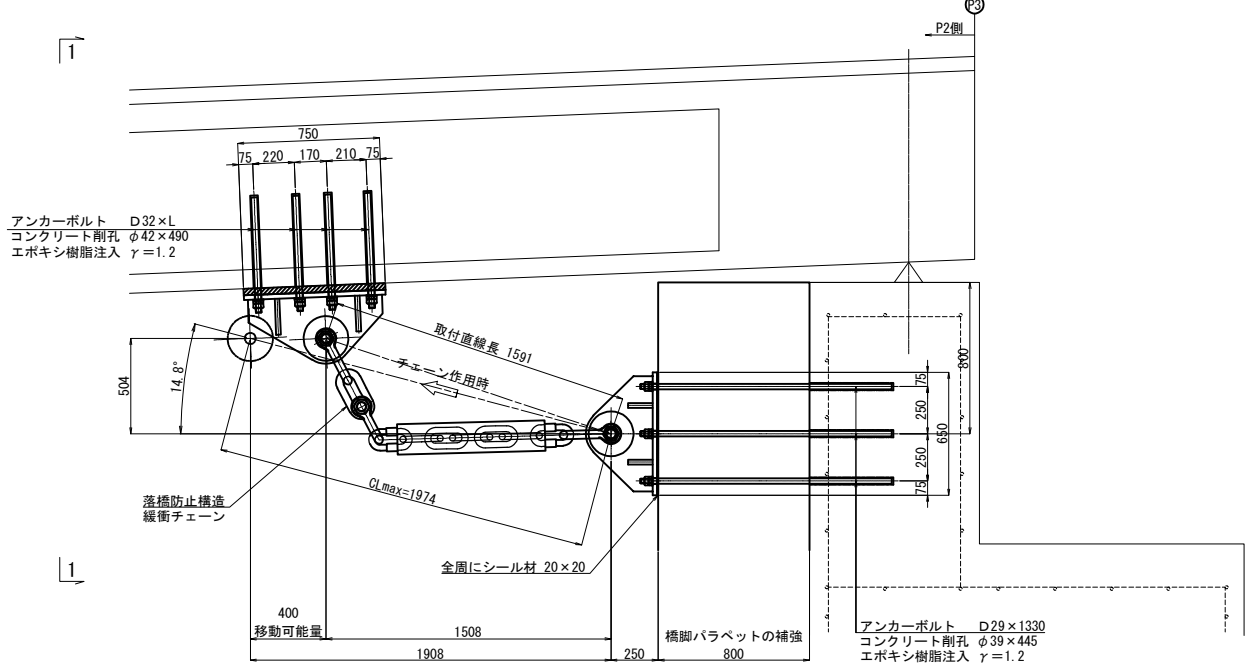
S=1:4



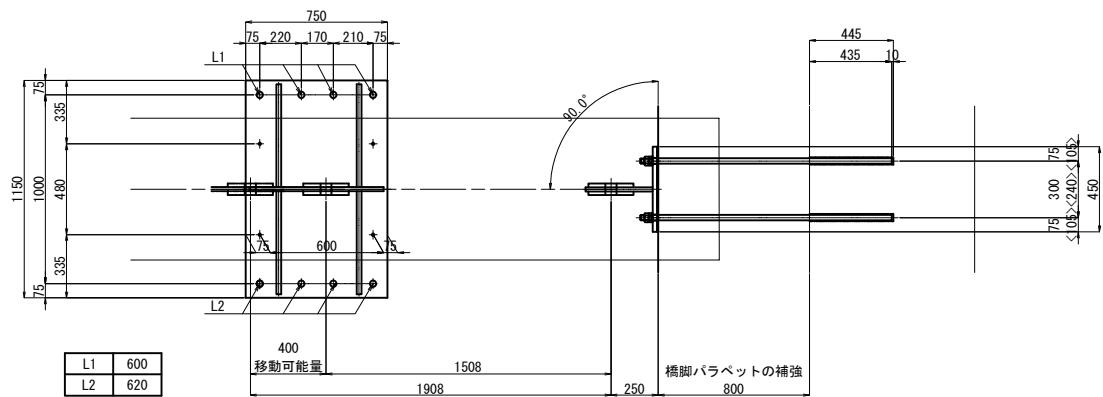
- 注記)
1) 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
2) 部材は全て、溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は JIS H 0401 HDZT77とする。
尚、ボルト・ナット及び板厚3.2mm未満の部材の
膜厚はHDZT49とする。
3) 「F. P.」の表示ある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。

上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	入田橋(上り線) A 1 橋台		
	落橋防止構造 C 1－B 1 構造図(その 2)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

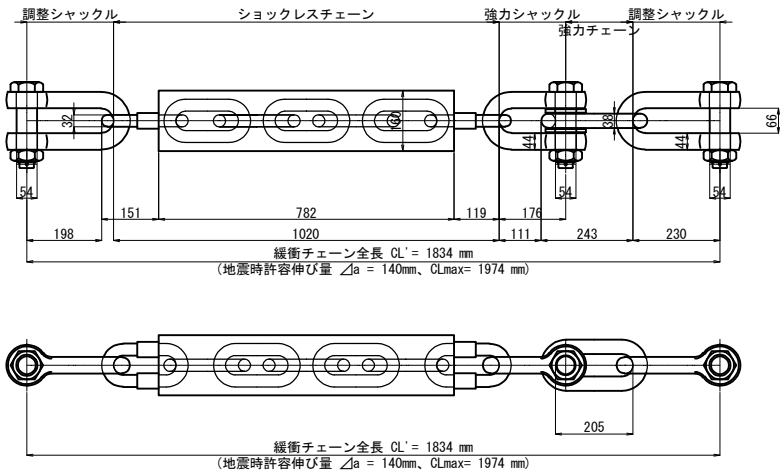
側面図 S=1:40



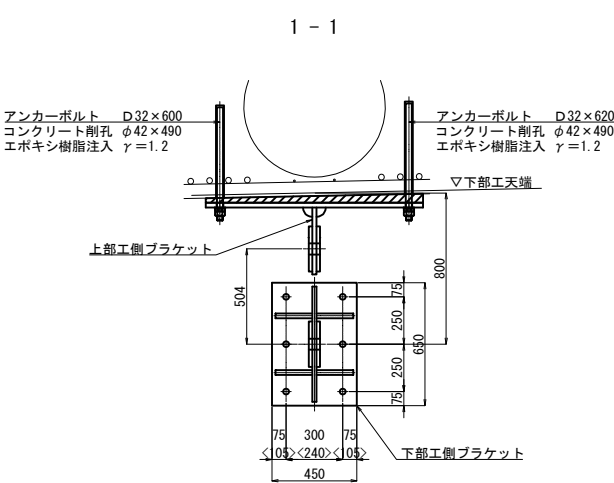
平面図 S=1:40



緩衝チェーン 4型 (615kN) 1リンク<参考図> S=1:20

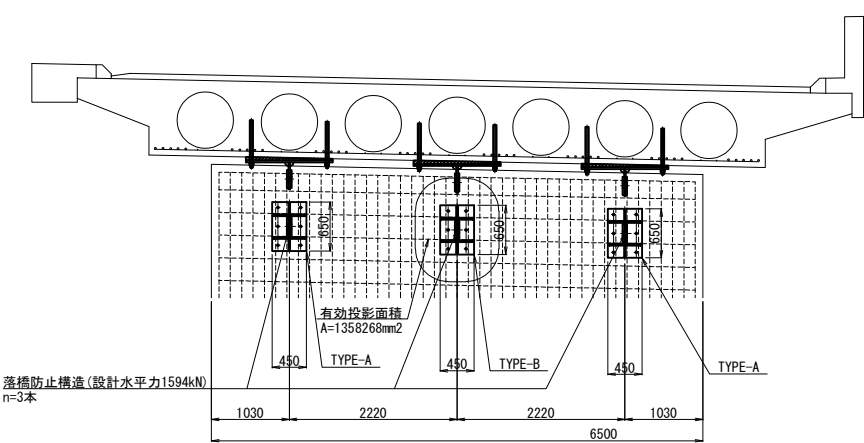


[取付図] 断面図 S=1:40

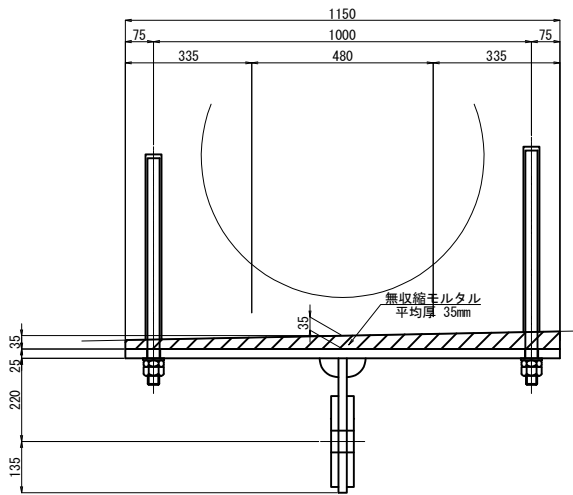
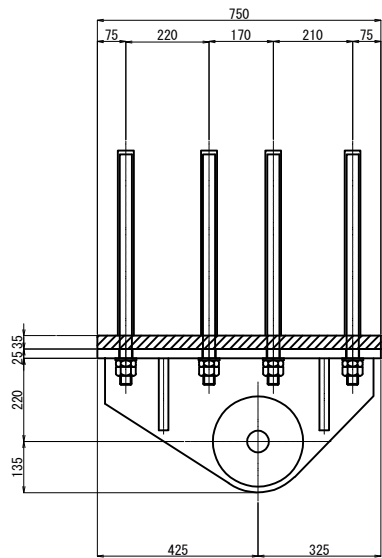


※○内寸法下部工側ブラケットTYPE-Bを示す。

正面図 S=1:100



緩衝チェーン取付詳細図 S=1:20



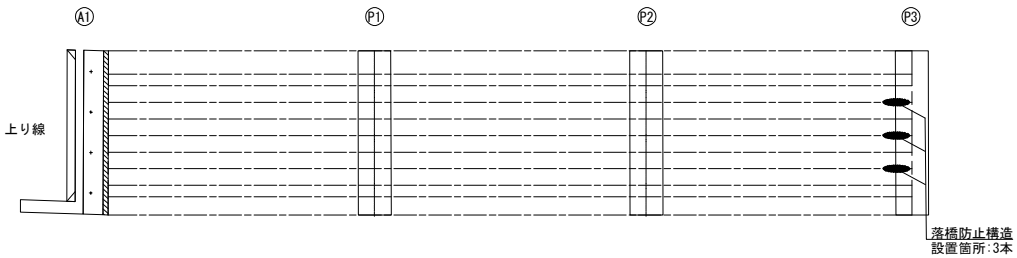
材料表（落橋防止構造1本当たり）

名称	規格	単位	数量	重量	適要
ショックレスチェーン	615kN	本	1	40.0	SCM420H
強力チェーン	615kN	個	1	5.32	SCM420H
強力シャックル	615kN	個	1	16.1	SCM435又はSCM435H
調整シャックル	615kN	個	2	17.4	SCM435又はSCM435H
			合計	96kg	

死荷重反力	1412 kN
下部工水平耐力	1594 kN
設計水平力	1594 kN
1本当たりの引張力	550 kN
設計移動量	400 mm

※作用角度θ=14.8°考慮

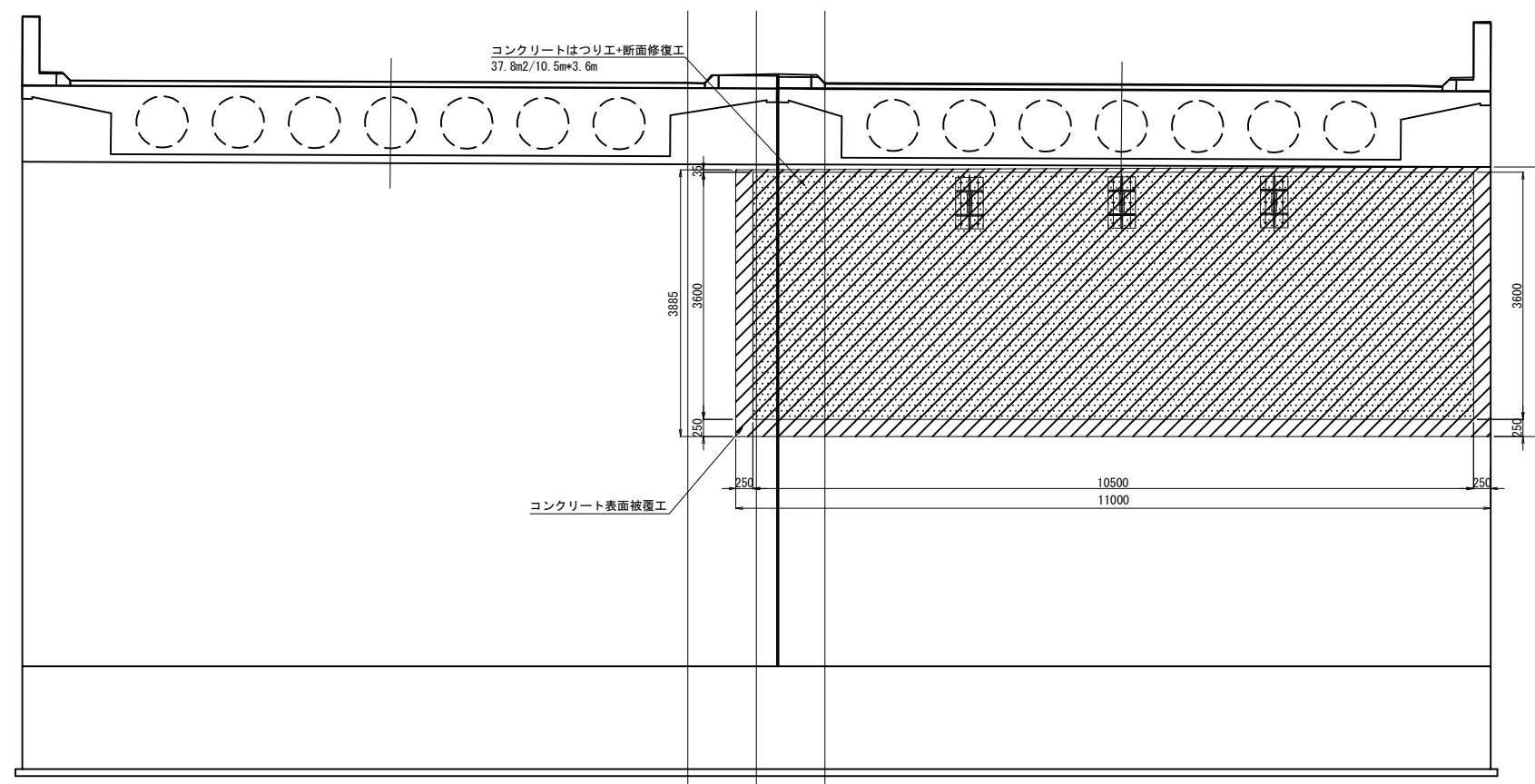
位置図



- 注記)
- 1) 図中詳細寸法は、足場架設後現地実測の上決定のこと。
 - 2) 上部工側・下部工側削孔は、鉄筋探索等を行い、既設鉄筋を切断しないように留意すること。
 - 3) 下部工側アンカーボルト定着長は既設躯体より15d (d:アンカー径) 以上を確保すること。
 - 4) 無収縮モルタルの設計基準強度は、 $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ 以上とする。

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入田橋(上り線) P 3 橋脚 (P 2 側) 落橋防止構造 C 1－B 2 構造図(その 1)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

A1橋台



断面修復工詳細図

コンクリートはつりエ

Figure 1 is a cross-sectional diagram of a reinforced concrete slab. The diagram illustrates the construction details and reinforcement layout. Key components and labels include:

- Concrete Casting:** Indicated by the text "コンクリートはつりエ" (Concrete casting) in two locations.
- Welded Joint Method:** Labeled as "WJ工法 (t=100mm)".
- Hand Casting:** Labeled as "手はつり (コンクリートチップング)" (Hand casting (concrete chipping)).
- Existing Reinforcement (Second Reinforcement):** Labeled as "既設鉄筋 (第二鉄筋) D16" at the top.
- Body:** Labeled as "躯体" (Body) in the center.
- First Reinforcement Back Surface:** Labeled as "第一鉄筋背面" (First reinforcement back surface) near the bottom.
- Existing Reinforcement (First Reinforcement):** Labeled as "既設鉄筋 (第一鉄筋) D16" at the bottom.
- Dimensions:** Various dimensions are marked: 18, 100, 10, 108, and 118.

断面修復工

断面修復工 PCM

コンクリート表面被覆工

凡例

 : コンクリートはつり工+断面修復工

 : コンクリート表面被覆工

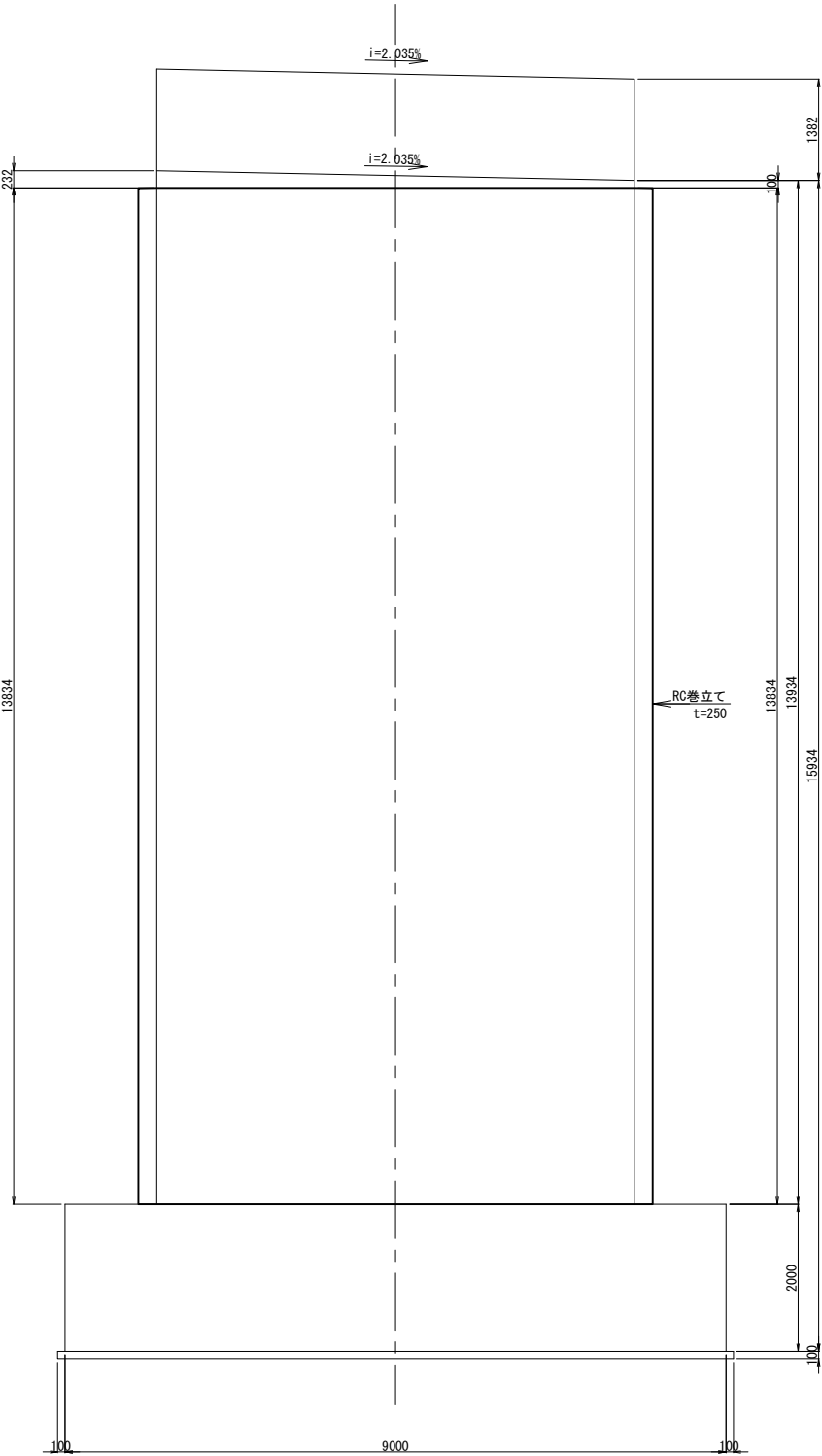
注記)

1. 表面はつり深さは第一鉄筋背面+10mmとする。
2. 対策範囲については、現地で浮き、はく離等の損傷範囲を再確認し、監督員と協議の上決定すること。

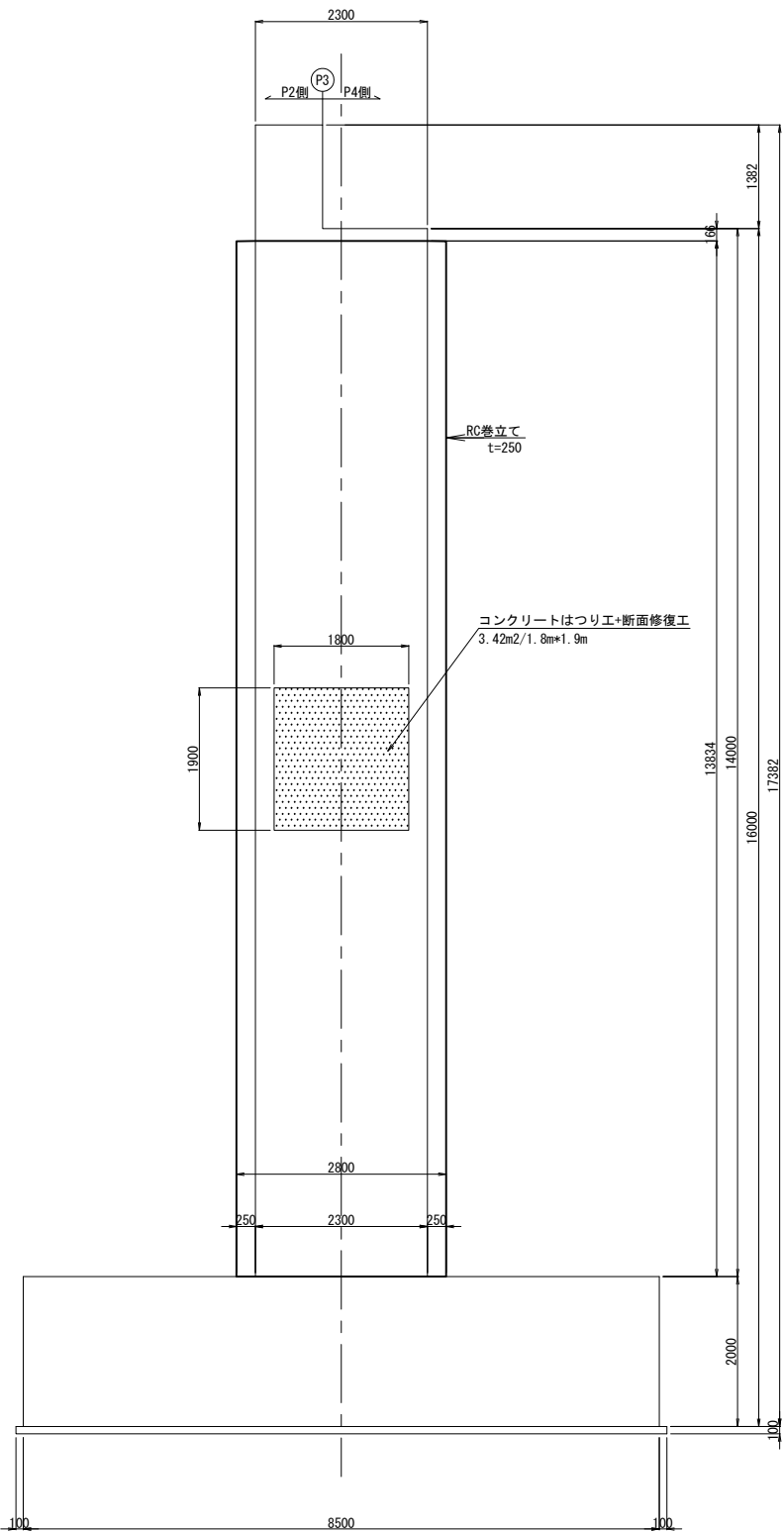
上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事		
図面の種類	入田橋(より線) 断面修復工 一般図(その１)	
縮 尺	図 示	図面番号
設計会社名	富士技研センター株式会社	
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 長 野 工 事 所	関東支社 務 所

P3橋脚

正面図

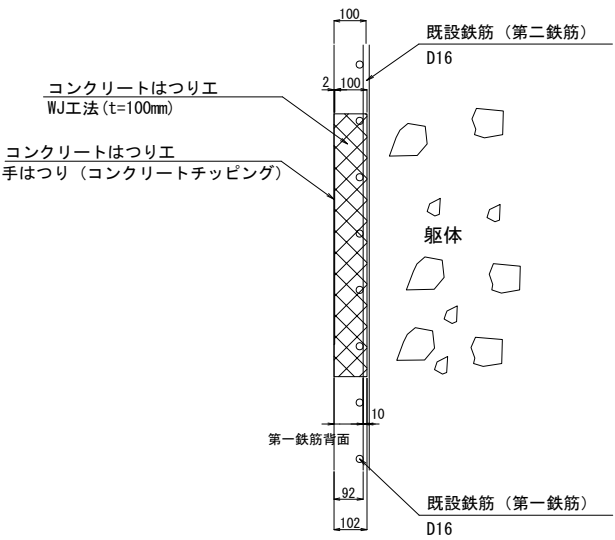


側面図

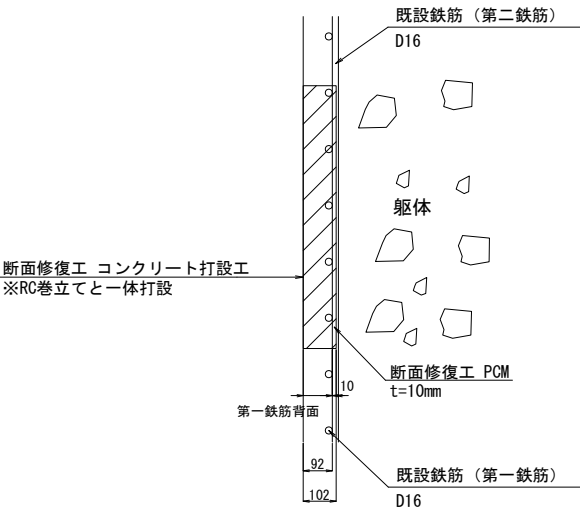


断面修復工詳細図 S=1:50

コンクリートはつりエ



断面修復工

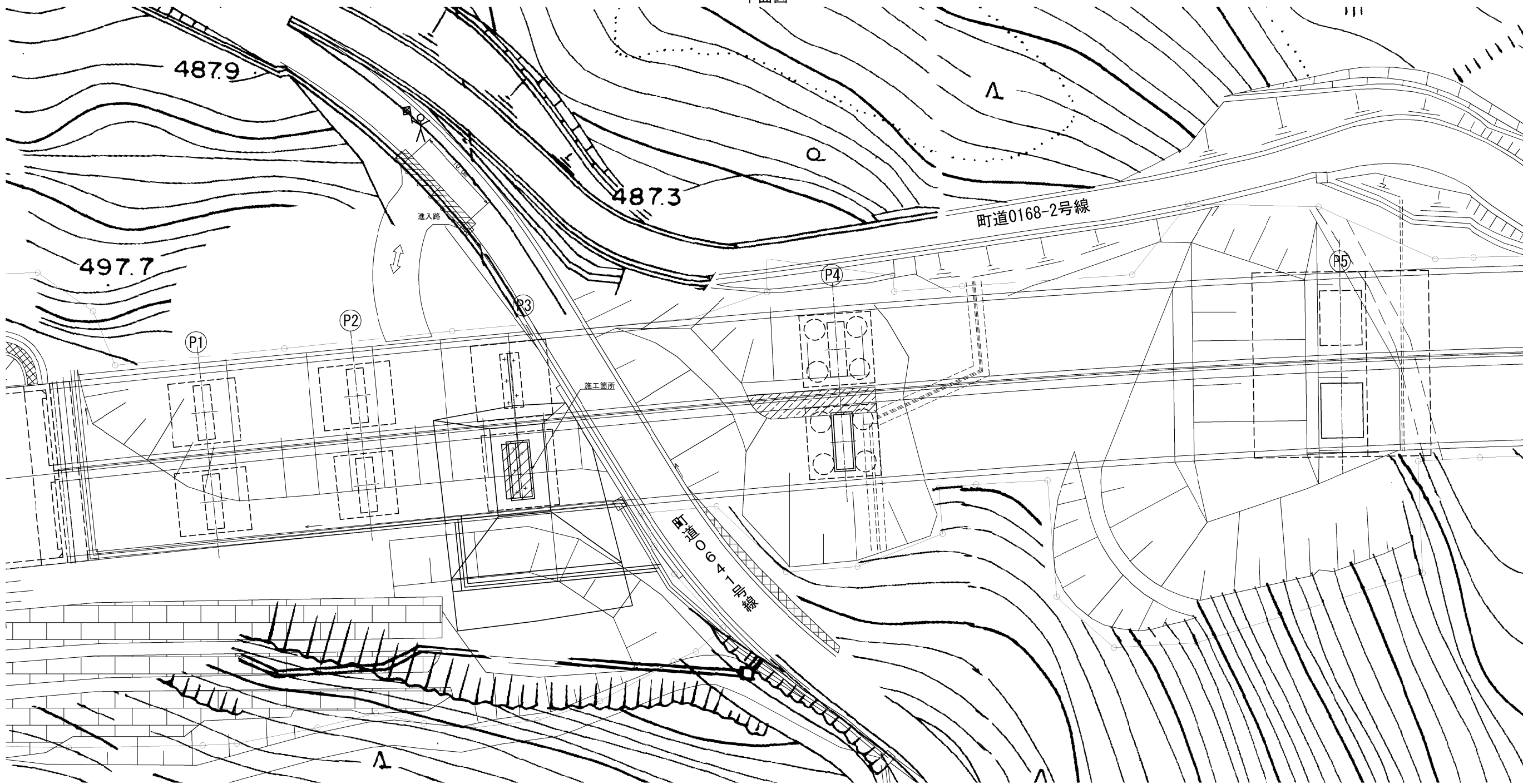


凡例
コンクリートはつりエ+断面修復工

- 注記)
1. 表面はつり深さは第一鉄筋背面+10mmとする。
 2. 対策範囲については、現地で浮き、はく離等の損傷範囲を再確認し、監督員と協議の上決定すること。
 3. 縁端拡幅工及び巻立てと、断面修復工が重複している範囲のWJ施工数量については、コンクリートはつりエで計上している。

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入田橋(上り線)		
	断面修復工 一般図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社長 野工事事務所		

【町道0641号線】
平面図



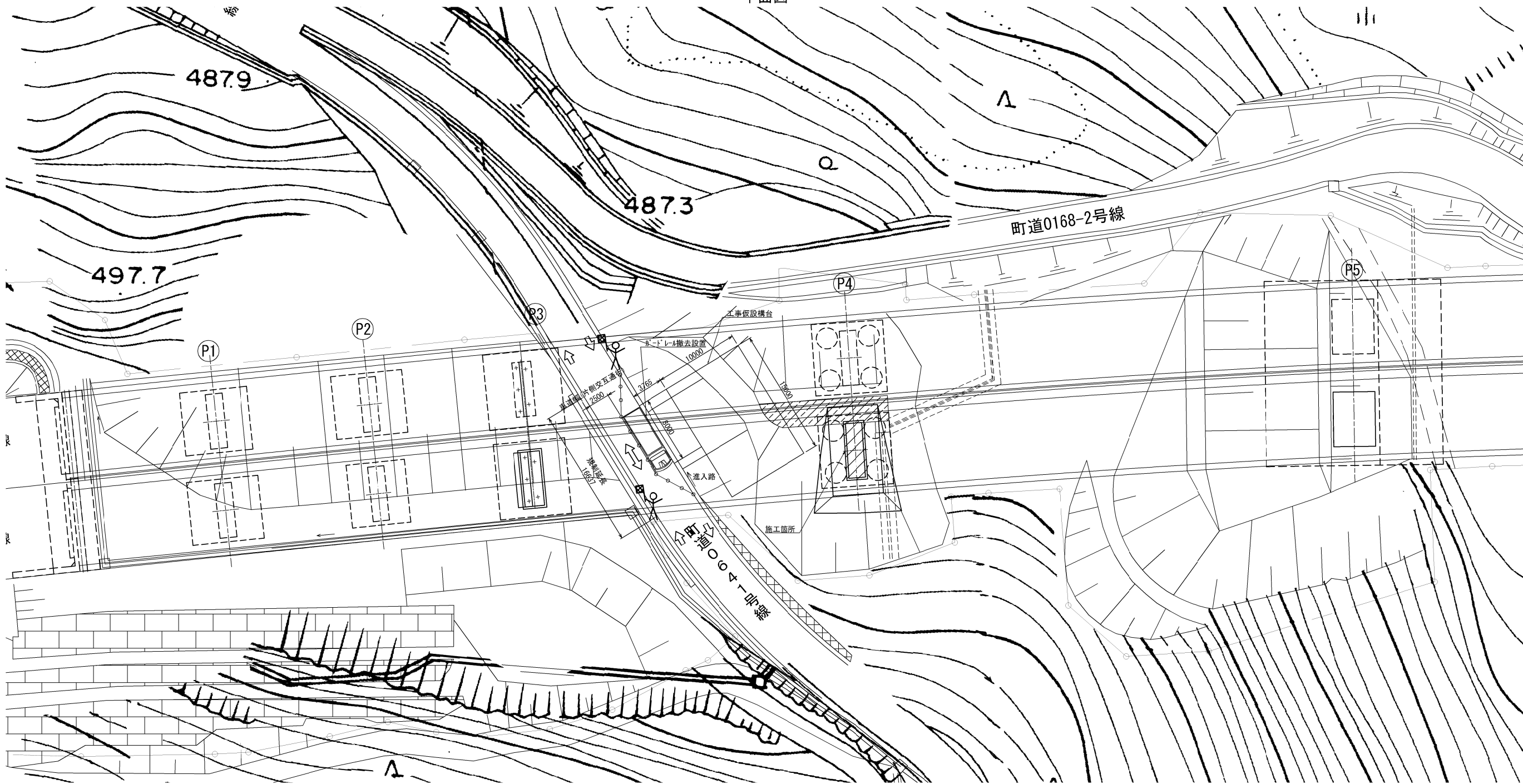
保安施設設置一覧

記号	保安施設
	交通誘導警備員B1-2

注記）1. P1-P2橋脚施工時、町道0641号線に交通誘導警備員Bを1名配置する。

上信速自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
入田橋(上り線)			
図面の種類	交通安全要員 交通誘導警備員B 1－2 配置図(その1)		
縮 尺		図面番号	/
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

【町道0641号線 片側交互通行】
平面図



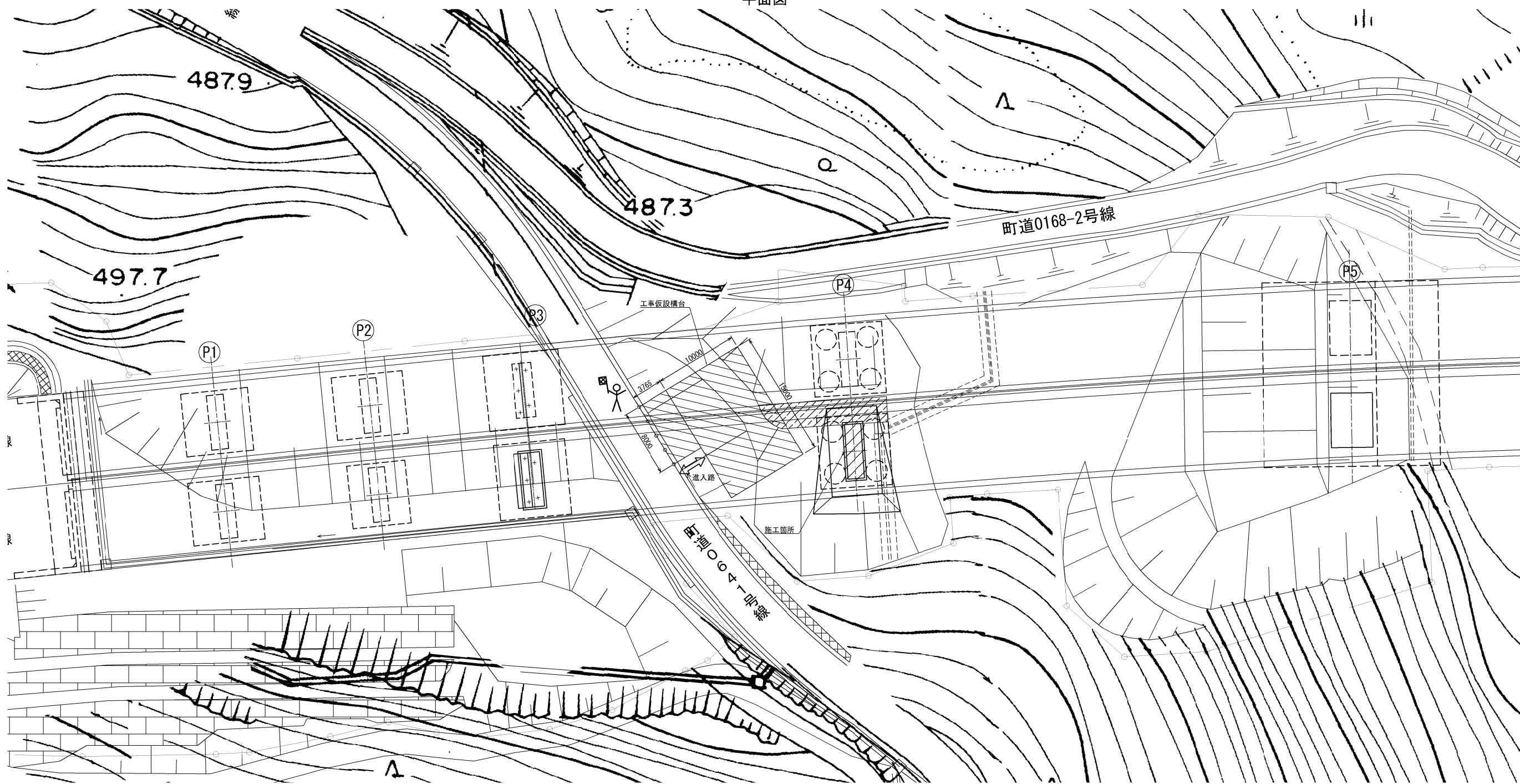
保安施設設置一覧

記号	保安施設
	交通誘導警備員B1-1

注記）1. P4橋脚作業構台設置撤去時、町道0641号線の交通規制を行う。
2. 交通誘導警備員Bを2名配置する。
3. カラーコーンの設置間隔及び角度は当該警察署と協議すること。

上信速自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事	
図面の種類	入田橋(上り線) 交通保安要員 交通誘導警備員 B 1－1 配置図(その2)
縮 尺	図面番号
設計会社名	富士技研センター株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所

【町道0641号線】
平面図



保安施設設置一覧

記号	保安施設
	交通誘導警備員B1-1

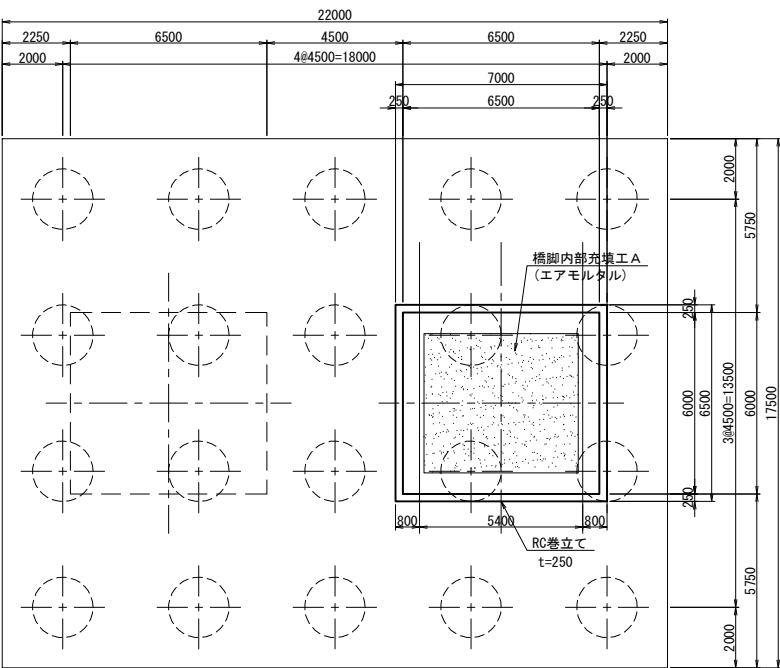
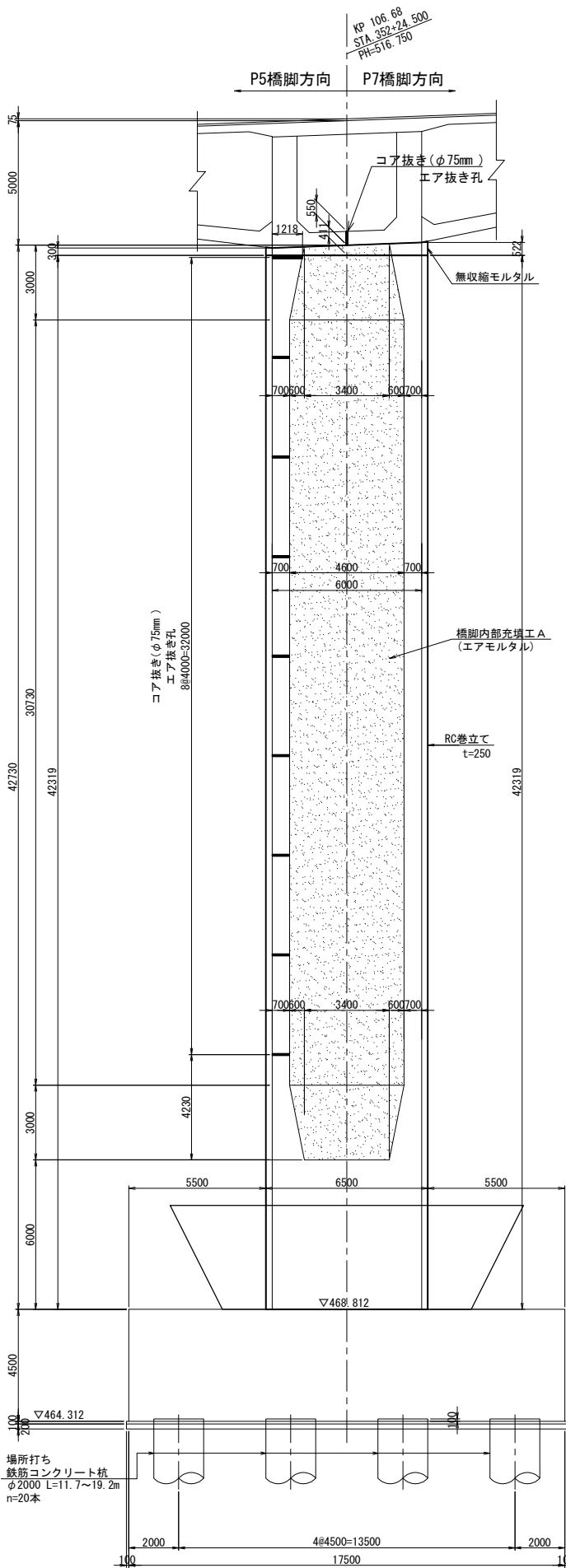
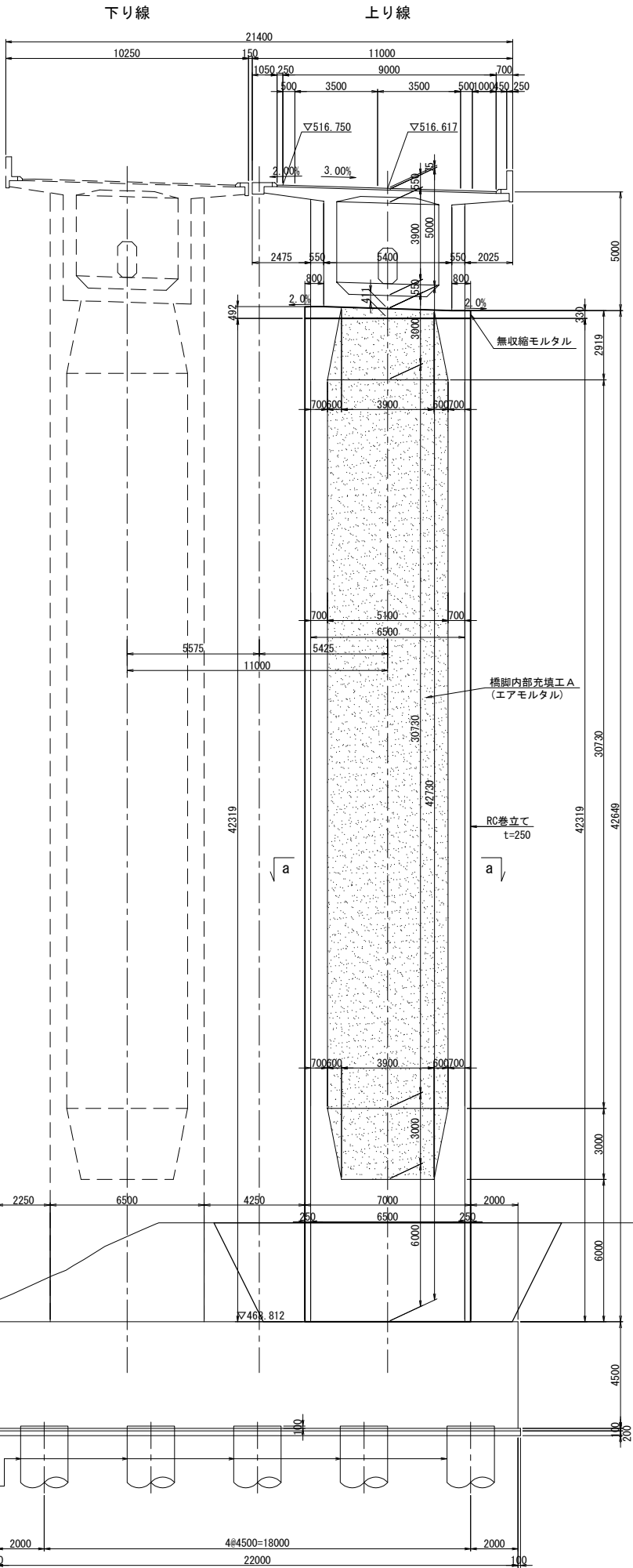
注記) 1. P4橋脚施工時、町道0641号線に交通誘導警備員Bを1名配置する。

上信速自動車道	
豊洲高架橋耐震補強工事	
入田橋(上り線)	
図面の種類	交通安全要員 交通誘導警備員B 1－1 配置図(その3)
縮 尺	図面番号
設計会社名	富士技研センター株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社長 野 工 事 事 務 所

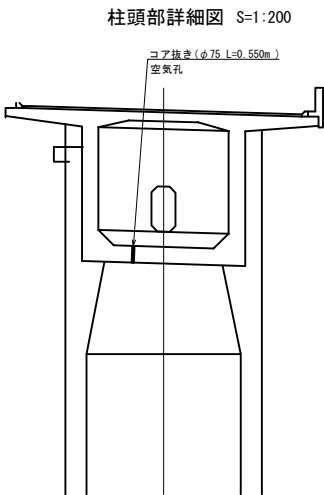
正面図

側面図

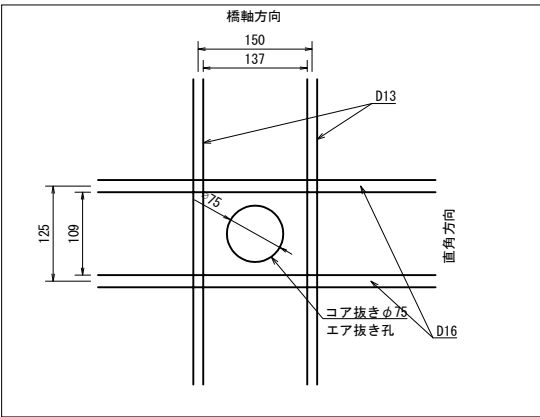
平面図



エア抜き孔詳細図



下床版配筋状況図 S=1:10



使用材料

工種	仕様
既設部	コンクリート 240 kg/cm ³
	鉄筋 SD345
補強部	コンクリート A1-5 30 N/mm ²
	鉄筋 SD345
	エアモルタル 2.0 N/mm ²

※エアモルタルの単位体積質量は12.8kN/m³(1.3t/m³)とする。

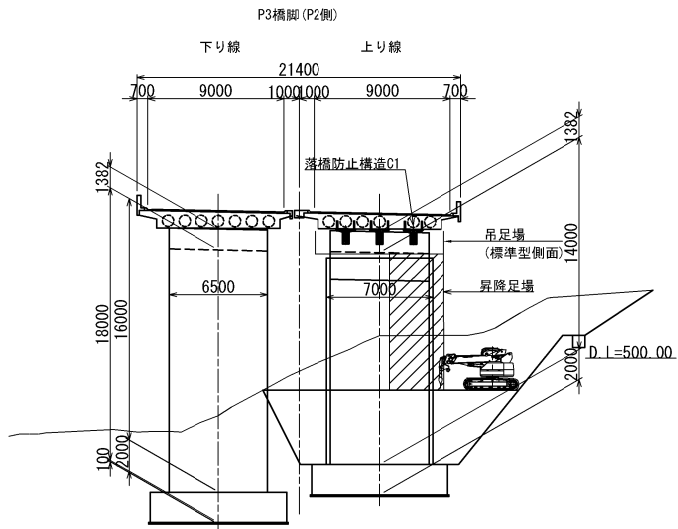
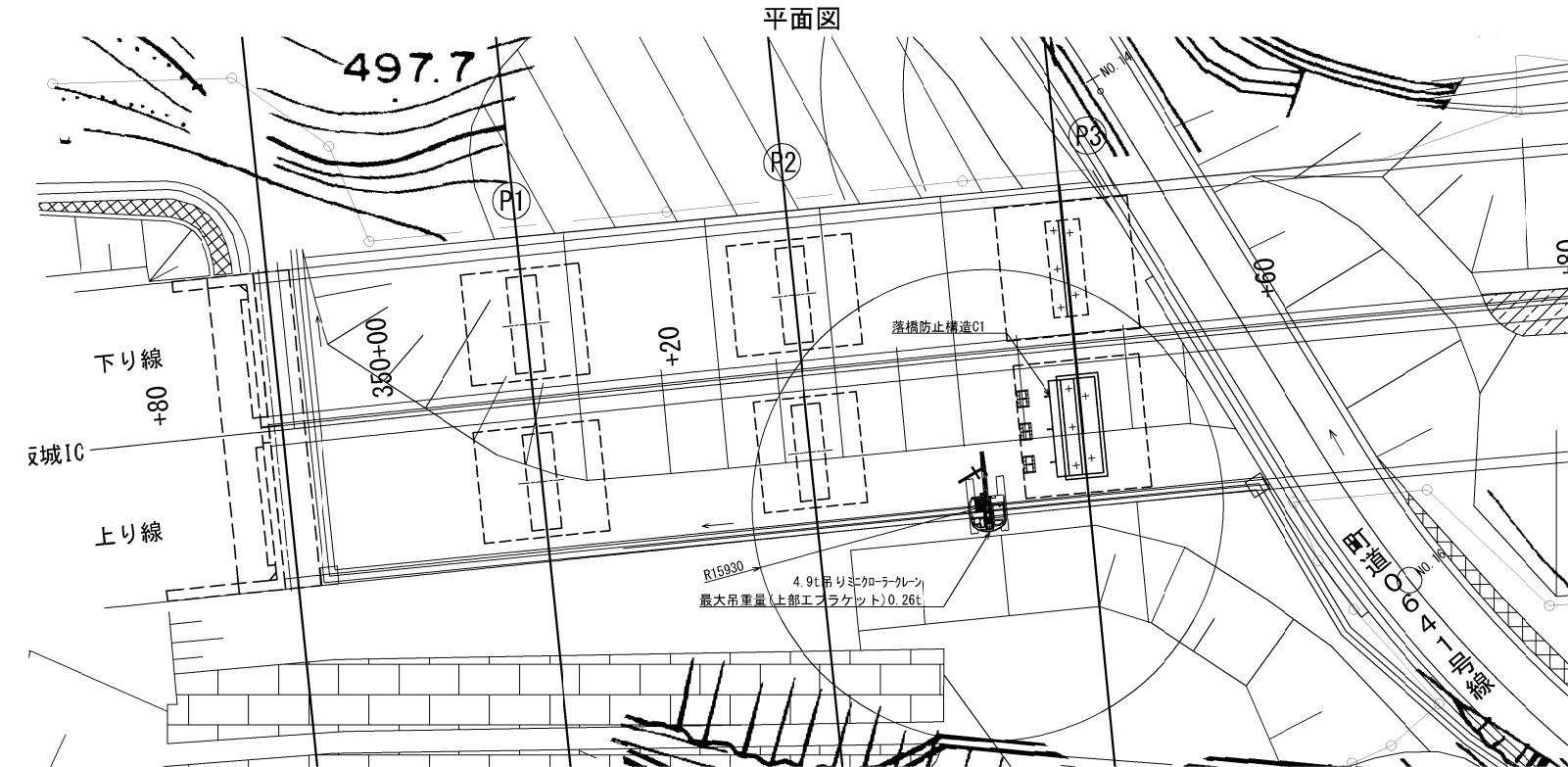
注記)

- 施工前に既設形状寸法を確認すること。
- アンカー定着鉄筋の削孔にあたっては、既設構造物の鉄筋を切断しないように現在の配筋状態を事前に鉄筋探査等による調査を実施し、確認すること。

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事	入田橋(上り線) P 6 橋脚 橋脚内部充填工 A
図面の種類	縮尺 図示 図面番号
設計会社名	富士技研センター株式会社
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社長 野工事事務所

落橋防止構造

正面図



定格総荷重表(4本掛け)

作業半径(m)	4.57mブーム		7.45mブーム		10.33mブーム		13.21mブーム		16.09mブーム	
	静止吊定格	走行吊定格	静止吊定格	走行吊定格	静止吊定格	走行吊定格	静止吊定格	走行吊定格	静止吊定格	走行吊定格
2.00	4900	2000	4900	2000	3000	1500	—	—	—	—
2.50	4900	2000	4900	2000	3000	1500	—	—	—	—
2.80	4900	2000	4900	2000	3000	1500	3000	—	—	—
3.00	4900	2000	4900	2000	3000	1500	3000	—	—	—
3.10	4900	2000	4900	2000	3000	1500	3000	—	2600	—
3.50	4280	2000	4300	2000	3000	1500	3000	—	2600	—
4.00	3700	1830	3690	1780	3000	1500	3000	—	2600	—
4.20	3500	1750	3480	1700	3000	1500	3000	—	2600	—
4.41	3300	1660	3270	1620	3000	1500	3000	—	2600	—
4.50	—	—	3190	1590	3000	1500	3000	—	2600	—
4.60	—	—	3100	1550	3000	1500	2910	—	2600	—
5.00	—	—	2780	1410	2680	1340	2600	—	2600	—
5.30	—	—	2560	1310	2480	1240	2400	—	2410	—
5.50	—	—	2430	1250	2360	1180	2290	—	2300	—
6.00	—	—	2130	1100	2090	1020	2030	—	2050	—
6.50	—	—	1870	960	1860	930	1820	—	1850	—
7.00	—	—	1650	830	1670	830	1640	—	1670	—
7.29	—	—	1530	760	1570	790	1550	—	1580	—
7.50	—	—	—	—	1500	750	1490	—	1520	—
8.00	—	—	—	—	1360	680	1360	—	1390	—
8.50	—	—	—	—	1230	620	1250	—	1280	—
9.00	—	—	—	—	1120	560	1150	—	1170	—
10.00	—	—	—	—	930	460	980	—	1000	—
10.17	—	—	—	—	900	450	950	—	980	—
11.00	—	—	—	—	—	—	840	—	860	—
12.00	—	—	—	—	—	—	730	—	750	—
12.80	—	—	—	—	—	—	650	—	670	—
13.00	—	—	—	—	—	—	640	—	650	—
13.05	—	—	—	—	—	—	630	—	650	—
14.00	—	—	—	—	—	—	—	—	570	—
15.00	—	—	—	—	—	—	—	—	500	—
15.70	—	—	—	—	—	—	—	—	450	—
15.93	—	—	—	—	—	—	—	—	440	—

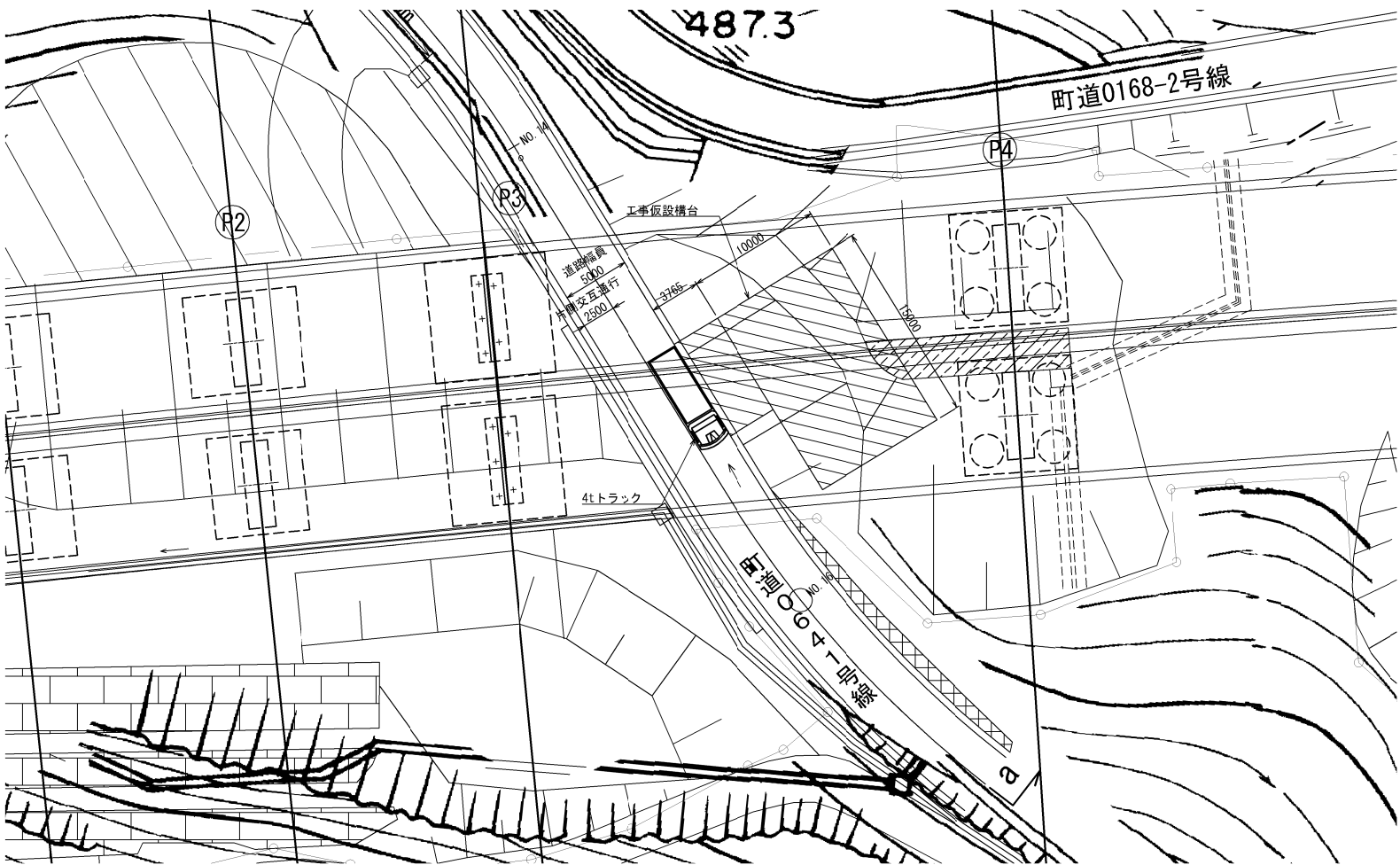
定格総荷重表(2本掛け)

作業半径(m)	4.57mブーム		7.45mブーム		10.33mブーム		13.21mブーム		16.09mブーム	
	静止吊定格	走行吊定格	静止吊定格	走行吊定格	静止吊定格	走行吊定格	静止吊定格	走行吊定格	静止吊定格	走行吊定格
2.00	2450	2000	2450	2000	2450	1500	—	—	—	—
2.50	2450	2000	2450	2000	2450	1500	—	—	—	—
2.80	2450	2000	2450	2000	2450	1500	2450	—	—	—
3.00	2450	2000	2450	2000	2450	1500	2450	—	—	—
3.10	2450	2000	2450	2000	2450	1500	2450	—	2450	—
3.50	2450	2000	2450	2000	2450	1500	2450	—	2450	—
4.00	2450	1830	2450	1780	2450	1500	2450	—	2450	—
4.20	2450	1750	2450	1700	2450	1500	2450	—	2450	—
4.41	2450	1660	2450	1620	2450	1500	2450	—	2450	—
4.50	—	—	2450	1590	2450	1500	2450	—	2450	—
4.60	—	—	2450	1550	2450	1500	2450	—	2450	—
5.00	—	—	2450	1410	2450	1340	2450	—	2450	—
5.30	—	—	2450	1310	2450	1240	2400	—	2410	—
5.50	—	—	2450	1250	2360	1180	2290	—	2300	—
6.00	—	—	2130	1100	2090	1020	2030	—	2050	—
6.50	—	—	1870	960	1860	930	1820	—	1850	—
7.00	—	—	1650	830	1670	830	1640	—	1670	—
7.29	—	—	1530	760	1570	790	1550	—	1580	—
7.50	—	—	—	—	1500	750	1490	—	1520	—
8.00	—	—	—	—	1360	680	1360	—	1390	—
8.50	—	—	—	—	1230	620	1250	—	1280	—
9.00	—	—	—	—	1120	560	1150	—	1170	—
10.00	—	—	—	—	930	460	980	—	1000	—
10.17	—	—	—	—	900	450	950	—	980	—
11.00	—	—	—	—	—	—	840	—	860	—
12.00	—	—	—	—	—	—	730	—	750	—
12.80	—	—	—	—	—	—	650	—	670	—
13.00	—	—	—	—	—	—	640	—	650	—
13.05	—	—	—	—	—	—	630	—	650	—
14.00	—	—	—	—	—	—	—	—	570	—
15.00	—	—	—	—	—	—	—	—	500	—
15.70	—	—	—	—	—	—	—	—	450	—
15.93	—	—	—	—	—	—	—	—	440	—

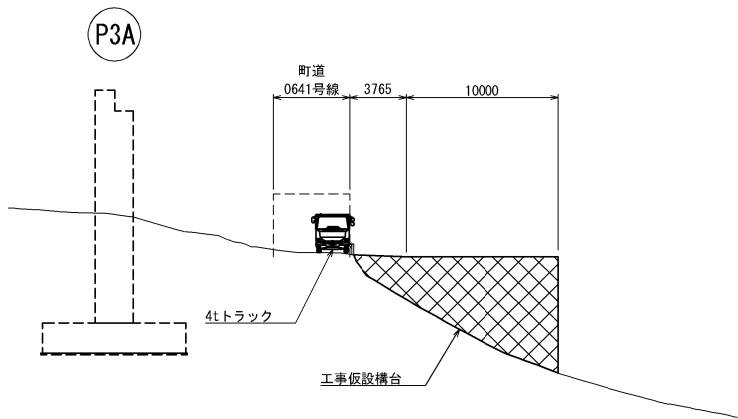
上信速自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入田橋(上り線)		
	重機配置図(その1)(参考図)		
縮尺	1:500	図面番号	
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社長 野工事事務所		

工事仮設構台

平面図



工事仮設構台 断面図

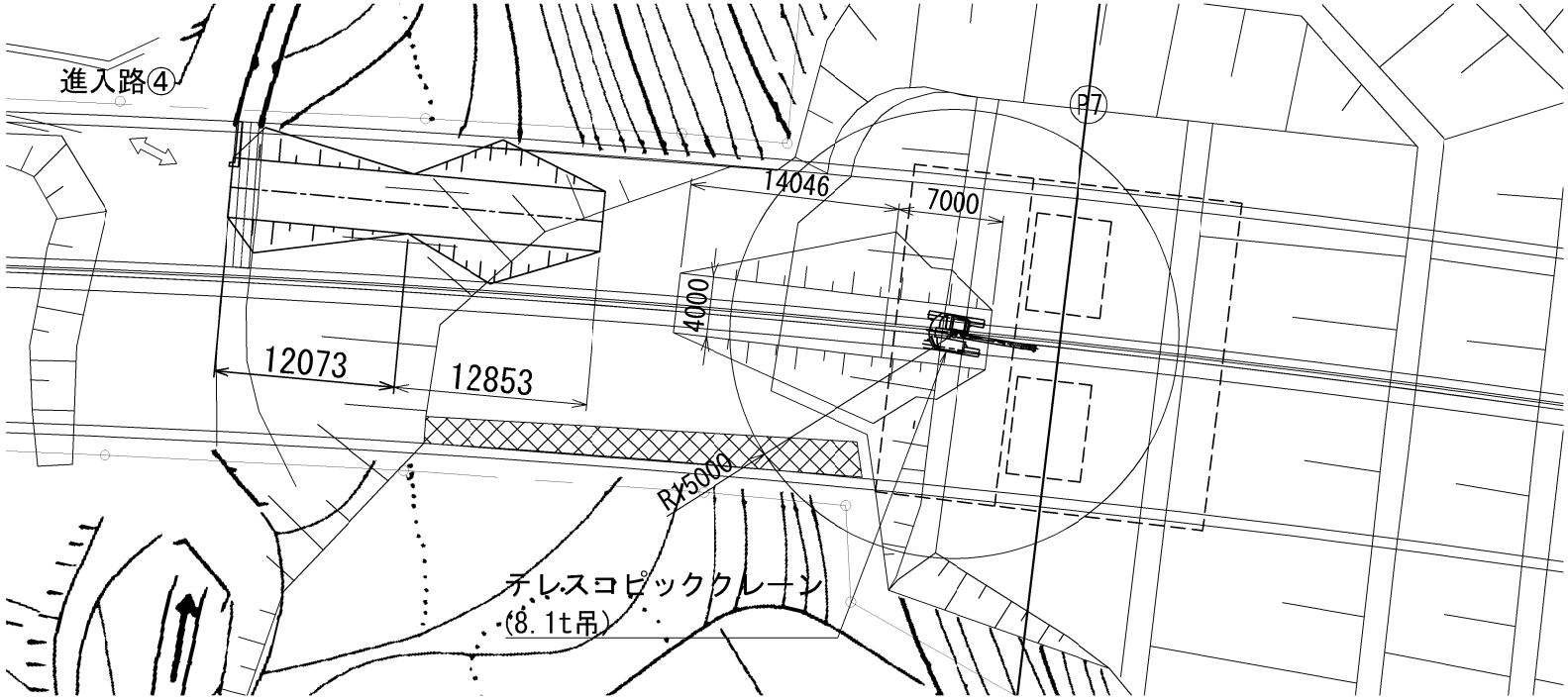


注記) 1. 工事仮設構台施工時、町道0168-2号線を片側交互通行とする。
2. 資材の取り卸しは人力にて行う。

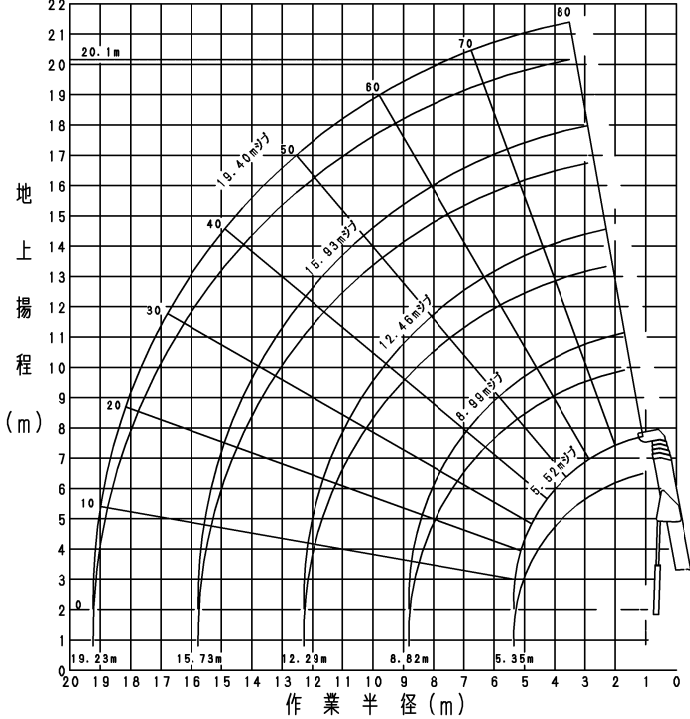
上 信 速 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	入田橋(上り線)		
	重機配置図(その2) (参考図)		
縮 尺	1:500	図面番号	
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

P7橋脚 下部工補強

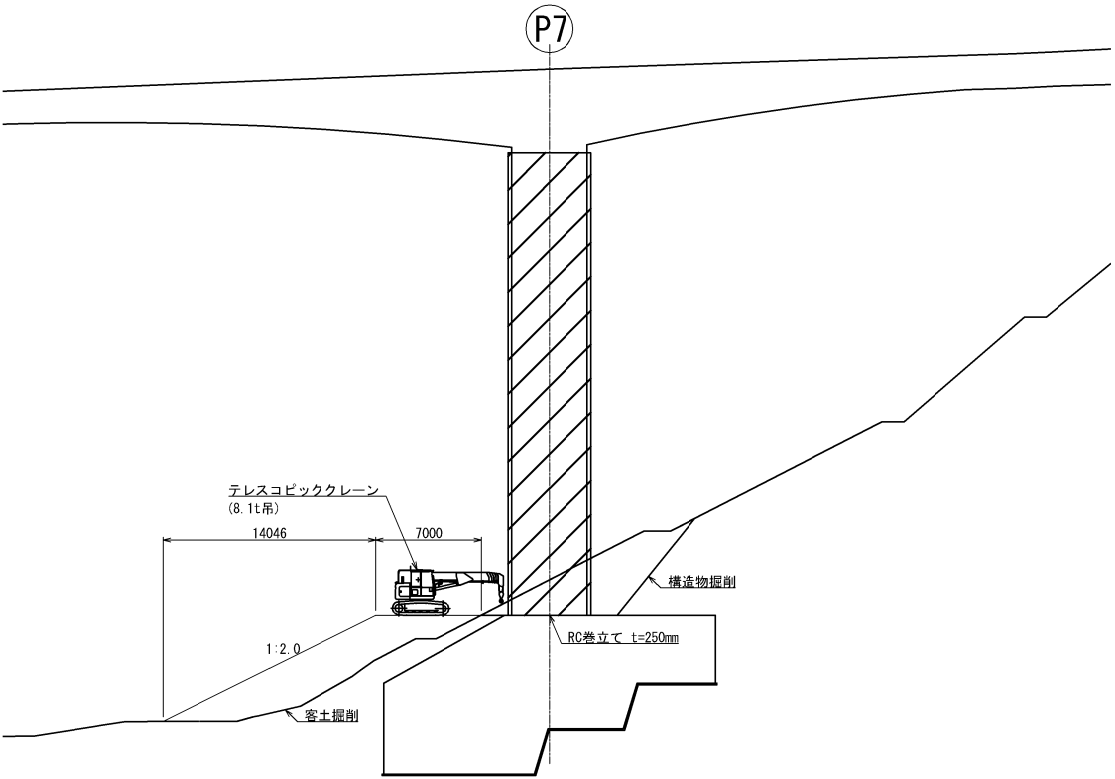
平面図



作業範囲図



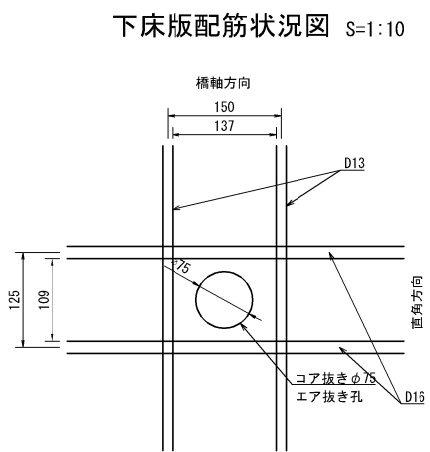
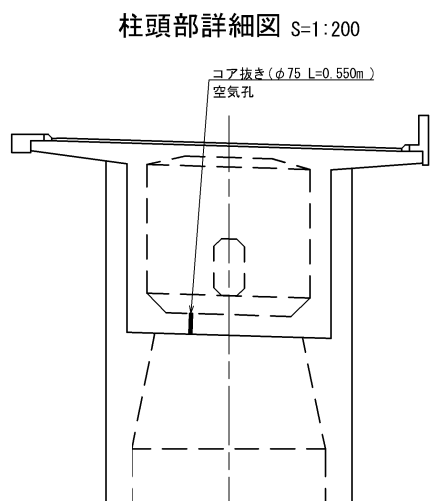
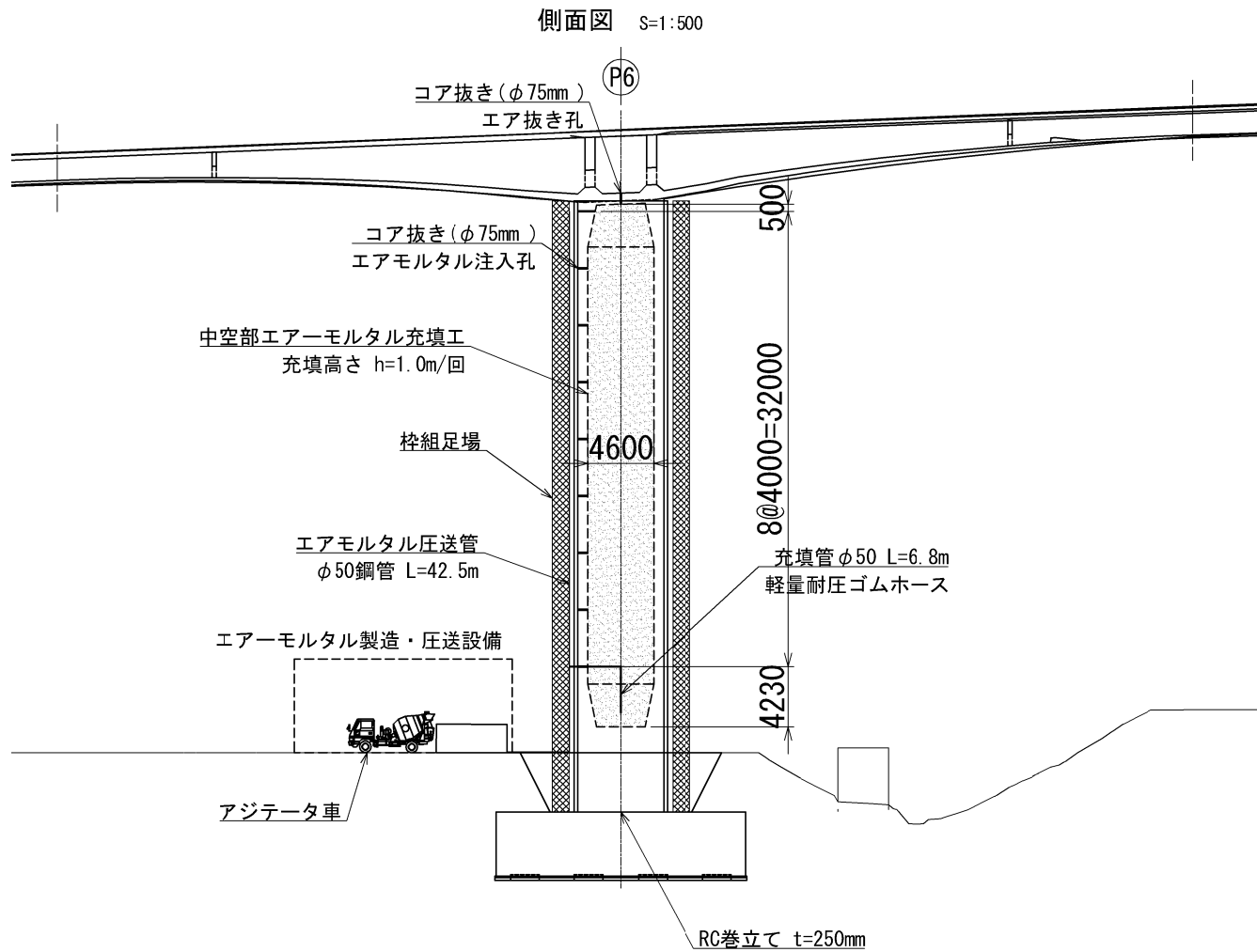
側面図



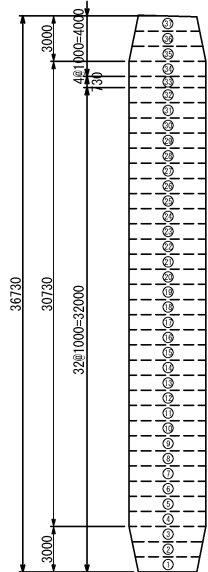
上 信 速 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	入田橋(上り線)		
	重機配置図(その3) (参考図)		
縮 尺	1:500	図面番号	
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

入田橋（上り線）施工要領図（参考図）

P6橋脚 橋脚内部充填工

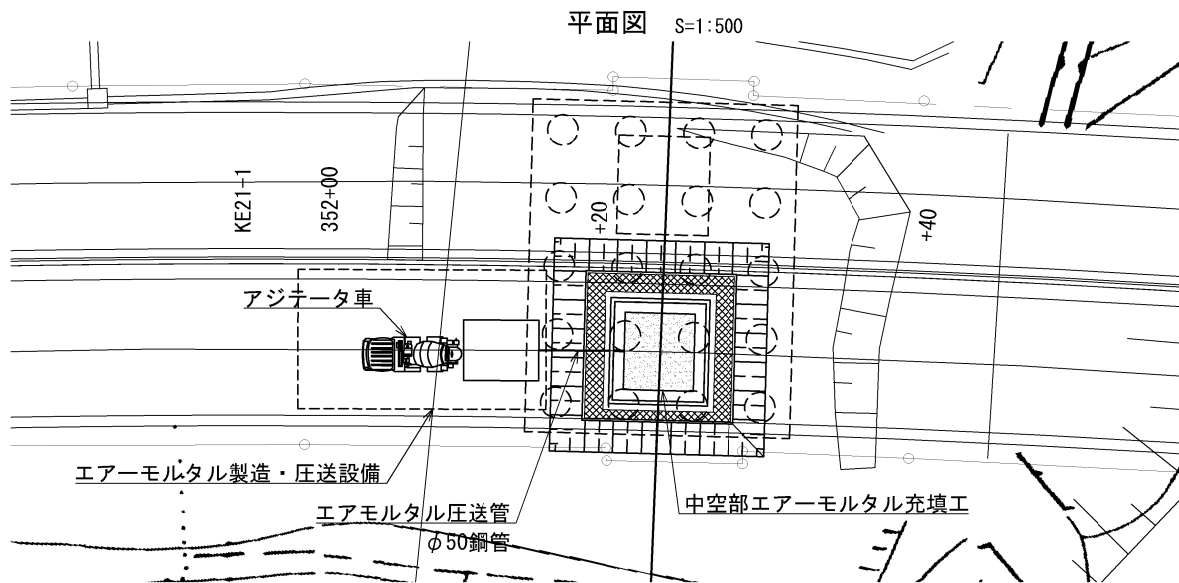


ロット割り図



数量表

打設 ロットNo.	打設高 (m)	打設量 (m3)
37	1.000	14.8
36	1.000	18.0
35	1.000	21.6
34	1.000	23.5
33	1.000	17.1
32	0.730	23.5
31	1.000	23.5
30	1.000	23.5
29	1.000	23.5
28	1.000	23.5
27	1.000	23.5
26	1.000	23.5
25	1.000	23.5
24	1.000	23.5
23	1.000	23.5
22	1.000	23.5
21	1.000	23.5
20	1.000	23.5
19	1.000	23.5
18	1.000	23.5
17	1.000	23.5
16	1.000	23.5
15	1.000	23.5
14	1.000	23.5
13	1.000	23.5
12	1.000	23.5
11	1.000	23.5
10	1.000	23.5
9	1.000	23.5
8	1.000	23.5
7	1.000	23.5
6	1.000	23.5
5	1.000	23.5
4	1.000	23.5
3	1.000	21.6
2	1.000	18.0
1	1.000	14.8
合計	35.730	830.9

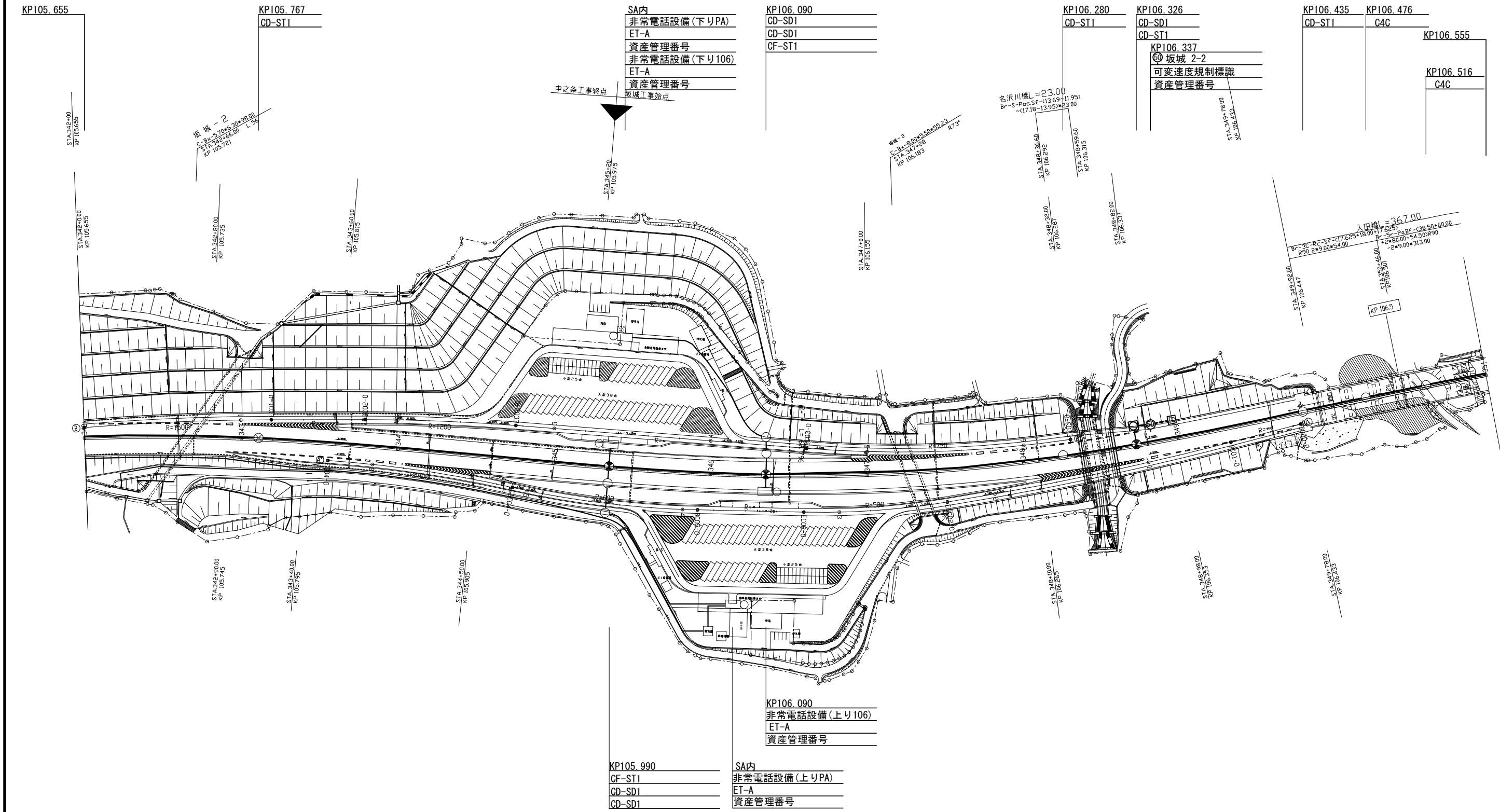


注記) 1. 削孔においては、既設鉄筋位置を確認の上、調整が必要な場合は監督員と協議すること。
2. 削孔穴は型枠を設置し無収縮モルタルを充填すること。

上信速自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	入田橋(上り線) 施工要領図(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	富士技研センター株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社長 野工事事務所		

入田橋（上り線）配線系統図（その１）（参考図）

105.7KP～106.5KP



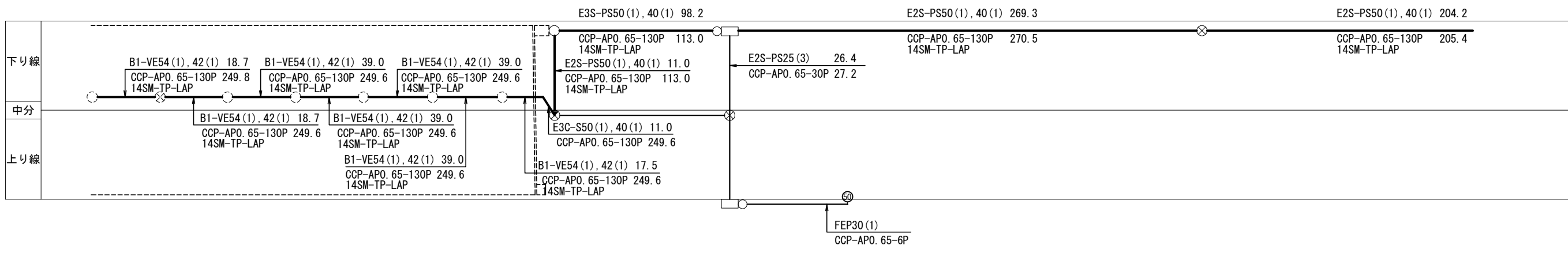
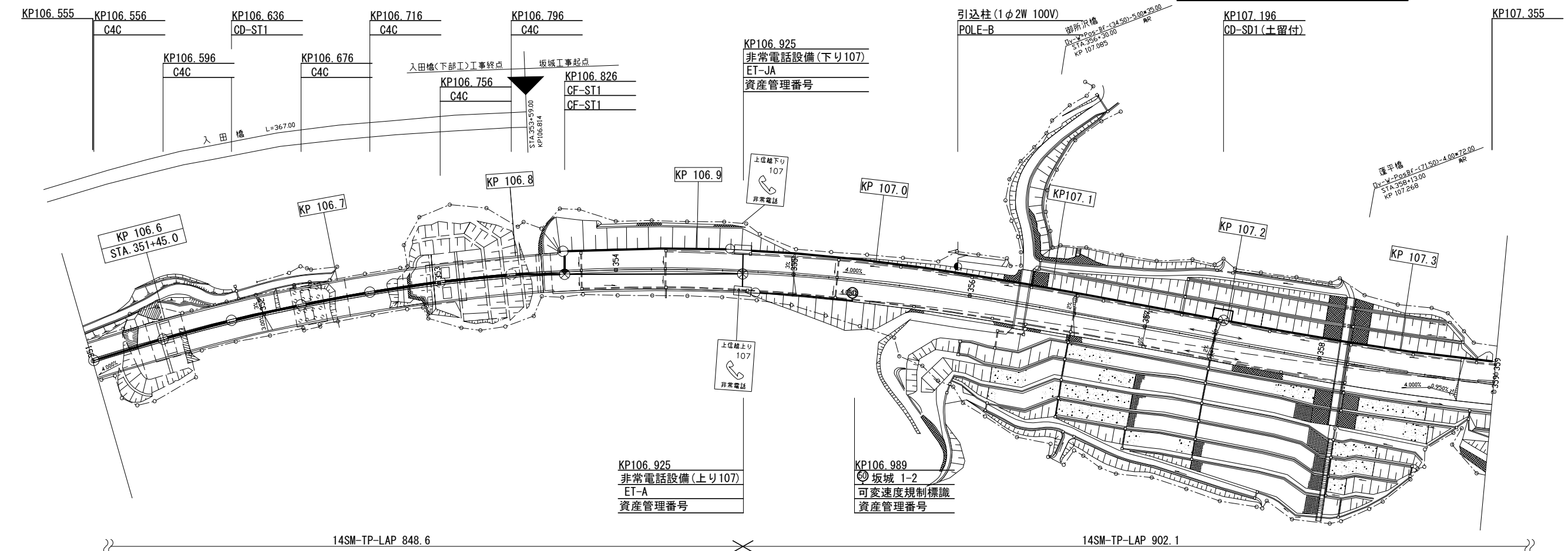
凡 例

	: 電気用ハンドレール		: 広域情報板		: 道路照明 (Pb-13.5 HF1000W x3)
	: 非常電話標示灯		: 交通量計測設備		: 道路照明 (P-13.5-V-HF1000W)
	: 非常電話		: 路車間情報設備		: 道路照明 (P-13.5-V-HF700W)
	: 可変式速度規制標識		: 気象観測設備		: 道路照明 (Pb-12-V-NH360W)
	: A型情報板		: ハイウェイサイン設備		: 道路照明 (Pb-12-V-NH220W)
	: B型情報板		: CCTV設備		: 道路照明 (P-12-V-NH360W)
	: J型情報板		: C型情報板		: 道路照明 (P-12-V-NH220W)
	: 内照標識		: D型情報板		: 道路照明 (Pb-10-IV-LED)
	: 分岐点点滅灯		: 高圧引込柱		: 道路照明 (Pb-10-IV-NH220W)
	: 通信用ハンドレール		: 降雪深計		: 道路照明 (P-10-IV-NH220W)
	: 電話BOX		: 外照標識		: 庭園灯
	: 信号機		: ETC予告無線装置		: トンネル非常電話設備

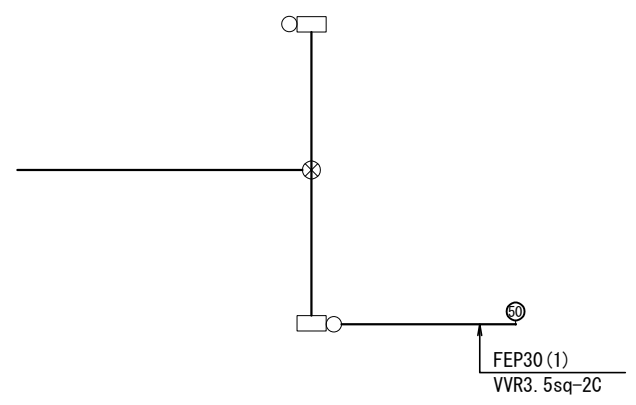
上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	入田橋（上り線）		
	配線系統図（その１）（参考図）		
縮 尺	—	図面番号	
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

入田橋（上り線）配線系統図（その2）（参考図）

106.6KP~107.3KP



- 凡 例
- | | | |
|-----------|------------|--------------------------|
| 電気用ハンドヘル | 広域情報板 | 道路照明 (Pb-13.5 HF1000W×3) |
| 非常電話標示灯 | 交通量計測設備 | 道路照明 (P-13.5-V-HF1000W) |
| 非常電話 | 路車間情報設備 | 道路照明 (P-13.5-V-HF700W) |
| 可変式速度規制標識 | 気象観測設備 | 道路照明 (Pb-12-V-NH360W) |
| A型情報板 | ハイウェイカメラ設備 | 道路照明 (Pb-12-V-NH220W) |
| B型情報板 | CCTV設備 | 道路照明 (P-12-V-NH360W) |
| J型情報板 | C型情報板 | 道路照明 (P-12-V-NH220W) |
| 内照標識 | D型情報板 | 道路照明 (Pb-10-IV-LED) |
| 分岐点滅灯 | 高圧引込柱 | 道路照明 (Pb-10-IV-NH220W) |
| 通信用ハンドヘル | 降雪深計 | 道路照明 (P-10-IV-NH220W) |
| 電話BOX | 外照標識 | 庭園灯 |
| 信号機 | ETC予告無線装置 | トンネル非常電話設備 |

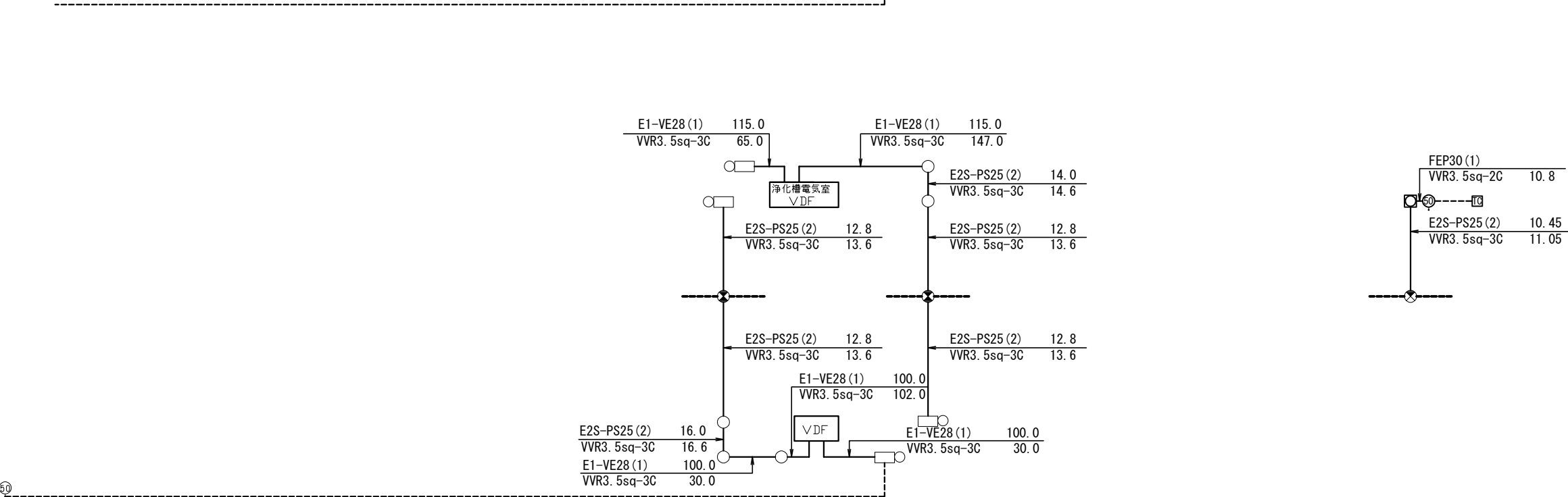
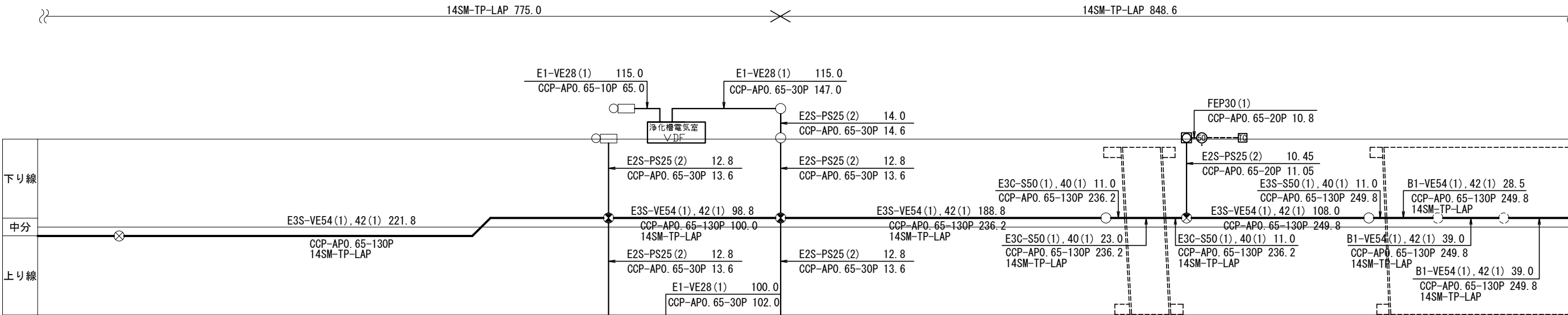


上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	入田橋（上り線）		
	配線系統図（その2）（参考図）		
縮 尺	—	図面番号	
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

入田橋（上り線）配線系統図（その3）（参考図）

105.7KP～106.5KP

凡 例					
	：電気用ハンド・ランプ		：広域情報板		：道路照明 (Pb-13.5 HF100W×3)
	：非常電話標示灯		：交通量計測設備		：道路照明 (P-13.5 V-HF100W)
	：非常電話		：路側情報設備		：道路照明 (P-13.5 V-HF700W)
	：可変式速度規制標識		：気象観測設備		：道路照明 (Pb-12 V-NH360W)
	：A型情報板		：ハイウェイラジオ設備		：道路照明 (Pb-12 V-NH220W)
	：B型情報板		：CCTV設備		：道路照明 (P-12 V-NH360W)
	：J型情報板		：C型情報板		：道路照明 (P-12 V-NH220W)
	：内照標識		：D型情報板		：道路照明 (Pb-10 IV-LED)
	：分岐点点滅灯		：高圧引込柱		：道路照明 (Pb-10 IV-NH220W)
	：通信用ハンド・ランプ		：降雪深計		：道路照明 (P-10 IV-NH220W)
	：電話BOX		：外照標識		：庭園灯
	：信号機		：ETC予告無線装置		：トンネル非常電話設備



上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事	
図面の種類	入田橋（上り線） 配線系統図（その3）（参考図）
縮 尺	— 図面番号
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所